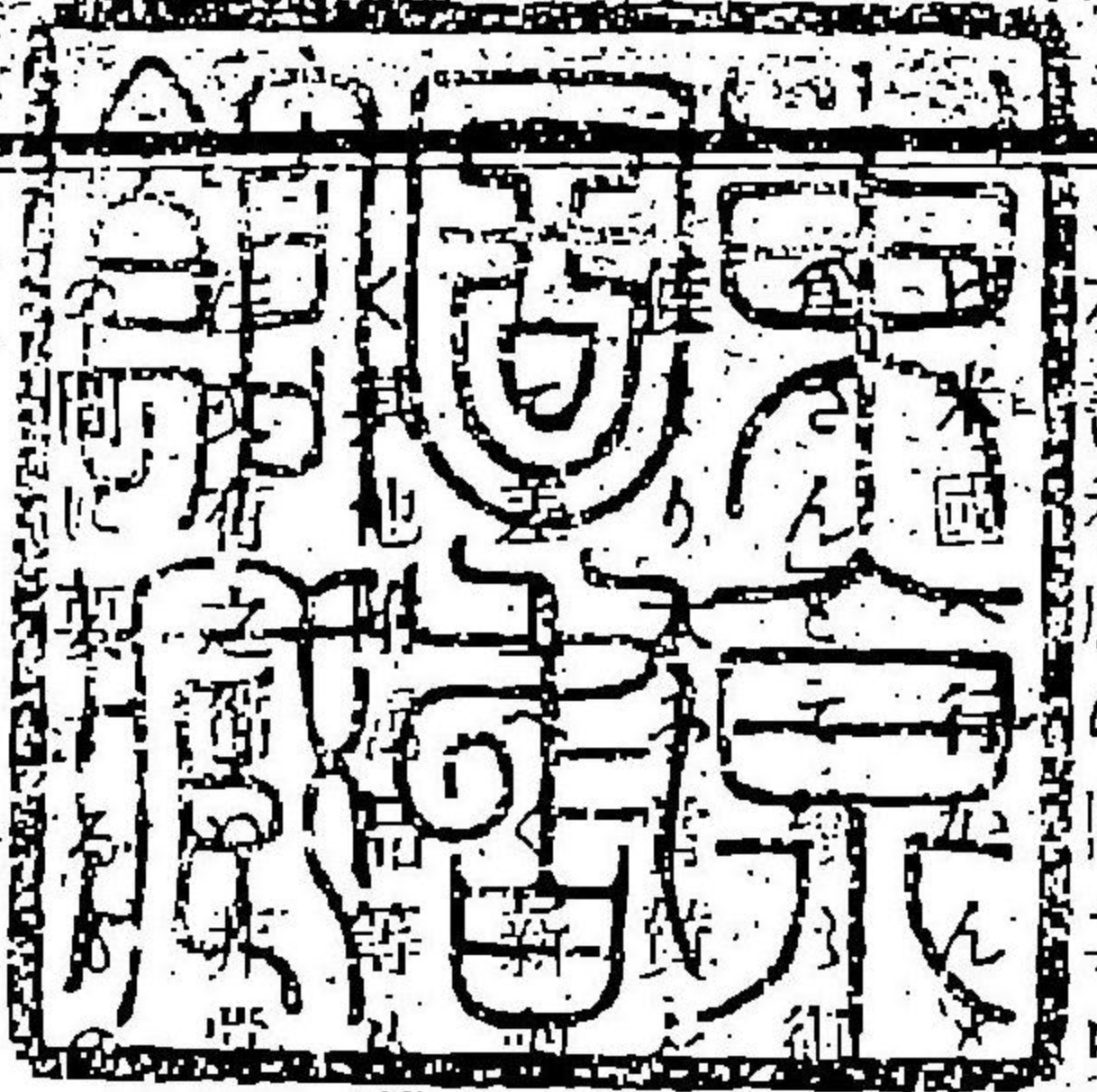


米國行獨案内ニ洋服屋の廣告

本書初版の際其中ニ過店洋服の廣告差入をさ候處近きより遠きより價
 するものあり足下の廣告を信じ足下ハ洋服の注文を
 注文を蒙り其都度誠實と廉價とを旨として調達致し
 辱ふし英一郎の面目之に過ぎす○舶來古着は仕立直
 とあらむ新調も仕るべく交換とあらば交換も致すべ
 賣捌き居り候に付米國へ行かるゝ人あて服裝一切御
 の廉價を以て帽子着服を始めとし頭上より爪先まで
 を注意お注意を加へて盡く調達再仕候間尙ほ舊お倍
 し續く御用の程拜望する所に候



横濱新町一丁目第拾一番地

中野屋 中野英一郎

Worth its weight in gold.

米 國 行 獨 案 內

一 名 桑 港 事 情

桑 港 細 圖 附

米 國 桑 港

著 原 ル 子 一 タ ス イ デ

男兒立志	出鄉關學	若不成死	不還豈期	埋骨墳墓	地人間到	所有青山
------	------	------	------	------	------	------

日 本 橫 濱

高 木 三 郎 序

富 田 源 太 郎 譯

大 和 田 彌 吉 譯

本書之區分

上篇

桑港一級之狀況譯述

渡行之利害

下篇

渡米前後之心得

紐音記事

米國行獨案内の再版小序

本書第一版を刊行したる當時に於ては渡米の論大いに流行して一も渡米、二も渡米と云ふの有様なりしが今日に至り漸々渡米の氣焰を減じて彼地より來る通信も前と事かたより大に渡米者の輕舉を戒しむるに傾むき隨かつて人もあまり渡米に熱中せざるに至りしを譯者の私か小喜ぶ所にして著書の望みたる一部の小冊人か彼地の狀況を示して輕卒渡航するの弊を矯め事實を鑑みて確固たる目的を定め充分の精算を立て、足元づよく海外に乘出すの風を見たとの主意も自から立ちて我々が爲めにも國の爲めにも欣ばしき限りと存するなり、蓋し譯者か外行の盛んなるを希望するものなきとも之を希望すると同時に其舉行と確實の目的を基いて充分の計畫を據つてするものなるを望むなり

本書の第一版と曩時已に賣切きとなりたるも世間之に關する雜誌な
死に非ざるば本書を隱居せしめんとしたるも書肆の再版を請ふと頻
りなるおより遂に之を再刊せるに至り、再版するの以前書を桑港の
知友に送り又之を歸朝の人々にお會して彼地の現況を問ひたる處前版の
記せしこと格別相違の趣きなきお付き舊のまゝを刊するが却つて面
白からんと存じ第一版の記事と其通りお印行し補缺旁々新に數葉の
附録を添へぬ、一篇の小冊幸ひは渡米者諸子おいさゝかの便利をなす
とあらば満足の至りなり、傍はら以て渡米者の錦衣歸朝の時を待つと
云爾

明治十九年十月上旬

商店の樓上お

纂譯者誌す

米國行獨案內序

我邦既ニ國ヲ開キ西洋文明ノ實利ヲ採ルニ汲々タルノ今日ニ當リ苟
モ生レテ男兒タルモノ獨リ墳墓ノ地ニ戀々トシテ安ンズベキニアラ
ズ須ク進シテ歐米ノ間ニ親踐シ其文明ニ薰陶シ得テ文明世界必用ノ
人物トナリ以テ身ヲ起シ國ヲ利シ我國今日ノ有様ヲシテ駭々乎トシ
テ日ニ進ムノ歐米ト相拮抗スルノ日ヲ期セザルベカラズ故ニ余ハ國
ノ爲メ其人ノ爲メ我國青年社會ノ渡航スルヲ見テ喜ブモノナリ然リ
而メ大凡天下ノ事物理害相伴フハ數ニ於テ免カレザル所ニシテ其利
ノ大ナルニ隨テ其害モ亦大ナラザルヲ得ズ彼ノ青年社會ガ奮然志ヲ
立テ萬里ノ波濤ヲ凌テ歐米ニ行クヤ曾テ日本ニ在ツテ日本人タルノ
時ヨリモ更ニ日本人タルノ名ヲ重カラシメ其人ノ一舉一動ハ獨リ其
人ニ止マラスシテ直ニ日本國ノ体面ニ影響シ來リ其榮辱ハ我國ノ榮

序

辱ニ關スル實ニ鮮少ナラザルハ固ヨリ余ガ辨ヲ要セザル所ナリト雖
 田近頃殊ニ米國渡航者ノ多キ中ニハ未ダ其利害ヲ詳ニセズ其身ノ如
 何ヲ料ラズ突然輕舉其地ニ至リ兼テノ豫想ノ如クナラザルヲ見テ始
 テ後悔スルモノナキニアラザルヤニ聞ク其弊害ヤ實ニ其一身ヲ誤リ
 醜ヲ異郷ニ露スノ不幸ニ陷ルノミナラズ其波及スル所果シテ如何定
 ニ恐レザルベカラザルナリ故ニ渡航者ノ益々多キヲ喜ブト同時ニ亦
 益々之ヲ憂ヘザルヲ得ズ豈ニ渡航者タルモノ深ク思ハザルベケン
 ヤ此書ノ著者余ガ曾テ職ヲ米國ニ奉ゼシノ故ヲ以テ余ニ序ヲ乞フ乃
 チ爲メニ一言ス云爾

明治十八年九月

高木三郎誌

緒言

其身未ダ桑港ノ江月ニ嘯キシコモナクシテ茲ニ桑港事情ノ譯者ト爲
 ル蓋シ數言ヲ緒シテ其情事ヲ陳ヘサルヲ得サルナリ
 譯者ガ米遊ヲ思ヒ立チシハ今ヨリ二年前ノコナリ當時譯者ノ志ハ曰
 フ外遊ノ結果ハ只々彼地ニ達シタル迄ニテ得ヘキニ非ス其文化ヲ觀
 察シ其事情ヲ究理スルノ際ニ無形有形ノ益ヲ我身ニ得テ始メテ千里
 ノ外行其功ヲ成シタル者ト謂フ可シ若シ夫レ外邦ニ遊ブモ其得ル所
 漠然僅ニ會話ノ慣熟ヲ致シタルガ如キニ止ラバ豈敢テ鄉關ヲ出ルノ
 要アラシヤト心ニ之レヲ期セバ先ヅ其行ノ初ニ彼地ノ狀況ヲ探ル可
 キノ要ヲ覺レリ蓋シ譯者ノ身資力アルニ非ラザレバナリ以來心ヲ之
 レニ歸シタル處去年ノ八月友ノ彼地ニ行クモノアリ因テ之ニ其景况
 ノ探報ヲ委シ益々其穿鑿ニ勉強スルノ際數多ノ歸朝者ニ會シテ彼

狀況ヲ明ラメタルコト少カラス之ト同時ニ右ノ友人ヨリ桑港ノ事情
 ヲ詳記セル一書ヲ送り來リ之ヲ一讀シテ益々其狀態ニ明ナルヲ得タ
 リ即本編ノ原書ナリ然ルニ斯クシテ得タル知識ヲ以テ譯者ガ當初ノ
 想像ニ比スレバ否ト思ヒシコト可ニシテ可ト見タルコト未ダ必ラズシモ
 可ナラズ其間ニ大差ヲ畫シテ獨リ自カラ前日ノ誤想ヲ愧ヂタリキ聞
 クガ如クンバ日本人ノ桑港ニ到テ志業共ニ全キヲ得ズ空々生ヲ過ス
 モノハ輕ク渡行論ノ勸告ヲ容レ其初ニ充分彼レガ實況ヲ知ラズシテ
 渡行シタルノ故ナラント譯者ハ素ヨリ壯士ノ外ニ遊ンデ其結果ハ好
 カランコトヲ望ムモノナリ今ヤ渡米ノ志アルノ人頗ル多大ナルニ際シ
 之ニ關スルノ案内書ナキハ譯者ノ深ク痛心スル所ナリ此ニ於テカ意
 ヲ決シ前記桑港事情詳誌ノ翻譯ニ着手シ又親シク桑港在留日本人ノ
 狀況如何ヲ精査セントシタリ邦人ノ己ニ米ニ遊ンデ我國ニ歸リシ者

少ナカラズト雖其未ダ之ヲ企ツル者アルヲ聞カズ思フニ心身ノ閑
 ナク之ニ從事シ難キ等ノ事情ニ因ルナランナレト米遊盛行ノ今日案
 内書ノ必要ハ其盛行共ニ盛ナリ是レ譯者ノ未ダ遊米ノ經歷ナクシテ
 尙ホ本書ノ著譯ニ從フ由縁ニシテ所謂貂足ラズシテ狗尾續ク者ナリ
 初メ此業ニ從ヒシハ本年三月ノ頃ナリシガ身ノ著述者ニアラザルニ
 リ譯業ノ時間モ乏シク又熟練モナク延引遲滯ノ餘今月今日漸ク其事
 ヲ畢ヘタリ是則チ本書編述ノ歴史ニシテ譯者ノ以テ其緒言ニ充テン
 トスル所ノモノ也

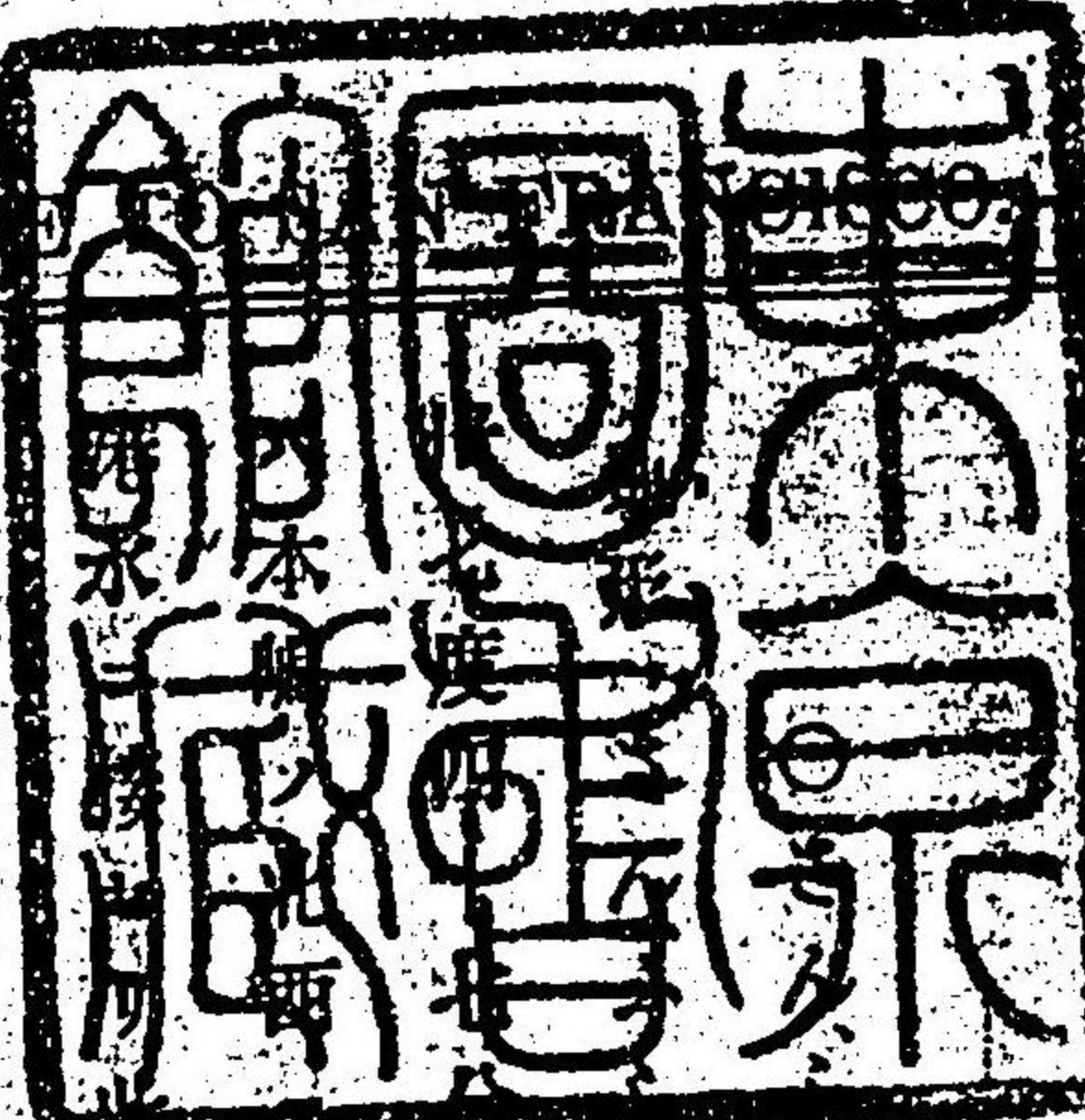
千八百八十五年九月

纂譯者記ス

例言

- A 本書は之を別ちて上下兩篇と爲し上篇は千八百八十三年桑港刊行米人ディスターナル原著「Stranger's Guide to San Francisco and Vicinity.」と題する一書を纂譯したる者より其記事日本渡米者の望む所の者より近からざるを以て不必要の事項は務めて之を省畧しぬ
- B 下篇は米國歸朝者十數名に附て直聞したる事、在米知友より報じ來りし事及び新聞の通信等を抄録編輯したる者なり
- C 原書に附貼したる地圖は細小に過ぎ不分明なるを以て歸朝者の齎來せし地圖より原づき之を譯寫して桑港全圖を製し卷初に附せり圖の太小组密等一切原圖より異なることなり
- D 上篇中より譯出せし最なる町名の原字は左の如し

まーけつと町	Market Street.
かりふまるよや町	California Street.
もんとごめり町	Montgomery Street.
ごるでんげいと街	Golden Gate Avenue.
ぽすと町	Post Street.
わまんとん町	Washington Street.
Street	ハ町ト譯シ Avenue
	ハ街ト譯セリ



米國行獨案内

「一名桑港事情」

上篇

Strangers guide to San Francisco and Vicinity.

一千八百八十三年

米國桑港

デイスターチル 原著

一千八百八十五年

日本横濱

富田源太郎 大和田彌吉 纂譯

らんしすこ府の景况

總説

らんしすこ府ハさんふらんるすこ港ノ西岸ニ位シ緯度
三十五秒經度百廿二度廿六分十五秒ノ所ニ在リ此地
突出シタル半島ノ極端ニシテ西ハ太平洋ニ面シ東ハ
府ノ港ヨリ洋中ニ突出セルヲ廣サ平均四英里半ニシ
テ長サ六英里半ナリ又港灣ハ長サ殆シト四十五英里廣サ平均八英里
アリテ船舶ノ碇泊最モ安全ナリ而シテ其港口ハ有名ナルニ
てん

上篇

一ト云フ所ニシテ長サ幾ンド五英里廣サ平均ニ英里ノ地畝アリ港灣ハ水深クシテ船舶ノ出入甚ク便ニ如何ナル大船巨船ト雖モ出入シ能ハサルノ患ナシ亦以テ其良港タルヲ知ルニ足ラン

沿革 初メテ此港口ニ入リシ者ハ誰ナル乎其所説各々同シカラズ或ハ一千五百七十九年ノ頃サーフランシスドメニコナル者此港ニ入リタリト云フモノアレモ一千七百七十五年八月中尉アエラト云フ者サシカールロス号ヲ搭シテ入港シタリトノ説最モ信ナルガ如シ「中略」一千八百二十二年かりふをるまや...但シさんふらんしすこハかりふをるまや州ノ都府ナリ...ガめきまこノ領地ナリ...以來當港ノ商業漸々増進フ端緒ヲ開キテ當時重要ノ輸出品ハ獸皮獸脂穀物等ナリト云フ「中略」一千八百四十四年ノ頃ハ人口五六十八人ニシテ家屋僅ニ十四箇餘ナリシガ再來大ニ米國人ノ注意ヲ喚起シ人口ノ増殖ヲ一層速

カナラシメタリ「中略」當府ハ本邦に在ルニ比シテ稱セシガ千八百四十七年一月三十日改メテさんふらんしすこト名クナルニ至レリ「中略」又一千八百四十七年ノ末期ニハ住民ノ數八百人ノ多キニ至レリ其中六十人ハ學校ニ通フ可キ年齢ノ兒童ナリシト且ク商業ノ發達モ大ニ進歩シテ一千八百四十六年ニハ其輸出額五万三千弗ニ達シ輸入額モ亦殆ンド同格ニテアリシト云フ其後一千八百四十八年ニ至リ最モ市民ノ注意ヲ喚起シタル金鑽ノ發見ハ實ニ微々タル當時ノ土地ヲシテ壯大ナル今日ノ都府ヲラシムル一大幸期ノ曉キトモ言フ可キモノナラシ昔時ノ砂丘今ハ壯觀美麗ノ家屋樓臺ヲ現シ砂原ハ化シテ芳草美花ノ公園トナレリ抑此地ハ市府ト稱セラル、ニ至リシハ千八百五十五年五月ノ一ニシテ其政廳ヲ設ケシハ實ニ千八百五十六年六月ナリト云蓋シ此地ガ今日ノ大都トナリ要地トナルニ至リシノ速カナラハ

上篇

四

ニ無双ノト云フ可シ今千八百八十年ノ調査ニ依ルニ人口廿三万三千九百五十六人ニシテ太平洋沿岸ノ一大商地ナリ蓋シ之ヲ其有スル天利ヨリ考ヘ又此地商業ノ區域及其他外國貿易ノ大勢ヨリ見レバ其愈々進長繁榮ス可キハ必然ノ數ナルノモ

風景ニ退イテ氣候ノ如何ヲ見レバ四時常ニ變動ナク溫和ニシテ最も健康ニ適セリ而シテ此府主要ノ地區ハ半島ノ東北部ヲ占有ス其極北東ニ當レルてれぐらふびる(丘名)ノ頂上ヨリ望見スレバ茫々タル畫景滿眼ニ入り南方ハ家屋ノ大海ニシテ商業ノ戰爭頗ル盛昌ヲ極ムル市街其間ヲ横斷シ眼ヲ港ノ周邊ニ轉スレバ海船帆船波上ニ列シ諸嶋屹立シテ要害トナリ沿岸ニハ一望青靄樹樹ノ影ニ陰々タル角邑アリてるでんげトヨリハ太平洋ノ潮水干満シ其前キハ則チ茫々タル大洋ニシテ滿觀一目神意殆シト恍惚メル者アリ。町區ハ整然トシテ直角

形ニ列シ建物ノ美麗壯大ナルハ能ク市街ヲ粧飾シ府ノ郭外ニハ清佳ナル園圃アリテ遊人集合ノ所トナル就中ごんげトヨリ(公園)ハ最も廣大ノ者ニシテ車路花園建物等整然トシテ完備ス而シテ其園内ニハ種々ノ草木ヲ植ヘ暖室蓄藏所等アリテ其風景尤トモ美ナリくりつふニ登レバ一目太平洋ノ好景ヲ見海岸近傍ノ岩上ニハ數多ノ海豹現出シテ一場ノ奇觀ヲ呈ス

建物制置有名ナル町會所造幣局貨物評價所支部大藏省ノ如キ官衙ハ合衆國ノ大都ニモ劣ラザル勢ナリ殊ニ公立學校ノ制置ハ合衆國中ニ冠絶シタル者ニシテ實ニ當府ノ花トモ稱スベキモノナリ其他高尙ナル私立學校及大學校數多アリ又各種ノ教會私有共會救惠教會交親教會等ノ設立アリ。公立書籍館ハ他府ノ書籍館ニ相等スルニ足ルニ此頃設立ノフリーライブラリー(公共書籍館)ハ當府ノ榮譽トモ稱ス

上篇

五

可キモノニシテ電氣燈ヲ點照シタル室房アリ同館ニ所有スルノ書籍
 ノ數及器具ノ完備シタルハ合衆國中第一ト謂フ可シ。又商法會議
 所及商務局ノ設ケアリ株式取引所三ヶ所物産取引所一ヶ所穀物取引
 所一ヶ所アリ。又各種ノ製造事業アリ今其目ヲ擧レハ鐵及眞鍮鑄造
 所毛布及綉類製造所礦物溶解所針金及船用鋼具製造所ガラス製造所
 造船所鐘錶物製造所砂糖製造所等ナリ。街區鐵道ハ蛛網ノ如ク所々
 ニ散列シテ其價甚ダ安シ其中六箇ハ鐵鋼鑄造ニシテ近來ノ新發
 明ニカノリ實ニ此府ノ一面目ヲ爲セリ（此箇鐵鋼鑄造トハ桑港近時ノ新
 工夫ニシテ地上ニ線ノレリ）
 ヲ布キ其中ニ又一人ノ馭車其走ル中ニ始終間斷ナク鐵ノ網ヲ走レリ
 客車ノ中央ヨリ一人ノ馭車其走ル中ニ始終間斷ナク鐵ノ網ヲ走レリ
 極メテ疾走シ放テハ即チ止レルト云フ此車ニ乘リ又下ルニハ頗ル疾走スル故ニ甚ダ危險
 也ト實見者（當府ニ使用スル瓦斯ハ二箇ノ瓦斯會社アリ之ヲ供給
 ヲリ開ケリ）當府ニ使用スル瓦斯ハ二箇ノ瓦斯會社アリ之ヲ供給
 シ又電氣燈會社ハ給スル電氣燈ヲ以テ夜間恰モ白晝ノ觀アリヨリ用

水ハスプリングアルニ水量會社ヨリ府内一般ニ供給セリ。急要
 ナリ音信ハ電信機電話機ニテ之レヲ辨シ電信火災警報ノ備ヘアル火
 災局ハ其組織頗ル完全ニシテ世界無上ノ評アリ火の番ハ火災保險會
 社ヲ擔任スル所ナリトス
 商業 當府ノ商業ハ暇々進歩スルノ勢アリ千八百八十一年ノ輸入額
 ハ四千〇四十三万三千六百七十五弗ナリシガ翌八十二年ニハ四千六百
 百七十六万九千一百五十一弗ノ多キニ上リ前年ニ比スレバ六百二十
 三万五千四百七十六弗ヲ増加セリ（内二百四十二万〇六百〇六弗ハ鐵
 道運搬ニ係ル）又千八百八十一年商品ノ輸出ハ五千三百六十六万四千
 三百五十二弗ニシテ翌八十二年ニハ進シテ五千五百七十五万三千四
 百二十八弗（鐵道運搬ヲ除キ）ニ至リ前年ヨリ増加スルハ二百〇八万
 八千〇七十六弗ナリ又同八十二年ノ財寶輸出額ハ一千〇三十八万二

千三百〇四弗ナリトス
 新聞交通 新聞紙ハ英佛日西伊サかんてあびやん及支那語等各種アリテ日々ノ新説奇談ヲ報道セリ。港灣及河邊トノ交通ハ渡船及漁船ニテ之ヲ行ヒ内地ノ諸都府トハ鐵道ヲ以テ交通シ東方諸州エノ交通ハ中央太平洋鐵道及南部太平洋鐵道ト云ハルニ鐵道ニ由テ速カニ爲スヲ得可シ汽船線路ハかりふをるよやをれごんわしんとんたーりとりあらすか英領ころんびや及めさるこノ諸港エ達シ又ばあまほのる、香港横濱をどよーをうくらんとハモ達ノ皆之ト交ヲ通ス

- 一 一 なるでんげーと Golden Gate. Free Library.
- 二 二 なるをびゆふさ Yerba Buena. Wire cable road.
- 三 三 てれぐらふひる Telegraph Hill. Central Pacific.
- 四 四 くりつふ Cliff. Southern Pacific.

五 公立書籍館
 六 鋼鐵路
 七 中央太平洋鐵道
 八 南部太平洋鐵道

十備考 千八百四十八年迄ハかりはるよるハめさるこニ屬セリ同四

十六年ニめきまこトノ戦争起リ遂ニ之ヲ合衆國ニ讓與セリ
 備考きんふらん志すこヲ本あるをびゆふあト呼ビし譯ハ往時同
 地ノ殖民地マリシ所ノ周圍ニ在ル岡丘ニあるをびゆふあト
 呼ビシ芳草ノ繁生セシヨリ之ヲ以テ其殖民地ノ名トシタル
 ニ起レリ

○府内管轄の事

○市尹 Mayor ワシントン、バルトレット氏 年給 三千弗
 事務局 新町會所

○府内監察課長 Police Commissioner 同人

同 同

○評價官 Assessor ルイス、エフ、ホルト氏 年給 四千弗

同 同

○司法長官 Judge バトリック、コンノルリー 年給 八千弗

上篇

十

○市街管理員 テイモセー、ゼー、ローネー 年給 四千弗

○収税官 ジョン、エツチ、グラデー 年給 四千弗

○事務員 「其餘略之」 新町會所

○公立學校の事 外數名

○學校委員 事務局 外數名

○公立學校管理員 新町會所 外數名

千八百四十七年四月 同 氏私立 同 學校ヲ起ス

數僅ニ卅名程ニシテ是レ實ニ當テ人ナラン事ニ於ケル米人學校ノ創始ナリ而シテ又同年當地ノ紳商等ガ公立學校ヲ起スニ計畫ヲ爲シ今これ町及ぶれば心算れ正す一隅ニ校舎ヲ建設シテ中略)其後千八百四十九年ノ秋セシメタルト云ヘル人わーんとん町ノ洗禮教會中ニテ學校ヲ開ケリ現令學校制度ヲ起原ス千八百五十二年九月ニアリト云フ此時府長ハ府内ヲ分寄シテ七箇ノ區ニ別テ每區ニ個ノ公共學校ヲ建設ス可キ規則ヲ發布シテ爾後數月ヲ經ズシテコロネル、テイ、ゼー、子ピンズ氏ノ盡力ニ由リ每區ニケル學校ヲ建設スルヲ得テ今千八百五十二年十月卅日調査學校監督員ヲ報告ニ據ルニ其姓名ヲ記セシ生徒ノ數二千三百三十人ニシテ此中日々通學ノ平均ハ四百四十五人ナリキ爾後三十二年間當府ノ繁榮増進スルニ隨ヒ學校ノ數至又追々増加シ

上篇

十一

制度モ漸次改良ヲ見ルニ及ベリ而シテ市民ノ學校ヲ維持スルニハ多額ノ金圓ヲ放棄スルモ敢テ躊躇セザルヨリ現今當さんふらん志すコノ公立學校課ハ全合衆國中ニテ最モ勝レルモノナリトノ評アリ

千八百八十二年六月三十日調査ノ報告ニ由レバ生徒ノ總數四万〇七百五十二人ニシテ内

○男二萬一千四百八十五人 ○女一萬九千二百六十七人

又日々通學ノ平均ハ二万九千四百三十五人ナリ

教員ノ總數ハ六百七十五人ニシテ内

○男 五十九人 ○女 六百十六人

一年間教育費ノ總額ハ 七十三万五千四百七十四弗六十一仙

其中教員ノ給料ハ 六十二万三千三百六十八弗四十五仙

學校所有物價格計算高ハ三百十三万七千弗

又學校書籍館ニ有ル書籍ノ卷數ハ 三万四千九百六十冊

又教員給料ヲ區別スレバ則チ左ノ如シ

高等學校教員 月給 壹百弗ヨリ二百六十弗迄

語學校 同 七十弗ヨリ二百弗迄

小學校 同 五十弗ヨリ百三十五弗迄

夜學校 同 百三十五弗 助教五十弗迄

學務委員局長事務員ハ書記官權書記官等アリ現時學校ノ總數ハ六十二ニシテ其中二三ヲ舉レバ如左

○プロードウエオ語學校 ぶろいどうけいお町

○ハミルトン語學校 げあり町

○ゴルデンゲード小學校 たるでんげいど街

○リンコルン夜學校 ふんふと町 「其餘略之」

上篇

○共有物の事
 舊町會所ハ昔時國境標的ノ一タリシモ今ニシテわしんとん町トキ
 ちやんと町ノ間ナルけやるよ町キ在ル煉瓦ノ建物ナリ新町會所
 ノ工事落成スルニ隨ヒ此所ニアル公務ハ漸々新町會所ニ移レリ
 新町會所ハまぐありそた町トらるきん町及ばく街ニ境セル三
 角地ニ在リ若シ其工事落成スルニ至ラバ合衆國內此種類ノ建物中
 最モ廣大壯麗ナルモノトナシ可シ其廣サは上ノ街ニ於テハ八百「フイ
 ト」ニまぐありすた一町ニ於テハ六百五十「フイ」トらるきん町ニ於テ
 ハ五百五十「フイ」トアリ千八百七十一年中其建築ニ着手シ、費金ノ
 欠乏セヨ明時々其工事ヲ中止シタル所今ヤ新町會所委員ノ監督ヲ
 以テ大ニ其工事ヲ急ゲリ千八百八十三年一月同建築學士ノ報告ニ由
 レバ起工以來ノ費用ハ三百三十六万五千三百六十七弗八十二仙ナリ

千四

ト猶之レヨリ成功ニ至ル迄ノ費用ハ壹百廿万弗ヲ預算ナリ下云フ(地
 所ハ別ニシテ)右新舊兩町會所ハ收稅官司法官街區警察委員及市尹等總テ公事ニ與
 カルモ以テ公務ヲ取ル所ナリ郡立監獄署ハぶろニ送付セリ毎火木日ノ三曜日ニハ司法官公
 務局ニ於テ其許可ヲ得テ午前十二時ヨリ午後三時迄參覽スルヲ得
 懲役場ハ新町會所ヨリ五英里程距ルニ在リ其礎ハ石ニテ爲レ
 道ニ在リ而シテ其建物ハ煉瓦造リノ二階家ニシテ其礎ハ石ニテ爲レ
 其造營費ハ殆シド十二万五千弗ナリ場中規則甚ダ嚴重ニ
 於テ囚人ノ事業時間ハ日々八時間ニテ工作場又ハ近傍ノ道路ニ於テ

上篇

十五

労働不可キ定則ナリ。千八百八十二年六月三十日ニ終ル年度間入獄ノ員數左リ如シ。總數六百六十九人。男五百十四人。女五百五十五人。内、内國人三百二十三人。外國人三百四十六人。年々該所ノ費用ハ合計四万壹千百〇二弗五十五仙ニ上リ云フ。日中何時ニテモ衆人ニ參觀ヲ許セリ。工藝學校ハ親父ノ依頼ニ由リ放逸無懶ノ小兒ヲ懲戒セシムル所ニシテ新町會所ヨリ五英里程距リタルを。石及煉瓦ヲ造リタル二階家ナリ而シテ其場所ハ佳美ニシテ周圍ニ廣キ地面アリ此地所ヲ農業又ハ園事故事等ニ使用セリ小兒亦田地又ハ工場ニ於テ日々四時間ノ勞働ヲ爲ス可キ定則ニシテ又學校ニモ出場シテ算術讀書綴字習字地理及文典等ノ教授ヲ受ク其營業時間

ハ午後一時ヨリ三時三十分迄及六時十五分ヨリ七時三十分迄ナリ(土曜日曜日ノ外ハ)而シテ音樂教師ノ教授スル十八人ノ破廉恥ナル一組ハ此校中最モ著シキモノナリ千八百八十二年六月三十日ニ終ル年度間同所ニ送ラレタルモノハ左ノ如シ。八歳ヨリ十九歳迄ノ男兒 八十九人。十一歳ヨリ十七歳迄ノ女兒 四十六人。女兒ハ直チニ之ヲマゾダシム(養育所ノ名)ニ送リテ其教育ヲ受ケシム日中ハ何時タリトモ參觀ヲ許ス。

- 一 舊町會所 Old City Hall.
- 二 新町會所 New City Hall.
- 三 郡立監獄署 County Jail.
- 四 懲役場 House of Correction.
- 五 工藝學校 Industrial School.

○區畫の事

きん、ふらん、志とこヲ十二ノ區々ニ分畫セリ其境界等ハ格別必要ナラザルニヨリ全畧セリ

○衛生、火災取締及警察の事

衛生ノ事、千八百八十一年度間ノ衛生報告ニ據レバ同年度死人ノ總數五千八人(内蒙古人五百二十七人)ニシテ前年度ハ四千二百八十七人ナリ今人口ヲ二十三万四千五百二十一人ト見テ死人ノ割合ヲ算スルニ同年度ハ千人ニ付キ二十一・八三四ニ當リ前年度ハ十八人二七ニ當レリ而シテ斯ク死人ノ増加スルハ下水ノ完全ナル有様ヲ備ヘザルニ因ルト云フ○又支那人民ノ有様ハ不潔汚穢極マリテ大ニ當地人民ノ衛生ニ防害ヲ與フト云ヘリ「其他略之」

火災ノ事、千八百四十九年十二月廿五日ノ夜當府ニ一大火災起リ、壹百万弗餘ノ財産ヲ灰燼ニ歸シタルヨリ府民ヲ火災取締掛設置ノ必要ナルヲ感ゼシメ、翌年一月府長ハ之ヲ設クベキヲ命ゼリ爾來火災ノ度ヲ重ヌルニ從ヒ取締ノ事モ亦大ニ進歩シ千八百八十三年ニ於テハ火災取締ノ總員其數三百三人ノ多キニ至リヌ「火災警報及火の番等ノ事ハ餘リ必要ナラザルニヨリ之ヲ略セリ」

警察ノ事、警察事務員ハ其數四百五人アリ中央警察本署ハ舊町會所内ニ在リ支局八箇テレグラフ警察署三箇アリ

「其餘ノ記事之ヲ全略ス」

○郵便局の事

郵便局ハわーんとん町トモつたーりー町トノ北西隅ニ在ル税關ノ第

一階ニ在リ而ルニ其室房ノ大サ廣カラザルヲ以テ増加スル郵便事務ノ取扱ニ充分ノ便利ヲ與フルコト能ハズ故ニ今市中ノ中央ナル所ヲ撰ミテ便宜ナル堂宇ヲ新築ス可キノ議案ヲ國會ニ提出中ナリト云フ

事務取扱時間 留置郵便手渡ハ午前八時ヨリ午後七時迄ニテ日曜日ニハ午後一時ヨリ二時迄ナリ○配達課ハ午前八時ヨリ午後五時迄開キ日曜日ニハ午後一時ヨリ二時迄開ク○切手課ハ午前八時ヨリ午後五時迄○書留課ハ午前八時ヨリ午後五時迄○爲替課ハ午前九時ヨリ午後三時迄○以上ノ三課ハ日曜日ニハ閉局ス

支局 A支局ハぼるく町千三百○九番○B支局ハみつじよん町トとウゑんてーす町トノ南西隅 午前八時ヨリ午後六時迄日曜日ハ午後二時ヨリ同三時迄○支局ハみつじよん町トとウゑんてーす町トノ北東隅 午前八時ヨリ午後五時迄日曜日ハ午後二時ヨリ同三時迄

書狀、手渡、及、取、集、七十二人ノ配達人アリテ書狀ヲ各所ニ日々一度内至五度配達ス又土地柄ノ如何ニヨリ日々二度内至九度市中ニ在ル郵便函ヨリ書狀ヲ取集メルコトナリ而シテ其郵便函ニハ書狀ヲ取集ムル時間表ヲ有テリ

内、國、郵、便、税、郵便物ヲ四類ニ分ツ其第一類ハ書狀、端書、全部又ハ一部書ニタル諸物(校正物等ヲ取除キ)ニシテ郵税ハ書狀半「ونس」又ハ其以内毎ニ二仙、端書ハ一仙ナリ。第二類ハ新聞紙、預約定時刊行雜誌ニシテ郵税一封又ハ其以内毎ニ二仙ナリ。第三類ハ書籍、臨時刊行新聞紙、定時刊行雜誌引キ札、其他全部印刷シタル物(第二類ニアラザル)校正物、銅版畫等ニシテ其一包ノ重量四封ヲ超ユヘカラズ其税ニ「ونس」又ハ其以内毎ニ一仙ナリ。第四類ハ第一、二、三類ニ合マザル物ニシテ損害ヲ受ケズ又他ニ損害ヲ與ヘズ其一包ノ重量四封ニ超ヘザルモノナリ(但シ

一部ノ書籍ハ重量ノ多少ニ關セズ第四類トシテ取扱フコナリ其郵税
 「フランス」又ハ其以内毎ニ一仙ナリ
 外國郵便税 あるぜんたん聯邦、埃太利、白耳義、巴西、智利、支那(桑港
 ヲ經テ香港等へ向ケ)噠馬埃及、佛蘭西、日耳曼、大英國及愛蘭土、希臘、ほん
 じ、らそ、以太利、日本、墨西哥、よーぜー、らんど、よゆー、ふ、をんどらんど
 那威波斯、白露、葡萄牙、魯西亞さんどういつち諸嶋、西班牙、瑞典、瑞西土耳
 古、べねじ、ら等ノ郵便聯合國へノ郵便税ハ皆同一ニシテ即チ左ノ如シ
 ○書狀 半「フランス」又ハ其以内毎ニ五仙
 ○端書 二仙宛
 ○新聞其他印刷物 「三」フランス」又ハ其以内毎ニ壹仙
 加奈太領地即チ英領哥倫比亞まよとば、よゆー、ぶらんずらいつく、のぼ
 すこちや、ぶりんそ、ほとわると諸嶋をんたりを地方、きゆべつ、く地方は

らんこーばあす諸嶋へノ郵便税ハ總テ合衆國內へノモノト同一ナ
 リトス(商品ノ見本ヲ除クノ外ハ)而シテ一包ノ重量八「フランス」ヲ超ニ可
 カラズ其郵税一包毎ニ十仙ナリ
 以上ニ記載セザル國々へノ郵便税ハ郵便局ノ切手賣捌口ニテ問フカ
 又ハ其廊下ニ掲ゲタル告示ニ附イテ知ル可シ
 書留郵便 書留料ハ如何ナル種類ヲ問ハズ内外ノ別ナク書狀又ハ
 包物一箇ニ付キ十仙宛ナリ
 郵便爲替 一仙以上五十弗以下ハ何程ナリトモ爲替ニスルコヲ得
 ベシ。内國爲替料ハ左ノ如シ
 ○十五弗以下 十仙 ○十五弗以上卅弗以下 十五仙
 ○卅弗以上四十弗以下 廿仙 ○四十弗以上五十弗以下 廿五仙
 外國爲替料ハ左ノ如シ

大英國及愛蘭土へノ爲替料

- 十弗以下 廿五仙 ○十弗以上廿弗以下 五十仙
- 廿弗以上卅弗以下七十仙 ○卅弗以上四十弗以下八十五仙
- 四十弗以上五十弗以下 壹弗

白耳義、加奈太、佛蘭西、日耳曼帝國、印度、以太利、ヒヤマイカ、ヨウ
 さうずら、エー、るす、にゆー、るー、らんど、瑞西、たごまに、あびくとり
 あ、埃太利亞へノ爲替料

- 十弗以下 十五仙 ○十弗以上廿弗以下 卅仙
 - 廿弗以上卅弗以下 四十五仙 ○卅弗以上四十弗以下 六十仙
 - 四十弗以上五十弗以下 七十五仙
- 郵便、差出時間、太平洋沿岸、東方諸州及歐州等ノ郵便局へ向ケ差遣
 ハス、郵便ノ切時間ハ左ノ如シ

- 日本、支那、オーストラリア、カリフォルニア、孟買、新嘉坡、瓜哇へノ郵便ハ毎月二回
 瀛船ニテ差出ス、午後十二時三十分ノ切
- あれめだ、ばーくれー、及をうくらんどへノハ午前五時四十五分、七
 時三十分、十一時十分、午後四時ニ切
- 大英國へハ毎火、木、土曜日ニ差出ス、午後二時ノ切
- をばあーらんど、東方諸州及歐州へノハ午後三時ノ切
- さくらめんとー、ちーへノハ午前七時三十分、午後三時ニ切
- ぎんぜ、と、さんたくら等へノハ午前七時卅分、午後二時四十分
 ニ切
- さんく、ねんてん、及さんらふ、るへノハ午前八時、午後四時三十
 分ニ切
- びくとり、あ、英領哥倫比亞へハ瀛船ニテ毎月十日、二十日、三十日ニ

差出ス、午後一時ノ切
「其他ノ記事ハ餘リ必要トモ思ハザレバ之ヲ省略シテ事ノ簡ニ從
フ」

○税關造幣局等の事

税關ハわ志んもん町トばつたり町ノ北西隅ニ在ル三階煉瓦造
リノ建物ナリ此ハ千八百五十五年九十万弗程ノ費用ヲ以テ建築セシ
モノナルガ他ノ公立築造物ノ如ク亦々事務ヲ執ルニ太ダ狭小ナルニ
至レリ其二階ト三階ノミ税關之ヲ使用シ第一階ハ郵便局ヲ置ク此ノ
税關公務時間ハ午前九時ヨリ午後三時迄ナリ去ル千八百八十二年ノ
輸入税額ハ九百二十五万一千七百九十五弗ニシテ其前年即チ八十
一年ニハ七百四十四万六千弗ナリシト云フ

合衆國造幣局ハふっふす町トみっしよん町ノ北西隅ニ在ル花崗石
及水漉石ヲ以テ築造シタル壯麗緻密ノ建物ナリ其構造ニ階家ニシテ
事務ノ執行ニ頗ル好都合ナリ其各課ニ使用スル男女ハ合シテ二百四
十五人程アリ事務取扱時間ハ午前九時ヨリ午後三時迄ニシテ午前九
時ヨリ同十一時半迄ハ諸人ノ從覽ヲ許ス

合衆國大藏省支部ハもんごめり町トはやるよ町トノ間ナル
こんまゝ志ある町ニ在リテ堅固ナル煉瓦造ノ四階家也此ハ千八百七
十七年ニ十万弗程ノ費用ヲ以テ建築シタルモノナリ其第一階ハ合衆
國大藏省支部ニ用ヒ第二階ハ地所掛員ノ用ユル所ニシテ第三四階ハ
合衆國貴人領地監督官長ノ用ユル所ナリ三階ノ廊下中よかりふを
にや全州ノ諸鑛山ヨリ採掘シタル美麗ノ鑛物ノ見木ヲ陳列シタル室
房アリ

合衆國貨物評價所、ハワヒンとん町トヒヤックソン町トノ間ナ
 ユナイテッドステイツ・アップレーザースビルディング、
 ルさんそむ町ニ在ル。壯大美麗ナル煉瓦造ノ四階家ニシテ千八百七十
 九年百万弗ノ費用ヲ以テ建築シタルモノナリ。其第一階ニハ内國収税
 官、合衆國海軍病院外科醫長大藏省支部特別員等アリ。第二階ニハ合衆
 國貨物評價官及副評價官等アリ。第三階ニハ合衆國領地ノ法庭等アリ。
 又第四階ニハ燈臺局監督員等アリ。

○軍兵屯營の事

軍兵屯營ノアル所ハあるかとらず島^一、あんげる島^二、ふらんとめーずん^三、
 せるとういんふ^四、いんとすとつとふれ^五、をノ數所ナリあるかと
 らず。嶋ハてれぐらふひるノ北西二英里程ノ所ニアリテ水面ヨリ百フ
 イト「餘登立」シ城砦ヲ備ヘ要害堅固ノ地ナリ。あんげる島ハあるかと

らず島ノ北方二英里程ノ所ニアリテ城砦ヲ備フさん、ふらん志すこ灣
 中ノ最大島ナリ。ふらんとめーずんハ一名ぼいんとさん、若よーすト稱^六
 シば、んねす街ノ端ニ近キ海岸ニ在リ。ふらんとういんふ^七、いんとすと
 かつとハごるでんげ^八、トノ南岸ニ在リテ舊名ヲふらんとぼいんとと
 云フ。ふれ志^九、をハ合衆國軍備貯蓄所タル所ニシテ其南端ニ合衆國
 海軍病院アリ。

「其他記事省畧」

- 一 あるかとらず島 Alcatraz Island.
- 二 あんげる島 Angel Island.
- 三 ふらんとめーずん Fort Mason.
- 四 ふらんとういんふらんとぼいんとと Fort Winfield Scott.
- 五 ふれ志で Presidio.
- 六 ぼいんとさんふらんと

Point San Jose.

七 ふせるとぼいんと

Fort Point.

八 合衆國軍備貯蓄所

United States military reservation.

○燈臺局及霧備警報の事

燈臺局ハ其數七箇所アリテあるかとらず燈臺局ハあるかとらず島ニ在
リイザとぶらざー燈臺局ハいーずとぶらざー島ニアリふまらるろ
ーん燈臺局ハ南東ノふまらるろーん島ニアリふをるとぼいんと燈臺
局ハふをるとぼいんとニ在リめあいらんど燈臺局ハ同島ノ極東端
ニ在リぼいんとぼいた燈臺局ハ同所ノ極端ニアリゆるぼいゆふあ燈
臺局ハ同所ノ南東端ニ在リ各所皆霧備警報ヲ備具ス「原文ニハ其他ノ
記事アレモ不必要ナレバ略セリ」

○領事の事

領事ノ姓名及領事館ノ場所ヲ左ニ抄記ス
日本領事 柳谷健太郎 まいけつと町七百三番○支那領事長 ウ
ングツン、シイン同領事 エフ、エー、ビー くれー町九百十七番○佛國領事
ラウガスト、ツアウツアイト、デー、ミーン わんんとん町七百四番○英
國副領事 チャーレス、メイズン(領事ナシ) かりふをるとぼいんと町三百十
九番○黒西哥領事 ゼーカルロス、メキア ばつたーリー町五百六番
○魯國領事長 アレキサンダー、イー、ラレロブスキー同副領事 ジー、
ニイパーム かりふをるとぼいんと町四百十番
「但現今ノ日本領事ハ宇田川準一氏ナリ、其他省略」

○海壁の事

千八百八十三年四月迄ニ幅二百「フィート」ノ海壁四千五百六十一「フィート」ヲ築成セリ其海壁ハふるんと町ヨリぽーらなる町トぞふなる
 せん町トノ角ノ近傍迄廣ガリテ五區ニ別テリ此五區ノ工費ハ八十
 九万四千六百七十一圓五十六仙ナリシト云フ第一、二、三、四區ノ埠頭ニ
 ハ其内部ニ幅四十「フィート」長サ四千「フィート」ノ車路ヲ構造シタリソ
 ハ此埠頭ハ專ラ船舶ヘ荷物ヲ積入積出スルニ用ユルガ故ニ其往來ニ
 便セントテ構造シタルモノニシテ又此區ヲ造リタルガ爲メ大ニ自他
 荷揚所ノ混雜ヲ救イタリ○穀物ノ商賣ハ多ク第一第二ノ區ニ移レリ
 該區ニ在ル小舎ハ其長サ二千「フィート」幅百「フィート」ニシテ穀物商賣
 ノ用ニ供ス該區及其小舎ヲ使用スルコトニ付テノ港務委員會議所
 ノ規則ハ大ニ穀物商賣ニ便益ヲ與テ即チ該所ニ穀物ヲ陸上ゲスルニ
 ハ每一噸五仙ノ税金ヲ拂フコトニテ十五日間ハ其以上ヲ出金セスシテ

該小舎内ニ留メ置クコトヲ得ルナリ

○引揚「ドック」の事

かりふをるよや引揚「ドック」ハ南部さんふらんしそこノはんたー
 そぼいんとニ在リ 事務所 かりふをるよや町三百十八番
 まーちやんつ引揚「ドック」ハそびーあ町ノ端ニ在リ
 事務所 同上

○銀行及銀行者の事

左ニ二三ノ銀行及其場所ヲ抄記ス
 ○英國北米銀行 Bank of California さんそむ町二百廿一番
 ○かりふをるよや貯金貸附會社 ぽーらなる町一番

○香港上海銀行組合 かりふをるよや町四百二十三番

○さんふらんまそと貯金共社 かりふをるよや町五百三十二番

○抵當貯金銀行 さんそむ町二百十五番

「其餘略之」

○銀行集會所及安全預所の事

さんふらんまそと銀行集會所

さんそむ町二百十三番 支配人 チャーレス・スリーパー

かりふをるよや安全預受貸與會社

もんとごめり 町三百二十六番

○株式取引所及物産取引所等の事

太平洋株式取引所 かもんとごめり 町三百十六番ニ在リ毎日午前九時同十一時及午後三時ニ於テ礦山會社ノ株式賣買ヲ執行ス此集會時間中ハ參觀ヲ許ス

さんふらんまそと株式爲替會所 さんそむ町もんとごめり 町ノ間ナルばいん町ニ在リ毎日午前九時三十分同十一時及午後二時三十分ニ於テ礦山會社ノ株式賣買ヲ執行シ午前十時四十五分及午後二時十五分ニ於テハ地方手形ノ賣買ヲ行フ而シテ同所ノ人員中ヨリ許諾ノ名刺ヲ得タル者ニハ參觀ヲ許ス

株式公債証書取引所 ハ商人取引所ノ二階ノ第二十二室ニ在リ毎日午前十時三十分及午後二時ニ於テ合衆國公債証書及地方手形ノ賣買ヲ執行ス而シテ同所ノ人員中ヨリ許諾ノ名刺ヲ得タル者ニハ參觀ヲ許ス

さん、ふらん、志、こ、物産取引所、ハだびと町三百二番ニ在リ毎日午前十一時三十分ニ集會ス參觀ノ手續ハ同上ナリ
 さん、ふらん、志、こ、穀物取引所、ハさん、ふらん、志、こ、株式爲替會所（さんそむ町トもんとごめり町トノ間ナルばいん町ニ在リ）土曜日ノ外ハ日々午後一時三十分ニ集會シ土曜日ニハ午前十時十五分ニ集會ス

○かりふをるよや塘山局の事

同局ハ千八百八十年四月條例ニ准シテ設立シタルモノナリ今左ニ同條例ニ記セル事項ヲ抄記セン

此條例ニ准シテかりふをるよや州ニ一ノ礦山局ヲ設立ス可シ其本局ハ之ヲさん、ふらん、志、こ府ニ置キ州内ノ礦物學士ヲ會シ地理礦

物ニ學上ノ諸物ノ見本ヲ貯備セシム可シ云々（中畧）礦物學士ハ又該局ニ礦物岩石及他ノ州邦領地ノ穿掘物ヲ貯備スルヲ務ム可シ而シテ其取集品ハ相當ノ時間ヲ以テ公衆ノ從覽視察ニ供ス可キモノトス云々其餘省畧局ハさつた一町二百二十二番ナリ

○電信局及電話機局の事

米國地方電信局ハさんそむ町二百二十二番ニ在リテ其支局ノ數合シテ十二箇アリ○さん、ふらん、志、こ地方電信會社ハかりふをるよや町四百三十八番ニ在リテ其支局ノ數四箇アリ○西部合衆國電信會社ハもんとごめり町三百番ニ在リテ其支局ノ數十五箇アリ○其他かりふをるよや地方電信局火災警報及警備電信局等五ヶ所アリ
 ぱるふ、つく、べる電話機會社ハさんそむ町二百二十二番ニ在リ

○地所管理局の事
中央太平洋鐵道地所管理局

ふせーるそ町トたうんせんと町トノ北東隅

南部太平洋鐵道地所管理局

全上

合衆國地所管理局

こひまーある町六百十番

かりふせるよや大學校地所管理料 ぱいん町三百十番

○用水供給所及瓦斯製造所の事

さん、ふらんをそこ府ニ使用スル莫大ノ水量ハスプリング、ヴァルレー
用水供給所ヨリ給スル所ニシテ同水量會社ノ事務所ハかりふせるよ
や町五百十六番ナリ

瓦斯會社二箇アリ一ヲ中央瓦斯會社ト稱シ瓦斯製造所一箇所アリ事

務所ハまーけつと町八百四十三番ナリ。一ヲさん、ふらんをそこ瓦斯會
社ト稱シ瓦斯製造所六箇所アリ事務所ハふせーるす町トなとま町ト
ノ南東隅ニ在リ 「其他記事全略」

○電氣燈會社の事

主モナル町々ハ光耀電氣燈ヲ點シテ不夜城ノ觀アリ之ハかりふせる
よや電氣燈會社ノ備給スル所ニシテ共事務所及製造所ハぜつゝい町
二百二十番ヨリ同二百二十六番迄ナリ

○寺院の事

千七百七十六年間ミツシヨンドロレス(教會ノ名)ノ建設以後千八百四
十九年ニ至ル迄さん、ふらんをそこニ建立シタル祈禱堂ハ現今猶存ス

ル志つきすて、いんす町トどろれす町トノ隅ニ在ル古宇ノミナリキ
而シテ新教寺院ノ建設ハ千八百四十六年ニ創マレリト云フ(中略)其後
千八百四十九年ニ至リ種々ノ寺院八箇ヲ建立シタリ而シテ今ヤ歐州
ノ諸國ハ大抵一箇若クハ一箇以上ノ祈禱堂ヲ設置シ其中ニハ隨分廣
大美麗ノモノアリテ其勢ヒ大都ノ寺院ニモ劣ラザルモノアリト云フ
今當府ニアル寺院ノ類別ヲ列記セン

- Baptist. 其教會七箇アリ
- Congregational. 其教會五箇アリ
- Episcopal. 其教會十一箇アリ
- Evangelical Lutheran. 其教會七箇アリ
- Hebrew. 其教會七箇アリ
- Methodist Episcopal. 其教會十五箇アリ
- Presbyterian. 其教會十六箇アリ
- Roman Catholic. 其教會二十三箇アリ

Swedishborgian.
Unitarian.
雜派

其教會一箇アリ
其教會一箇アリ
其教會十二箇アリ

「各教會ノ名稱場所等ハ之ヲ略セリ」

○支那人教會の事

諸宗派支那人ヲ教化スルノ目的ニテさんふらんをすこニ其教會ヲ建
設セリ就中「メソヂイスト」派ト「プレスビテリアン」派ノ如キハ學堂禮拜
堂等ヲ備ヘクル堂宇ヲ建立セリ去レテ他派ノ其爲メニ用ニル會場ハ
借用スル所ナリ支那語ニテノ教務ハ毎日曜日ニ之レヲ爲シ英語ニテ
教授スル學校ハ毎夜開校ス其宗派ノ類別ヲ擧グレバ「バプテヂイスト」
「コングレゲーショナル」「メソヂイスト」「プレスビテリアン」是ナリ

○共會の事

宗教救惠學術其他ノ目的ニテさんふらん志すこニ組織シタル共會中ニハ高尚ノモノモ隨分數多アリテ之レガ爲メ大ニ宗教ノ勢ヒヲ進メ病夫貧者ノ窘窮ヲ救ヒ且ツ有益ノ報告ヲ弘布シタリ「メーヌンス」ラツド「フェローズ」「ソッドメン」等ノ諸共會ハ皆壯大便宜ノ會堂ヲ備有シ佳美ニ整裝シタル小室書籍館及讀書室等其中ニ備ハリテ會員ノ便利ニ供ス。歐洲ノ諸國ハ大抵其國人ノ疾ヲ病ミ貧ニ苦シムモノヲ救濟センガ爲メニ各々共會ヲ設置シタリ就中佛國及日耳曼ノ二救惠共會ハ病院ヲ設置シ病夫ヲ此所ニ送リテ良醫ノ療治ヲ受ケシムト云フ。其他尙ホ諸種ノ守護共會及ビ無數ノ交親會アリトス。今左ニ當府ニ在ル大共會ノ名稱會場等ヲ抄記シテ讀者ノ參考ニ資セン

かりふるよや移住共會 …… 八十二年十一月設立 其目的ハ

りふるよや移住ヲ勸奨スル、地形氣候等ニ付イテノ確報ヲ備フル、及ビ種々ノ方法ヲ以テ殖民ヲ保助スルニ在リ事務員ハストリトト氏ニテ事務所ハかりふるよや町十番ナリ

婦人保護救助會 …… 五十三年八月組織 其目的ハ孤獨赤貧ノ兒女ヲ教育シ確乎タル家族ガ其永久ノ居所ヲ與スル迄之ヲ保護スルニ在リ同會ノ堂宇ハふらんくりん町ニ在リテ其構造美麗ナリ

リギニ子シヨチル فرانケース(會名) …… 七十六年七月設立 其目的ハ在留佛人ノ間ニ懇親ヲ通スルニ在リ而シテ同會ハ十二万卷ノ書籍館ヲ有シ其中ニハ佛語ノ有益ナル書物數多アリ會堂ハさつた一町百廿番ナリ

小兒救助館 …… 七十一年組織 其目的ハ勞夫ノ小兒ヲ觀護教育スル、及ビ仁惠ヲ施スニ在リ同會ニ附屬セル

幼稚園ハ平均四十人ノ出席生徒アリ火曜土曜兩日ノ外ハ同館ヲ參觀スルコトヲ許スみんな町五百十二番ニ在リ
 機械學共會 ……五十五年三月組織 其目的ハ書籍館博物館及讀書室ヲ建設シ又演說等ヲ爲シテ有要ノ智識ト報告トヲ弘ムルニ在リ
 其書籍館ニハ三方三千卷ノ書籍ヲ有シ有益ナル書物數多アリ善長ノ人ハ何人タリトモ入會料一弗ヲ拂ヒ三ヶ月毎ニ一弗五十仙ノ會費ヲ前拂スレバ會員トナルコトヲ得又當地ニ住モザル人ハ前金一ヶ月五十仙ヲ拂ヘバ同會ノ免許ヲ得ベシ會場ハぼすと町二十七番ナリ
 商人取引所協會 ……六十六年六月組織 毎月十日ニ委員會アリ各所ヨリノ商業及船積生ノ新聞到達スレバ直チニ之ヲ同取引所ニ揭示ス會場ハ商人取引所中ニ在リテ午前七時ヨリ午後十時迄開場ス取引時間ハ午後一時ヨリ同二時迄ナリ

ライムピック(昔希臘國ノ遊シ名) 苦樂部 ……六十年五月組織 同會堂ハぼすと町百十九番ニ於テ其爲メニ特ニ建立シタルモノニシテ壯大便宜ノ地所ヲ占メリ体操場讀書室玉突場及將棋室カサテ會員ノ娛樂ニ供スル物ヲ全備ス
 さんらんますこ技術協會 ……七十一年三月組織 其目的ハ圖書彫刻及之ニ類セル美術ヲ勸奨スルコト世間ニ技術ノ改良事例ヲ弘ルコト及一ノ圖書學校ヲ建設スルニ在リ而シテ毎年少年ナクトモ一ノ技術博覽會ヲ執行ス會場ハぼいん町四百卅番ニシテ日々開場シ公衆ヲ參覽ヲ自由ニス但シ技術博覽會ノアルトモ入場料ヲ賦課スト云フ
 さんらんまそにタルベレイ(會名) ……五十二年八月組織 同會ハたらく町三百廿三番ニ便宜ナル堂宇ヲ建テタリ体操場及交際又ハ文學ノ用ニ供スル室場アリ書籍館ニハ一万二千卷ヲ書籍ヲ備ヘリ

救惠共會……さん、ふらんをすこ救惠會ハ六十五年三月ニ組織シタル者ニシテ會場ハウヱツぶ町二十番ナリ。かりふせるよや英國救惠會ハ六十五年五月ニ組織シタル者ニシテ會場ハかりふせるよや町五百卅一番ナリ。其他佛人救惠會日耳曼人救惠會等種々アリ。雖、餘リ必要ナラザレバ省略セリ。但シ其目的トスル所ハ何レモ救惠ヲ施スニ在リテ貧人病夫又ハ寡婦孤獨ヲ救フ等はソナリ。……さん、ふらんをすこ法學士共同會……七十九年三月組織。其目的ハ法學ノ利益ヲ進捗スルニ左リ事務所ハもんとごめり一町六百二十三番ナリ。

少年耶穌教徒協會……五十二年九月組織。其目的ハ少年ノ德義精神心意交際及有形上ノ有様ヲ改良スルニ在リ。此目的ヲ達センガ爲メさつた一町二百三十二番ニ壯大便宜ノ堂宇ヲ建立セリ。其中ニハ四

千卷餘ノ良書ヲ藏ムル書籍館アリ。又々世界各地ノ新聞雜誌ヲ備フル讀書室アリ。其他談話室、体操場、投球場、浴室等アリ。テ會員ノ娛樂使用ニ供ス而シテ旅人等ニ該堂宇ヲ從覽セシメ且ツ其望ニ從ガヒさん、ふらんをすこ府ノ事ニ關セル確報ヲ供スルヲモアレバ又々善長ノ下宿店ヲ周旋スルコアリト云。

少女耶穌教徒協會……七十八年二月設立。其目的ハ貧女ノ爲メニ工藝局ヲ設立シ及ビ女子ノ讀書室、書籍館ヲ建設スルヲ孤獨無宿ノ少女ヲ求メテ之ヲ勸助シ之ニ相當ノ職業ヲ得サシムルヲ、病院、監獄署ニ在ル人々又ハ教務ヲ要スル家族ニ聖書ヲ具理及教徒ノ友情等ヲ説教スルヲナリトス。會場ハほらうらぶ町五百三十九番ナリ。

ヨーステ、レク、ト、リ（會名、少年ノ手導ト云フ義）……七十四年十一月設立。同會ハ如何ナル者ノ小兒ニテモ孤獨ナル者ハ善ク之ニ遇シ

食ヲ給シ且ツ之ヲ看護シテ其職業ニ有就ス迄ハ暫時寄留スルコトヲ得
 セシムルノ場所ニ設ケタルモノナリ而シテ此目的ヲ達センガ爲メ
 一、ウチと町千四百十七番ニ堂宇ヲ建設セリ其中ニ事務所、寢所、
 耐、食堂、讀書室、浴室等アリ但シ同會ハ寄附金ニテ保持スル
 さん、らん、を、す、こ、法、學、士、協、會、七十二年四月組織其目的ハ
 法學ノ面目ヲ保チ其功要ヲ進ムルコト及ビ其會員ノ懇親ヲ計ルニ在リ
 會場ハさくらめんと町六百三十四番ナリ
 商務局 ……七十二年四月組織 年會ハ二月第一月曜日ニ開會ス
 取締員會ハ毎金曜日ニ開會ス會場ハまじけつと町二百二番ナリ
 かり、を、る、に、や、領、地、殖、民、共、會、七十四年十一月組織 其目的
 ハ太平洋沿岸既往ノ歴史ニ關係スル報告史誌ヲ集貯スルコト、書籍館及
 ビ礦物陳列堂等ヲ建ツルコト、及太平洋ノ海岸ヲ開化ヲ進メルコト、人々ノ

事業勇氣ノ記録ヲ貯備スルコトナリトス而シテ同會ハ數百卷ノ書籍ア
 ル書籍館ト礦物其他必要物ノ陳列場トヲ有セリ會場ハまじけつと町
 八百三十八番ナリ
 共、助、會 ……五十年四月組織 毎年十月第三火曜日ニさん、
 らん、を、す、こ、ニ於テ集會ス其支會十六箇アリト云フ
 商、法、會、議、所 ……五十年四月組織 一、四、七、十、月ノ第三火曜日ニ集
 會アリ同書籍館ニハ書籍九百二十四卷雜誌八百二十二冊畫圖四十九
 箇アリ事務所ハかり、を、る、に、や、町二十六番ナリ會場ハ商人取引所ノ
 二階ナリ
 かり、を、る、に、や、科、學、中、學、會 ……五十三年四月組織 毎月第一
 第三月曜日ニ定式會ヲ開會ス其夜ニハ會員ノ演說モアレバ又科學ニ
 關スル新聞ノ朗讀モアリトス同會ノ博物館ニハ貴重ナル陳列物アリ

テ尙ホ續々之ヲ増加スト云フ又同會ノ「クロック」カ「スマンプ」カ「ルド」ト稱スル陳列物ハ當時商業書籍館中ニ出品シアリト云フ又一ノ書籍館アリテ數多有益ノ書籍ヲ藏セリ事務所ハくれい町四百十四番ナリ會堂ハかりふをるよや町トちゆぼんと町トノ南西隅ニアリ

「其他省略。本文中何十何年トアルハ千八百何十何年ノ略語」

○病院及養育所の事

病院 合衆國海軍病院ハふれををれざーべーじよんニ在リ○市民病院ハ舊町會所ニ在リ○支那人病院ハばいん町五百十二番ナリ○其他十二箇アレレ箇ヲ欲シテ共記事ヲ畧ス

養育所 市郡立貧院ハらぐあほんだニ近キみつをよんをい志まんはうに街道ニ在リ○捨子養育所ハごるでんげーと街九百十三番ナリ○

まぐだれん養育所ハぼとれろ街ニ在リ○其他十六箇アレレ之ヲ略セ

○墓所の事

ろーんまうんてん(げやう)町トせんをとらる街トノ角ニ近キ山名ナリ○ノ接近地ニ墓所四箇アリ其一ヲろーれるひる墓所ト稱シ風景畫ノ如ク海洋ヲ一望スルノ高所ナリ墳墓紀念碑ノ作造壯大ナルモノ數多アリト云フ該所ヨリ程近キ所ニ「カルツアリー」「メゾニツク」「ラッド、フエーロース」ノ三墓所アリテ壯麗ナル紀念碑アリトス又まつきすてーんを町ニ近キをろれを町ニハ「ミツシヨンドロレス」ノ墓所アリてーんす町トとうんてーんを町トノ間ナルをろれす町ニハ「ハブリニー」派ノ墓所二箇アリテ一ヲ「ホーム」ヲ「ピース」ト稱シ一ヲ「シエリス、イス

ノールト稱スほいんとろぼす街ノ端ニ近キそるて「さ」ど街ノ西ニ
 くるでんげいど墓所アリ(又府有墓所トモ云フ)其他ふれまてをれざし
 ベー志よんニ合衆國軍隊ノ士官兵士ノ死者ヲ葬ムル所アリトス
 ○大學校及私立學校の事
 さんふらん志そこノ公立學校ハ善良ニシテ且其數甚ハダ多クアルニ
 モ關セズ尙ホ其他私立學校大學校等一百有餘アリ其中ニハ頗ル盛大
 ナル者アリテ人々ニ充分ノ教育ヲ受クルノ便ヲ與フ今千八百八十二
 年六月ノ調査ニ據ルニ私立學校及寺院學校(支那人寺院學校ヲ除キ)ノ
 出席生徒ハ其數五千五百八十九人アリト云フ左ニ大學校ノ名及ビ場
 所ヲ列記セン

○ヘステ、コレツヨフゼイ法律大學校(かりふまゐるよや大學校ノ保護ニ屬ス)舊

町會所中ニ在リ○ヘールド商業大學校 ぼすと町二十四番○太平
 洋醫學大學校 へいと町百十五番○かりふまゐるよや大學校醫學部
 ぼすとつくとん町○太平洋商業大學校 ぼすと町三百二十番○セ
 イント、ロイズ中學校 くるでんげいど街○府立大學校 へいと
 町百十九番○其他七校アレハ略セリ
 ○書籍館の事
 かりふまゐるよや科學中學校書籍館ハ書數五千卷アリテかりふまゐるよや
 町トちゆぼんと町トノ南西隅ニ在リ ○公共書籍館ハ書數四萬五千
 卷アリテぶつと町ニ在リ ○法律書籍館ハ書數二万一千卷アリテ新
 町會所ニ在リ ○機械學共會書籍館ハ書數三万三千卷アリテぼすと
 町二十七番ニアリ ○商業書籍館ハ書數五萬二千六百二十九卷アリ

テぶつし町二百十六番ニ在リ ○礦山局書籍館ハ書數五百卷アリ
 テさつた一町二百十二番ニアリ ○其他十六箇アレ略セリ
 ○新聞紙の事
 千八百四十七年一月七日サヨコール、プランチン氏始メテ毎週刊出ノ
 新聞紙ヲ發行セリ其名ヲかりふをるにや、すた一ト稱ス同年五月セム
 プル氏又かりふをるよやト云ヘル一新聞ヲ起セリ其翌年ニ至リテ二
 新聞相共ニ結合シテをたし、ズんど、かりふをるよやト稱スル新聞トナ
 リンガ四十九年一月又々あるた、かりふをるよやト改題セリ而ルニ五
 十年一月二十二日ニ至リ毎週刊行ヲ改メテ日々刊行ノ新聞トナリ之
 ト同時ニ又日々刊行ノ一新聞出デタリ之ヲ「ヂヨルナル、ラフ、ヨム、マ
 ス」ト稱ス同年間又々四箇ノ新聞紙起レリ「パン、フィツク、ニ、ス」イ

「ブニング、ピケ、ユニオン」ハ「ラールド」ク「リール」則チ是ナリ爾後新聞紙
 ノ續々起ルモノ多ク其中ニハ創業後暫時ニシテ休刊セル者モアリキ、
 而シテ當時さん、ふらんをすこ府ニテ刊行スル日々又ハ毎週發兌ノ新
 聞雜誌其數殆ンド百四十箇アリト云フ今日々刊行新聞紙ノ目ヲ擧グ
 レバ「アルタ、ガリ、フォルニヤ」「クロニクル」「デイリー、モキステエン
 ジ」「モーニング、コール」(以上英語新聞)「アベンド、ポスト」「カリフォ
 ルニヤ、デモクラット」(以上二箇ハ日耳曼語)「クール、リール、デ、サンフ
 ランシスコ」(佛語)ニシテ其他尙ホ音楽新聞二箇及ヒ法律雜誌一箇ア
 リトス。毎週又ハ毎月刊行ノ新聞雜誌中ニハ善良ノ者數多アリテ或ヒ
 ハ宗教ノ事ニ關スルモノモアレバ又科學ノ事ニ關スルモノモアリ商
 業農耕礦事等各種々ノ事項ニ屬ス。全部又ハ一部外國語(英語ニ非ザル
 者)ニテ刊行スル新聞紙ヲ枚擧スレバ日耳曼語ノモノ八箇、佛語二箇、

ブリュール語四箇、西班牙語三箇、以太利語二箇、葡萄牙語、瑞西語、瑞典語、リス
 カデナヒヤン語、ノモノ各一箇支那語三箇ナリトス
 ○旅店の事
 さん、ふらん、あすこノ旅店中ニハ壯大快活用意ノ周密ナルコ他ノ都府
 ニ在ル上等旅店ニモ勝ル程ノモノアリ即チまーけつと町にゆゑもん
 とごめりー町、まつゑい町及あんまい町ニ界シタル「パレース、ホテル」
 ノ如キハ其構造七階ノ高樓ニシテ「アクル」四分ノ一「アクル」ハ四段
 十八歩餘程ノ廣地ヲ占掩セリ而シテ其室房ノ數ハ八百箇アリテ皆當
 世ノ便用物ヲ盛備セリ其大サヲ外ニシテ万事此「パレース、ホテル」ニ同
 等ナルモノヲ「バルドウィン、ホテル」。「オグシアン、ホテル」。「リッ
 フ、ハウス及ヒ「グランドホテル」トス何レモ主モ「アムステルダム」ノ中央ニ在リ

其宿泊料ハ大概同格ナレ唯タ室房ノ大小ト位置トニ由テ一日三弗
 ヨリ五弗迄ノ差アリトス○又宿泊料ノ廉ナルヲ望ム人々ニハ尙ホ善
 良ナル旅店數多アリ即チ「ルックス、ホテル」。「コムマーシアル、ホテル」。「ブ
 ルツクリン、ホテル」。「アールボルン、ハウス」。「インダーナショナル、ホ
 テル」。「プレスコット、ハウス」等ニシテ此等ノ旅店ニテハ其宿泊料ニ一
 日一弗半ヨリ二弗半迄ノ差アリ其他主モナル通路ニ數多ノ旅店アリ
 テ美麗ニ整備シタル室房(連室ニテモ單室ニテモ)ヲ週極又ハ月極ニテ
 貸ス可シ又其近傍ニ料理店^{レストラン}アリテ食事ヲ廉價ニ爲スコヲ得、今左ニ各
 旅店ノ名稱場所ヲ抄記シテ便覽ニ供ス
 「バルドウィン」ハぼーラヨる町トまーけつと町トノ北東隅ニ在リ○
 「ブルツクリン」ハぶつゑ町ニ百十番ナリ○「コムマーシアル」ハもん
 とごめりー町トばあふつく町トノ南東隅ニ在リ○「グランド」ハ

一けつと町トよゆ、もんとごめり、町ト南東隅ニ在リ○「インダ
 ナシヨナル」ハけあるよ、町八百二十四番ナリ○「リ
 もんとごめり、町トさつた、町ト南西隅ニ在リ○「ワ
 ル」ハもんとごめり、町ニ在リ○「パ
 もんとごめり、町ト南西隅ニ在リ○「プレ
 とごめり、街トけあるよ、町ト南西隅ニ在リ○「ル
 もんとごめり、町ニ在リ○「アル
 百二十一番ナリ○其他二十二箇所アレ、簡ヲ欲
 シテ省略ス

○借馬車規定（賃錢の事）

總テ公有馬車ノ賃錢ハ左ノ如クニ爲ス可キ旨當府廳ニ於テ定メタリ
 一匹以上ノ馬車乗客二人以下ハ一英里以内一弗五十仙以上二人以

上ハ二弗（其外毎一人一英里ヲ増ス毎ニ二十五仙宛）
 一匹以上ノ馬車乗客四人以下ハ一時間一弗五十仙（之ハ時間極ニシ
 テ最初ノ一時間ハ一弗五十仙ナレ、其後ハ一時間一弗宛）
 一匹引四輪馬車乗客二人以下ハ一英里以内一弗（一英里ヲ増ス毎ニ
 五十仙、二人ニテ時間極ニシテ最初ノ一時間ハ一弗五十仙其後ハ毎一
 時間一弗宛）
 但シ通例ノ行李ハ無賃ナリ「其餘略之」
 ○市場の事
 さん、ふらんを、府及夫市場ハ日々午前五時ヨリ午後五時迄開場ス
 （日曜日祭日ノ外ハ）主曜日ノ夜ハ午後十時迄開場ス「原書ニハ其名稱場
 所ヲ記シアリタレ、モ必要ナレバ全略セリ」

○劇場の事

今左ニ劇場ノ名稱場所二三ヲ抄記セン「バルドゥイン」ハまじけつと町九百三十四番ナリ○「ぐらんど」をペらばうす「ハサー」ど町ニ近キみつ「よん町」ニ在リ、其他十二箇所アレモ之ヲ略セリ」

補述

右「バルドゥイン」座ハ我國ノ新富座ト恰ンド同格ノモノニシテ平土間一人前二弗極下等一人前二十五錢ナリ又「グラン

ド」ヲペラ「座」ハ中嶋座位ノ格ニシテ平土間一人前二圓ニ圓ノ時モ

アリ五十錢ノ時モアリ極下等一人前十錢ナリト久シク桑港ニ在

○浴場の事

大旅店ノ近地ニハ淡水ノ浴場アリ又々海水泳浴場アリ其中三箇ハらるきん町ノ端ニ近キ海岸ニ在リテ一ハぽーうゑる町ノ端ニ在リ又々ふをーるす町ノ端ナルるんぐぶりつじうゑるふ(埠頭ノ名)ニ海水泳浴場一箇所アリもんとごめり一町七百二十二番ニハドクトル、シヤステイン、ゲーツ氏ノ大浴場アリトス「其他ノ記事省略」

○博物館の事

太平洋解剖學博物館……まじけつと町七百五十一番ナリ
かりふをるよや科學中學學會……同會ノ會堂内ニハ哺乳動物、鳥類、魚類、葡萄蟲、昆蟲、甲蟲類、貝壳類、礦物類等ノ有益ナル陳列物アリ又商業書籍館ニ出品シアルスタンフォード、クロツカート云フ貴重ノ陳列物モ亦ク同會ノ所有スル所ナリトス

かりふせるよや礦山局……さつたー町二百十二番ナリ、礦物、穿堀物及因底亞人ノ遺物等多大貴重ナル陳列物ヲ觀覽ニ供セリ。うーど、うをるど花園……そるていんす町トふをいるていんす町トノ間ナルみつーよん町ニ在リ同所ニハ種々心意ヲ惹ク者アル上ニ尙ホ動物、鳥類、魚類、礦物等數多有益ナル陳列物アリ。ラッドフェロースライオナリ・アツン・エーシヨ書籍協會（もんとごめりー町三百廿五番）かりふせるよや殖民協會（同町八百〇八番）及かりふせるよや領地殖民協會（まーけつと町八百三十八番）ノ會場内ニハ礦物及諸奇物等貴重ノ陳列物アリ此等ノ事柄ニ關係アル人々ハ一覽シテ可ナラン。

○公園等の事

○びゆーなびすた公園ハふるでりつく町トろつと町トノ間ナルへい

と町ノ南ニアリテ其地面三十六「アクル」アリ。○こるでんげーと公園ハ當府中最大ノ者ニシテ其長三英里、廣殆ンド半英里、地面千十三「アクル」ナリ風景絶佳、草花水流緑紅百様ヲ呈シテ奇觀一場ニ集マリ車馬ノ來往最モ繁シ。○まうんてんれーく公園ハかりふせるよや町トぶと志でをれぞーべーとよんトノ間ナルせぶんす街ノ西ニ在リテ其地面二十「アクル」アリ。○びをよーあ公園ハてれぐらふひるノ頂上ニ在リ。○以上記載セシ公園ノ外尙ホ府中ノ各地ニ十六箇ノ小公園（Square）ハ方形ニ四方ニ家ノアル地ヲ云フ）アリ其中ニハ随分景色ノ佳ナル者アリトス則チゆよをんすくうえあハすとつくとん町及ぼすと町ニ界シと志んとんすくうえあハすとつくとん町ぼーうゑる町ゆよをん町及ぶいるぼーと町ニ界ス。○ぼるつまうすすくうゑあハくれい町トわえんとん町トノ間ナルけやるよー町ニ在リ此ぼるつまうす公園

ハ千八百四十六年七月八日米國軍隊ノ當府ヲめきしこヨリ回復セシ
際國旗ヲ揚ゲタル所ナルヲ以テ其名高シトス

○花園競馬所等の事

花園 左ニ公有花園ノ二三ヲ抄記セン

志一さいど花園ハぜふまるそん町トベ一か一町トノ隅ニ在リ ○う
一どうるど(森林監護者ト云フ義)花園ハそるて一んそ町トふるて
一んそ町トノ間ナルみつ志よん町ニ在リ集遊ノ勝地ニシテ博物館、蓄
藏所動物園等アリ土曜日曜兩日ノ午後ニハ歌詞ノ合奏及演劇ヲ執行
ス遊覽人甚ハタ多シ ○ゆよをんぐらうんずハせぶんを町トたうん
せんぞ町トノ隅ニ在リテ投球者ノ集遊地ナリ「其餘省署」
競馬所 ハ三箇所アリトス則チあぐりこるち一る公園へいですと

くとふ一あぐらうんせを一志まんびゆ一らいでんぐゑんどとら
びんぐ公園是ナリ

○私宅の事

大都府ニハ總テ其市民ノ富者ガ家宅ヲ建ツルノ勝地アリ今さんふら
ん志すこニ於テ其場所ニ撰バレタル所ハ大抵港灣都府及其周地ノ勝
景ヲ目撃スルノ高地ナリかりふをるよやととりとひる(丘名)ハ則チ
其一ニレテ鐵道ノ富豪ガ大金ヲ以テ建テタル住家四箇アリトス(同地
ハのつぶひるとモ稱ス)則チマーク、ホツブキンス、リ一ランド、スタンフ
ールド、デイ一デイ一、コルトン、チャ一レンス、クロツカー一四氏ノ住家はナ
リ其他ていろいろ町ばいん町さつた一町かりふをるよや町ばんねと街
りんこるんひる及ヒラとをたるんあでつちよんと云フ所等ニ壯大美

麗ノ家屋數多アレハ今之ヲ詳記スルニ勝ヘザルナリ

○製造事業の事

さん、ふらんちとこニ製造事業獎勵ノ計畫ヲナセシハ近來ノ事ナレド其かりふるよやヲ始メトシをれごん、わえんとんたりとり、ねばだ、ありぞな、新黒耳哥、英領哥倫比亞、黒耳哥及太平洋諸嶋ニ盛大ノ販路ヲ有スルヨリ漸々繁榮ノ勢ヲ呈シ來リテ實ニ現時ニ於テハ世界ノ事業ニシテ當府ニアラザルモノハ其數多カラズト云フ要スルニさん、ふらんちにこ製造ノ狀勢ハ盛ナリ大ナリト云ハンノミ其生産額ト工人ノ數トニ於テ最モ盛大ヲ極ムル事業ハ靴類、ビール、衣類、卷煙草、粉類、家財、馬具、革類、機械、卦印物、毛織物等ノ製造ナリトス今租稅官ノ報告ニ據ルニ各業合計二万四千人(男女小兒共)ノ工人ヲ用ユト

云フ、而シテ靴類衣類卷煙草ノ製造ニ於テハ支那人殊ニ著名ナリ、其他製造所ニ出勤スルモノ數多アリトス。以上記載セシ事業ノ外ニ尙ホグラス製造所、砂糖精製所、瓦斯製造所、鉛溶解所、亞麻仁油製造所、造船所、農具製造所、蠟燭製造所、手套製造所、帽子製造所、石鹼製造所等種々雜多ノ製造所アリトス

○支那人居留地の事

かりふるよや町ばるふいつく町けあるよ一町及すつくとん町ノ境界中ニ在ル數多ノ屋宇ヲ呼ンデちやいあたらん(支那街)ト云フ。かりふるよや町ヨリ北ばるふいつく町迄ノぢゆぽんと町ニ在ル堂宇及けあるよ一町ヨリ西どとつくとん町迄ノさくらめんと町こむま一ある町くれい町わえんとん町ぢやつくとん町ばるふいつく町ニ在ル堂

字ハ十中八九支那人ノ所有シ又ハ借用スル所ナリ而シテ其町内ニ
 數多ノ商店アリテ茶米阿片砂糖類香料物粧飾物衣類乾藥等ヲ商ナウ
 其他履類「シヤツ」粗衣悉煙草等諸品ノ製造所アリ又大工時計師仕立屋
 飾物師鐫刻師圖畫師牛肉店理髮人等ノ店舗アリテ日々間斷ナク其職
 業ニ従事セリ
 料理店ハ皆二階ニアリテ最大ナル者四箇所アリトス。劇場二箇所ア
 リ一ハぢやつくそん町六百二十三番ニアリーハわらんとん町八百十
 四番ニアリテ各日々午後二時ヨリ中夜迄開場ス木戸錢五十仙棧敷代
 二弗半ナリ。新聞三種アリ。又祈禱堂數多アリテ關羽ノ肖像ヲ安置セル
 者アリ。又白人ノ支那人ノ爲メニ建テシ教會ノ外ニ尙ホ支那人自カラ
 設ケタル祈禱堂二箇アリトス。又廣大善良ノ會社種々アリテ各支那人
 一地方ヲ代表シ從來各地ヨリ當府ニ渡來スル支那人ノ監督ヲ爲セリ

就中「ニンダヨング」「サムヤツブ」ノ兩會社ハ上等商人ノ組成スル所ナ
 ルヲ以テ其勢最モ大ナリトス
 支那人ノ組織セル協會中ニ商人取引所協會アリ又其靴工卷煙草製造
 人衣類裁製人大工理髮師飾物商及洗濯人ノ相互ニ保護シ且ツ賃錢ヲ
 整理セン爲メニ組織シタル共會アリトス
 當府在留支那人ノ數ハ三万人内至三万五千人ナリトノ計算ナレバ後
 者恐ラクハ眞ニ近シちやいな、たうんニ在住スル者ノ外尙ホ當府ノ他
 所ニ散在シ居ルモノ其數少ナカラズトナス

○鐵道の事

今鐵道ノ種類ヲ舉グレハ中央太平洋^一北部太平洋沿岸^二さんふらん^三志^四す
 こ北部太平洋^三そのまばるれ^四南部太平洋沿岸^五南方太平洋^六諸鐵道ナ

- 一 Central Pacific.
- 二 North Pacific Coast.
- 三 San Francisco and North Pacific.
- 四 Sonoma Valley.
- 五 South Pacific Coast.
- 六 Southern Pacific.

以上ノ鐵道ハ皆當府ニ關係アル鐵道ニシテ其出發時間等記シアリタレドモ必要ナレバ略セリ但シ米國中有明ノ地方へ至ル鐵道運賃ハ別ニ之ヲ彼地ノ鐵道雜誌ヨリ抄譯シテ下篇ニ錄出シタレバ附テ見ラル可シ

○町區鐵道の事

府中ノ人口稠密ナル部分ニハ大抵町區鐵道ノ線路ヲ布設シアルヲ以テ何所へ到ルニモ些少ノ費用ニテ足レリ乃チ何レノ線路ニテモ其乘賃ハ支路へノ乗換ヲモ込メテ僅々五仙ナリトス今左ニ其類別ヲ記ス

可シ原書ニハ町區鐵道線路ノ町名等ヲ記シアリタレドモ必要ナルモノハ略スルトノ例ニ從ガヒ其記事ヲ省キヌ」
 かりふゑるよや町鐵道、せんとらる町區鐵道、まぢ町區鐵道、くれいすとりと、ひる町區鐵道、げあり、すとりと、ばい、くゑんと、をい、まぢん町區鐵道、まけつと町鐵道、のゝるす、びい、ちゑんと、みつゑよん町區鐵道、をむよぶす町區鐵道、ぼとれるゑんと、べい、びゆい町區鐵道、ぶれゑでゑゑんと、ふゑり、すと町區鐵道、さつた、町鐵道。

○漁船線路の事

日本支那行……太平洋郵便漁船會社、横濱香港行(横濱ニテ兵庫長崎及上海行ノ漁船ト連結ス)切符賣捌所及荷物水揚所ハふゑるすと町トぶらんなん町トノ隅ニ在リ○東西漁船會社、横濱香港行(横濱ニテ上

海行ノ漁船ト連結ス切符賣捌所ハふをいするす町トたうんせんど町トノ隅ニアリ

細育行(巴拿馬ヲ經テ)……太平洋郵便漁船會社切符所及荷物水揚所ハふをるすと町トぶらんなん町トノ隅ニアリ 「其他全略」

○勝地略説

あるかとらず島ハてれぐらふひるノ北西二英里ノ所ニアリ島中堅固ナル城砦アリテ合衆國政府ノ軍兵屯營所タリ

あんげる島ハあるかとらず島ヨリ僅カ距タリタル所ニアリ合衆國政府ノ所領ニシテ島中軍兵屯營所アリ

べいびゆー(Bay View)ハさんまてをかうんてい境界線ニ近キさんぶるのー街道ノ東ニアル佳美ノ地方ナリ其近傍ニハ敷多ノ植物園アリテ景色甚ハダ閑雅ナリ

ぼーあるはー(Bernal Heights)ハさんぶるのー街道トさんまよーす街道トノ間ナルとうまんでいーまつきす町ノ南方ニアリ其頂上ニ登レハ市府近傍ノ美景一目ニシテ之ヲ見ルコトヲ得ルト云フ

ぶらつくぼいんと(二名ぼいんとさんまよーす)ハばんねす街ノ端ニ近キ海岸ニアリテ合衆國政府ノ軍備貯蓄所ノアル所ナリ

くりつふばうすハぼいんとろーぼす街ノ極端ニ位セル有名ノ地ニシテ新町會所ヲ距ルコト六英里程ナリ此所ヨリ太平洋ノ美景ヲ望メバこるでんげーとヲ來往する種々ノ船舶人民ヲ一見シ又明瞭ニ海豹ノ群集スルをいするろつくと(Seal Rocks)ノ佳景ヲ見ルコトヲ得晴天ノ日ニハふまらるろーんと(廿五英里程距タリタル所ニ在リ)ノ群嶋ヲ望ミ得ルト云フ

ふまにあまうんと (Fairmount) はさん、よす街道ノ西方ナル美麗ノ高地ニシテ主モニ府外ノ閑靜廉價ナル住居ヲ望ム人々ノ居住スル所ナリトス

ふまらるろーんと (Furnaces) ハ小嶋ノ群集セル者ニシテ之ヲ北部中部南部ノふまらるろーんニ別チ港口ノ西方二十六英里程ノ所ニ在リ其小嶋ハ海岸ト平行シテ散列シさん、ふらんをそこ灣近傍ヲ往來スル航海者ノ分界標タリ南部ふまらるろーんノ高所ニハ政府ノ設立ニ係カル燈臺局アリトス。此諸嶋ニハ海豹多ク群集シ其中ニハ甚ハダ大ナルモノアリト云フ又種々ノ海鳥、玆ニ集マルコ甚ハダ多ケレモ一モ食用ニ適スル者トテハナク只ダ其中或ル鳥ノ卵子ヲ年々集取スルコト莫大ニシテ之ヲさん、ふらんをすこニ送賣スト云フ

ふまらるとぼいんとハ今之ヲふまらると、ういんふいーらんとすこつとト

稱シてでんげーとノ南岸ニ在ル城砦タリ

ごるでんげーとハさん、ふらんをすこノ港口ニテ其廣サ平均ニ英里長サ五英里程ノ海峡ナリ。ふまらると、ぼいんと又ハ其近傍ノ高所ヨリ該地ノ勝景ヲ望見スルコトヲ得

へゑす、ばるれー (Hayes Valley) ハまーけつと町ノ北方らるきん町ノ西方ナル市府ノ一部ニシテ昔時ヨリ此名ヲ以テ人ニ知ラレシ所ナリ現時ハ市街トナリテ其民口稠密ナリトス

はんたーす、ぼいんと (Hunter's Point) ハ當府ノ極南東部ニ在ル長峽ノ地ナリ同地ニかりふまらると、ぼいんと引揚「ドック」アリテ大船巨舶ヲ入ルナリ

いすれいす、くりーく、ぶりー (Islands Creek Bridge) ハぼとれる(後ニ出ヅ)ノけんたつきー町ヨリ南部さん、ふらんをすこノふまらると、ぼいんと街迄廣ガリタル所ヲ云フナリ

らぐみで、らぎーすど (Laguna de la Merced.) ハ太平洋ニ近接セル^{カウチ}地方
 ノ南西部ニ在ル大湖ナリ
 らくみほんだ (Laguna Honda.) ハみつまよんをーるまんほうす^{ポード}街道
 ノ近傍ニシテ新町會所ノ南西四英里程ノ所ニアリ此地ニ「スプリング
 ヴァンレー」用水供給所ノ氷量貯蓄所一アリトス
 らいむほいんと (Lime Point.) ハこるでんげーとノ北岸ナルまりー
 んかうんてー (Marin County) ^{カウチ}地方ノ名(ニ在リ
 ろーん、まうんてー (Lone Mountain.) ハぼいんと、ろーぼす街ノ南方
 ナル高所ニシテ「ラッド、ンエロー」墓所ノ近傍ナリ其頂上ニハ大ナル
 磔臺アリテ遠方ヨリ望見スルコトヲ得
 ろんぐぶりーつぎ (Long Bridge.) ハふまーるを町ノ端ヨリぼとれる
 迄みつるよん、くりーく (Mission Creek.) ノ口ヲ横切シテ廣ガリタル所ヲ

云フナリ其地ヲ遊道スレバ市府及港灣ノ勝景ヲ見ルコトヲ得
 みつまよん、どろれど (Mission Dolores.) 此宜教師局ハ千七百七十六年
 ニ建立シタル者ニシテ爾後直チニ同上ノ寺院ヲ建立シ以後之ヲ祈禱
 堂トシテ用イタリ又其寺院尙ホ老つていーんと町トどろれど町
 トノ隅ニ存在セリ
 まうんてーいん湖 (Mountain Lake.) ハぶれまをれどーまーまよんノ
 南境ニ近接セル一小水ヲ云フナリ
 のーるす、びーち (North Beach.) ハぼーうまる町ノ端ヨリ西ぶらつく
 ぼいんと迄ノ所ヲ云フナリ
 をーるまんほうす (Ocean House.) ハらぐみで、らぎーすどノ近傍ニシ
 テ町會所ノ南西七英里ノ所ニ在リ此地ニ至ル街道ハ美麗ノ車路ニシ
 テ遊人雅客群集ス

ぽいんとろーぽす (Point Lomas) はくりっふばうすの北方程近キ洋
 岸ニ在リ同地ニ電信局一個アリテ入船ノ到着ヲ商人取引所ニ電報セ
 リ
 ぽとれろ (Potrero) はちやんねる町ぽとれろ街いすれいすくりーく
 及さんふらんちすこ灣ニ境セル市府ノ部分ヲ云フナリさんふらんち
 すこ船用綱具製造所かりふせるよや砂糖製精所及ぽとれろ焼酒製造
 所等此區中ニ在リ其他石鹼火繩動物木炭等ノ製造ニ従事スル建物ア
 リトス
 ぶれろでをれぞーへーちよん (Presideo Reservation) はべーか下町ノ西
 方ナル廢地ノ總稱ナリ
 りんこんひる (Rincon Hill) はばーりーそん町ノ端ナリ當府中ノ勝
 地ニシテ雅美ナル住家アリトス

るっまあんひる (Russian Hill) 此丘ノ頂上ハていろる町トぞよーん
 と町トノ間ナルぼるれぞよ町ノ路線ニ在リ是當府中最高ノ地所ニシ
 テ港灣及其近地ノ狀景ヲ一見スルコトヲ得
 ちーるろつく (Seal Rocks) はぽいんとろーぽそノ南方僅カ距タリタ
 ル洋岸ニ接近セル所ニシテ海豹ノ其所ニ集マルヨリ其名殊ニ高シト
 ス晝間ハ何時ニテモ其海豹ヲ見ルコトヲ得ベクシテ或ヒハ岩上ニ登ル
 モアリ又ハ日光ニ其身ヲ暖タムルモアリ又水中ニ遊樂スルモノモア
 リテ其風景殊ニ絶佳ナリ而シテ其美景ハくりっつふばうそヨリ見ル
 コトヲ得ルト云フ
 南部さんふらんちすこ (South San Francisco) はしげれいすくりーく
 さんぶるのー街道さんまてをかうんてー及灣ニ境セル市府ノ部分
 ヲ云フナリいすれいすくりーく及其近傍ニぶつちやーたうん (Bitt

Chetown.)ト呼ブ所アリテ畜類屠殺所數多アリ當府ニテ消費スル牛肉ノ多分ヲ供給スト云フ又かりふをるよや生糸製造所、石鹼製造所、製革所、酒類醸造所等種々ノ製造所アリ其海岸ニハ數多ノ造船所、及廣大ナル引揚「ドック」等アリ又べいびゆーノ近傍ニハろーまんかそり、つく孤兒養育所及せいんと、きよせふ小兒養育所アリテ風景マダ美麗ナリトス

てれぐらふ、ひるハばるれ、きよよノ北方及若ゆぼんと町ノ東方ニ位セル岩丘ニシテ其高サ殆ンド三百「フット」トアリ晴天ノ日其頂上ニ登リテ一望スレバ景色壯麗茫洋タル灣岸ニハ佳美ノ市村ヲ點出シ眼ヲ其遠方ニ放テバまうんと、だいあぶら (Mount Diablo 山名)ノ頃角圓錐狀ヲナシテ一層ノ風致ヲ添ニ轉シテ南西ヲ望メテ府内街路ノ喧噪繁華ハ對岸丘谷ノ靜幽閑雅ニ對應シテ一場ノ奇景ヲ呈シ北西ニハ有名ナル

こるでんげーとアリテ太平洋ノ諸府ニ往來スル諸船舶ニ充テ滿テリ、丘ノ頂上ニハびをよーあ公園アリ又てれぐらふ、ひる司天臺アリテ風景絶佳心ヲ怡シ懷ヲ擴フスルモノアリト云フ

びをてーををんばるれー (Visitation Valley)ハさんまてをかうんてーノ堺ナル豊壤ノ小地ニシテ野菜及乳汁ノ生出ヲ業トスル人々ノ多ク住スル所ナリ

はるば、びゆーを一名こーと島 (Goat Island.)ハさんふらんますことあれめだ、かうんてー海岸トノ中間ニ位セル所ニシテ其地積二百「アクル」程アリ合衆國政府ノ所有スル所ナリトス數年前其地ヲ中部太平洋鐵道會社ノ停車場トナシタルヨリ大ニ人心ノ注射スル所トナレリ又島内ニ錨標製造所一箇アリ又其南東ニハ燈臺局アリトス

○さん、ふらん志すこ府近傍地方の事

第一.....あれめだ(Alameda.)

あれめだハ佳美ナル府外ノ都市ニシテ其東さん、ふらん志すこ府ニ對セルあれめだ地方ヲ云フ灣中ニ突出シテ半島ノ形ヲナシ、長サ殆んど四英里アリ同地ニ入ルヤ先ヅ其風景ノ絶美ナルニ潰贖スル次第ニテ町街廣平、櫛樹散立シテ其葉青々タリ花園庭壇ニ圍繞サレ清潔ノ空氣ニ充チタル壯美ノ住居ハ是此地ヲノさん、ふらん志すこ商民ノ住地ヲシメタルモノニシテ其佳美ナル公園ト數多ノ海水浴場トハマタ此地ヲシテ遊客集聚ノ好地ヲラシメタルモノナリ又公立學校ノ善美ナル者アリテ即チ高等學校一箇語學校二箇初等學校三箇アリ(出席生徒平均一千人アリ)諸種ノ寺院アリ又公立書籍館讀書堂一箇アリテ二千卷程ノ書籍ヲ備具シ學事ノ嗜アル人々ノ好集會所トナレリ又私已協

會救惠共會種々アリトス又善良ナル毎週刊行新聞三ツアリト云フ、今其人口ヲ問フニ千八百八十年ノ調査ニテハ五千百九十四人ナリシカニ現時ハ八千五百人位ナリトノ計算ナリ、中央太平洋鐵道ノ瀛船列車ニテをーくらんどヲ經テ該地ニ到ルヲ得又南部太平洋沿岸鐵道ノ瀛船列車ニテあれめだばいんとヲ經テ該所ニ到ルモ可ナリ

第二.....べるくりー(Berkeley.)

べるくりーハさん、ふらん志すこヨリ北東八英里ノ所ニ位セルあれめだ地方ヲ云フ地形稍平坦ニノ風景畫圖ノ如クさん、ふらん志すこ灣及こるでん、げーとノ美景ヲ專ラニス其始メテ都市トナリシハ千八百七十八年四月一日ノ事ニシテ現今ハ二千五百人程ノ人口ヲ有テリ該都市ノ境界ニ在ルかりふをるよや大學校ハ美麗便利ノ堂宇ニシテ周圍ニ佳美ノ地面ヲ有ス是千八百六十八年ノ法例ニ準ノ建立シタル者ニシ

かりふせるよや州ノ各部ヨリ學生入學スルト云フ……………彼地ニ到ル日本書生杯モ該校ニ入學スルヲ可シトスト歸朝者ヨリ聞キヌ……………又其近傍ニ聳人嘔者盲人院アリ三階ノ麗宇ニシテ其建築費用(地面ヲ合メ)十五万弗程ナリト云フ。油、糊、硫黃、火藥、石鹼、靴類等種々ノ製造所アリテ數多ノ人ヲ使用ス、毎週刊行ノ新聞ニツアリ又太學校學生ノ發行スル雜誌アリ、公立學校ハ二箇アリトス。寺院種々アリ私己共會四箇アリトス。をいくらんど、ふまーりー列車ニテ同地ニ到ルヲ得ベシ。

第三……………をいくらんど(Oakland.)

をいくらんどハ市府ト目サレシめれめだ地方ニシテさん、ふらん若すこ海ノ東岸ニ位シさん、ふらん若すこ府ヲ距ルコ八英里ナリトス。此地ハ千八百五十二年五月十一日ニ都市トナリ同五十四年三月二十五日ニ市府ト認許サレシナリ抑モ該地ヲをいくらんどト稱スルハ其位置

セル半島ヲ樹樹ノ掩蔽スルニヨルコニシテをいくらんどトハ即チ樹地ト云フ義ナリ其快恬タル小森ト絶奇ノ風景トハ此地ヲシテ住所トシ遊地トシテ望マシキ所ナリト思ハシムルモノニシテ府内ハ廣壯タル街路整然トシテ列シ其兩側ハ樹影陰々タリ花園ハ屋宇ヲ飾リ壯樓綺閣ハ商街ヲ粧ル、府外ニシテマタ之ヨリ佳美ナルノ地ナク其車路ノ廣大多ク快活ナルハ人ノ稱スル所ナリ、町會所ノ北東四英里程ノ所ニピードもんとす、ふりんぐずトテ有名ナル集遊地アリピードもんとす、ふりんぐず「ホテル」ハ海面四百「フィート」ノ上ニ位置シテ港灣及ヒ周地ノ美景ヲ專ラニス其ヨリ程近キ狹路ニぶつゑ一でるト云ヘル谷アリテ泉三ツアリ一時間毎ニ八百「ガロン」ノ水量ヲ流出ス、まうんでん、ピード墓所ハ佳美ニ位置メ風景畫ノ如クマタ一覽ス可キ所ナリ蓋シをいくらんどハ地タル其周圍ニ天然ノ美景ヲ有スル上ニ尙ホ氣候最

快恬ニシテ万事宜ヲ得タルモノアリ且ツ其地鐵道ノ停車場本局ニ當ルヲ以テ商業ノ一要地トナレリ。千八百八十年ノ調査ニテハ其人口三万四千四百五十六人ナリシカレ當今ハ四万人ナリトノ計算ナリ。學校ハ公立私立トモ其制度善良ニシテかりふをるよや州ノ何レニモ劣ラザル所ノモノナリ公立學校ハ十六箇アリテ日々平均六千人程ノ生徒出席ス。私立學校ノ中ニハスチル學館かりふをるよや陸軍中學校等アリトス。日々又ハ每週刊行ノ新聞雜誌種々アリテ日々ノ新件新事ヲ報ス。救惠共會交親共會數多アリ又種々ノ寺院アリトス。又公立書籍館ヲツド、フエロース書籍館アリテ書籍新聞類ヲ具備ス。○鐵製造所、燒壺所、製革所、粉類製造所等種々ノ製造所アリ又中央太平洋鐵道會社ニ屬スル種々ノ店舖アリテ數多ノ人々ヲ使用スト云フ。火災取締掛アリ電信火災警報アリ、該府使用ノ瓦斯ハをーくらんど瓦斯燈會社ノ供スル所

ニシテ其用水ハこんとらこすた水量會社ノ給スル所ナリ町區鐵道ハ府中ヲ横切シテ府外ノ都市トノ交通ヲ便ニス。中央太平洋鐵道會社ノ外行列車ハ日々さんふらん志すこニ向ツテ發車シ、其府内列車ハさんふらん志すこニ向ツテ夜ノ七時迄ハ半時毎ニ發車シ七時後ハ一時間毎ニ十一時迄發車ス

第四………さんくらゐんてん (San Quentin.)

さんくらゐんてんハさんくらゐんてん、ぼいんとニ位セルまりさん地方ニシテさんふらん志すこヨリ水路十二英里ヲ距テさんらふまゐるヨリ鐵道路三英里ヲ距テリ該地ハかりふをるよや州徵役所ノアル所ナルヲ以テ有名ナリ而シテ該所ハ廣サ百三十四「フイート」長サ二百四十「フイート」ノ煉瓦造ノ屋宇ニシテ當時囚人二千八程ヲ有テリ罪人ハ種々ノ事業ヲ爲シテ其勞働ヨリ利ヲ取ルコヲ得ルコトニテ

其中最大ノ事業ト云フ可キハ囊ノ製造ナリトス近來其爲メニ百箇ノ
機械ヲ備フル製造場ヲ建設シテ四百人ノ罪囚ニ職業ヲ取ラシメ日々
八千箇ノ囊ヲ製出スト云フ○公立學校一箇アリテ出席生徒七十五人
程アリ。さん、ふらん志すことハ水路ヲ以テ交通シさん、ふらん志すことハ
鐵道ヲ以テ交通セリ

第五……………さん、ふらん志すこと (San Rafael.)

さん、ふらん志すことハ都府ト目サレシまり、さん、ふらん志すことニシテ北部太平洋
沿岸鐵道ノ線路ニアルさん、ふらん志すことニ云フ小谷ニ在リテさん、ふらん
志すことノ北西十五英里ノ所ナリ街區ハ整然トシテ列シ樹木布立シ
佳美ノ住家數多アリ氣候マヌ温和ナリ其地タルさん、ふらん志すことニ
リ騎路僅少ノ所ニ在ルヲ以テ該府商人ノ之ヲ府外ノ家宅トシテ用ユ
ルモノ多シトス又其氣候ノ健康ニ適セルヨリ同地ヲシテ病夫ニ善良

ナル集會所ヲラシメ其公園花園等ハマダ該地ヲシテ遊人ニ愛セシム
ルニ至レリ○其人口ハ二千五百人程アリ公立學校三箇アリテ出席生
徒三百人アリ共會寺院各種々アリ又壯麗ノ裁判所一アリトス該地使
用ノ瓦斯ハさん、ふらん志すことニ在ル瓦斯會社ノ供スル所ニシテ其用水ハまり
さん、ふらん志すことニ在ル水量會社ノ給スル所ナリさん、ふらん志すことハ
日々數度交通ヲナセリ

第六……………さん、ふらん志すこと (Sanuelia.)

さん、ふらん志すことハさん、ふらん志すこと府ノ北方六英里ノ海岸ニ位セルま
り、さん、ふらん志すこと地方ナリ其周地ノ風景佳美ニシテ氣候ノ温和ナル等ヨリ同
地ヲシテピクニツク(會員)此會ハ多人數集マリAハ肴ヲモチユキCハ酒
ヲモチユク等々各食物ヲ持參シテ共食共遊スル會ヲ云フ(其他遊客
ノ好集遊地トナサシメタリ其近傍ノ勝地ハ好天氣ノ日ニハ(殊ニ日曜

日ニハ)府中ヨリ遊覽ニ來タル人々群集シ其或ヒハ青野佳林ヲ徘徊シ
又ハ勝景ヲ望マンガ爲メニ丘上ニ登ル等中々ノ繁昌ヲ現スト云フ。さ
ん、ふらんをそこトハ瀛船ヲ以テ交通ヲナセリ
一かりふなるよや大學校 University of California. 三ふひをいでる Brshy Dell.
二びーどもんと、すふりんぐす Piedmont Springs. 四をんぐゑんてんはらんを
San Quentin Point.
○發明者共會の事
同會ノ目的ハかりふなるよや州及他所ニ於ケル諸專賣發明物ヲ賣却
スルニアリ、故ニ其發明ヲ賣リ又ハ其專賣特許ヲ得ントスルモノハ該
會ト交通スルヲ可トス同會ニハ發明品博覽室アリテ諸發明品ノ難形
ヲ備フかりふなるよや町三百二十一番ニ在リテ世人ノ注意シテ從覽
スル所ニ係カレリ
米國行獨案内上篇終

上篇正誤表

ページ	行数	誤	正	ページ	行数	誤	正
四	十二	満観ハ	萬観	一	二	and	and
五	十二	ハトリック	ハトリック	二	二	足ラザレハ	足ラザレハ
六	十三	無頼ハ	無頼	三	二	轉	刮
七	十三	ハトリック	ハトリック	四	一	身ニシテハ	身貧ニシテ
八	十二	營業時間ハ	營業時間	五	一	執行ハ	脩行
九	十二	水量會社	用水供給所	六	三	我輩ヲ	我輩ガ
十	十二	横カチハ	横カチ	七	一	拮杭ハ	拮抗
十一	七	ばいん町	ばいん町	八	六	ユニウニル	ユニウニル
十二	七	在リハ	在リ	九	六	シチイ	シチイ
十三	七	カトリック	カトリック	十	六	機	機
十四	十四	カトリック	カトリック	十一	一	週ハ	週
十五	十四	CATHOLIC	CATHOLIC	十二	一	二月ハ	二月
十六	十四	モーター	モーター	十三	一	週ハ	週
十七	七	葡萄語ハ	葡萄語	十四	一	週ハ	週
十八	七	「スカデナ	「スカデナ	十五	三	其他ハ	其他
十九	七	ビヤン	ビヤン	十六	三	ヨク高キ	ヨリ高キ
二十	七	おゆぼんと	おゆぼんと	十七	五	ウエールタ	ウエールタル
二十一	七	ジャステイ	ジャステイ	十八	五	翌朝	翌朝
二十二	七	有明	有名	十九	四	製造家	製造家
二十三	七	Fairmount	Fairmount	二十	九	彼レ	彼レ
二十四	七	砂糖製精所	砂糖製精所	二十一	四	製造家	製造家
二十五	七	同製精所	同製精所	二十二	九	製造家	製造家
二十六	七	準	准	二十三	九	製造家	製造家
二十七	七	府内列車	地方列車	二十四	九	製造家	製造家
二十八	七	徴役所	徴役所	二十五	九	製造家	製造家
二十九	七	徴役所	徴役所	二十六	九	製造家	製造家
三十	七	徴役所	徴役所	二十七	九	製造家	製造家
三十一	七	徴役所	徴役所	二十八	九	製造家	製造家
三十二	七	徴役所	徴役所	二十九	九	製造家	製造家
三十三	七	徴役所	徴役所	三十	九	製造家	製造家
三十四	七	徴役所	徴役所	三十一	九	製造家	製造家
三十五	七	徴役所	徴役所	三十二	九	製造家	製造家
三十六	七	徴役所	徴役所	三十三	九	製造家	製造家
三十七	七	徴役所	徴役所	三十四	九	製造家	製造家
三十八	七	徴役所	徴役所	三十五	九	製造家	製造家
三十九	七	徴役所	徴役所	三十六	九	製造家	製造家
四十	七	徴役所	徴役所	三十七	九	製造家	製造家
四十一	七	徴役所	徴役所	三十八	九	製造家	製造家
四十二	七	徴役所	徴役所	三十九	九	製造家	製造家
四十三	七	徴役所	徴役所	四十	九	製造家	製造家
四十四	七	徴役所	徴役所	四十一	九	製造家	製造家
四十五	七	徴役所	徴役所	四十二	九	製造家	製造家
四十六	七	徴役所	徴役所	四十三	九	製造家	製造家
四十七	七	徴役所	徴役所	四十四	九	製造家	製造家
四十八	七	徴役所	徴役所	四十五	九	製造家	製造家
四十九	七	徴役所	徴役所	四十六	九	製造家	製造家
五十	七	徴役所	徴役所	四十七	九	製造家	製造家

下篇正誤表

米國行獨案内

一名桑港事情

下篇

Strangers Guide to San Francisco and Vicinity.

纂譯者補述

○渡航ノ利害

今日我國ノ壯士ハ多ク其志望ヲ達セントシテ歐米渡航ノ企圖アリト
 聞ク之レ誠ニ賞ス可キノコニシテ猶豫ス可キノアラス然リト雖愛ス
 可キノ兄弟ヲ捨テ親ム可キノ朋友ニ離レ万里異邦ノ客ト爲ル又願ハ
 ザル可カラザル也故ニ吾輩茲ニ此補述ヲ爲スニ當リ先ツ我國諸家ノ
 論說ヲ摘要シ以テ其利害ヲ斷ズルノ助ケト爲サントスニ
 我國ノ壯士ガ海外ノ地ニ行クヲ利トシ殊ニ之レヲ論ズルモハ時事
 新報記者ナリトス同記者ハ其第六百廿一號ノ紙上ニ於テ實ニ左ノ言
 ヲ爲シタリ

再版

下篇

下篇

男兒志ヲ立テ、郷關ヲ出ヅベシ

今ヲ距ル三十年ノ昔嘉永六癸丑ノ年ニ米國ノ水師提督「ペリ」ガ本國ノ使命ヲ奉ジテ日本ニ來リ先ヅ開國ノ緒ヲ開クニ續キ他ノ文明諸國モ踵ヲ接シテ此國ニ來リ千年封鎖ノ鐵門ヲ一朝ニ打開キテ國內密閉ノ空氣一時ニ西洋文明ノ風ニ吹立テラレテヨリ以來人事ノ動搖一方ナラズ遂ニ明治元年ノ王政維新同四年ノ廢藩置縣ニ至リテ其變革ノ甚シキ實ニ人ノ意想外ニ出テダリ然ルニ此變革ノ次第ヲ見ルニ何レモ皆日本舊來ノ弊習ヲ除却シテ西洋文明ノ新俗ヲ移スモノナルガ故ニ何事ヲ成サントスルニモ先ヅ必要ナルモノハ西洋ヲ知ルノ一事ナリ幸ニシテ我日本人ハ嘉永以前既ニ和蘭國人トノ交際ヲ開キ國內ニ蘭書ヲ讀ムノ人少ナカラザリシヲ以テ舊テ去リテ新ニ就ク狼狽ノ中ニモ西洋ノ知識ノ皆無ナルヲ歎スル程ノ

二

コハナカリシ然レテ人事ノ多ク變革ヲ急ナル限リアルヲ蘭學者ヲ以テ限リナキ目前ノ所望ニ應スルニ足ラザレハ勿論タル故ニ自然此所望ノ急ナルニ連レテ西洋學者ノ輩出ヲ促進シ隨テ出ヅル隨テ採用シ苟クモ西洋ノ書ヲ讀ミ得ル限リノ者ニシテ公事ニ私事ニ文事ニ武事ニ容易ニ立身ノ道ヲ得ザル者ナク遂ニ十年ノ日月ヲ出テズレテ全國内ニ西洋ノ文書ヲ讀ミ西洋ノ藝術ヲ知ルモノハ万ヲ以テ數フベキハ勿論初步ノ識藝ヲモ算入シテラニハ必ズ十萬ヲ以テ數フベキヤ疑ナキノ實況ヲ見ルニ至リテ實ニ日本全國文明進歩ノタメニハコレニ過クベキ慶事ナシト云フベキナリ

凡ソ物供給多ケレバ其價ヲ減ズルハ自然ノ定則ニシテ人間亦此定則ノ外ニ出ルコト能ハザルナリ日本ノ西洋學者ノ如キモ當初文明ノ輸入方サニ開ケ全國社會ヲ舉ケテ狼狽ノ中ニ流轉スル際ニハ西

下篇

三

下篇

洋新發明ノ一藝一能ヲ學ビ得タル者ハ勿論荷クモ横文ヲ解スル者トサヘ云ヘバ東西南北ノ人ノ貴重スル所ナリ身ヲ立テ家ヲ興スノ道手ヲ翻スヨリ容易ナリト雖正西洋ノ學藝ハ一人又ハ數人ノ私シ得可キモノニアラズ國中文明ノ進歩ト共ニ一日ハ一日ヨリ多數ノ西洋學者ヲ出シ今日ニ至リテハ尋常横文ヲ解スルハ勿論西洋新發明ノ專門攻習ニ屬スル一藝一能ノ心得アル者ト雖正春草秋葉ト一般全國到ル處トシテ皆是ナラザルハナク別段珍奇貴重スルニ足ラザルノミナラズ偶々横文ヲモ解セズニ藝一能ノ心得ダニナキ者アレバ却テ明治年代ノ奇人ナリト評セラレ時ニ或ハ大ニ世人ニ賞翫セラルハソ變例ナキニ非ズ隨テ彼ノ春草秋葉ト一般ナリ西洋學者ソ如キハ世人ノ名ニ反顧セラルハコ復タ昔日ノ如ク頻繁ナル能ハズ昔日ハ手ニ唾シテ取ルベカリシ立身興家モ今日ハ必身

四

共ニ拔群ノ能力ヲ出シテコトニ從事スルモ尙ホ且ツ相及バザラシトスルノ恐ナキニアラズ前後ソ懸隔實ニ莫大ナリト云フベシ一例ヲ舉ンバ去年或ル鑛山ノ廢業シタル時從來此鑛山ニ從事シタル工師技術者等ハ忽チ其執ル可キ業ヲ失ヒ辛苦身ヲ覺エタル折角ノ技藝モ日本全國他ニコレヲ使用ス可キノ地位ナキニ困却シ止ムヲ得ズ方角違ヒソ事業ニ身ヲ委テ僅カニ失業ヲ苦痛ヲ免カルハコヲ得タリト聞致シ又目下日本國內ニ西洋日新ノ學科ヲ教授スル高等學校ニ乏シカラズ六七年乃至九八年ノ日月ヲ費シテ此學校ヲ卒業スルノ學生ハ毎年百ヲ以テ數フ可キナリ然ルニ此卒業生ノ中醫學生ヲ除クソ外ハ大抵皆一身ヲ立ツルノ道ニ困ミ幾年ノ苦學纔カニ知字ト貧困ノ憂患ヲ買フニ過キザルモノ滔々皆然ラザルハナシト聞ケリ實ニ浩歎ノ至リト云フ可キナリ

下篇

五

下篇

唯前條ノ如クノミ聞クモ我日本ハ既ニ西洋ノ學術ニ富ミ日新ノ
 技藝ヲ知ル者斗管首ナラズ全國社會文明ノ學藝ヲ以テ充溢シテリ
 タルガ故ニ更ニ學者ヲ要ス可キ事業ナキガ如シ雖モ其實ハ決シ
 テ然ラズ開國以來三十年文明ノ學藝尙ホ甚ダ幼稚ニシテ未タ以テ
 世界ト其鋒ヲ争フニ足ラズ目下正サニ一人モ學者ノ多キヲ欲シ唯
 其乏シキヲ憂ルノ時ナリト雖モ如何セン社會全般ノ進歩甚ダ遲
 トシテ志士ノ欲望ニ適フコト能ハズ志士ハ股ニ雖モ學業ヲ勵ムモ
 社會ハ肱ヲ枕トシテ晝寢ヲ志士ハ世界ノ文明ノ長足進歩スルヲ見
 テ或ハ自カラ及ブコト難キヲ恐レ身ヲ殺シテ仁ヲ成サントスル
 烈心アルモ社會ハ目前國內ノ無事安樂ヲ喜ビテ更ニ進歩ヲ大ニ求
 ムルヲ心ナク世界ノ文明ヲ我ヲ待タズシテ逝クコトヲ憂ヘザルニ因
 リテ然ルノミ若シ日本ノ社會ニ於テ尋常文明國ノ例ニ準シ人事ヲ

六

下篇

繁多今日ニ幾倍スルコトアラシカ何ソ日新學藝ノ閑却ニ困マン何ゾ
 志士ノ地位ナキヲ憂ヘシ多ク益辨ス可ケシノミ然レモ人事容易ニ
 意ノ如クナラザルヲ如何セン志士ニシテ若シ今日社會ノ眠ヲ覺マ
 シ人事ノ繁多ナル他ノ文明諸國ニ讓ラザルモノト爲スルカアラシ
 カ自カラ奮ヒテ文明ノ嚮導者タルコトヲ辭スル勿レ若シ尙ホ其力ニ
 乏シキ掛念モアラシカ更ニ自カラ脩メテ大ニ其力ヲ養フノ工風ヲ
 爲シトトクヒ志ヲ立テ、鄉關ヲ出テ目下暫ラク歐米文明ノ中心ニ
 寄住シテ仮リニ一身ノ地位ヲ求メ他年富々智識ヲ携帶シテ日本
 ニ歸リ來リ大ニ同胞兄弟ノ爲メニスルコトアルヲ期ス可シ是我輩ガ
 志士ノ一身ノ爲メ又全國社會公益ノ爲メ中身ニ希望シテ措ク能ハ
 ザル所ナリ

又同記者ハ其第七百九十六号ヨリ八百一号迄ノ紙上ニ於テ貧富論ト

七

題シ貧富ノコヲ論シ其第六ニ至リ「富貴内ニ求ム可カラザレバ去テ海外ノ地ニ行ク可シ」ト稱シ實ニ左ノ言ヲ爲シタリ

(前略)第四ハ人品高クシテ藝能アル學者輩ヲ外國ヘ寄留セシムル事ナリ我輩ノ毎ニ云ヘル如ク日本ハ開國以來大ニ教育ヲ獎勵シテ學者ノ數ハ次第ニ増加シタレト殖産ノ進歩ハ教育ニ伴フコ能ハズシテ今日ノ有様ニテハ我國事ノ割合ニシテ學者ニ餘リアルガ故ニ有餘ヲ外ニ出スノ主義ニ從ヒ其外國行ハ甚ダ策ノ得タルモノナラント信ズ且又人情トシテ自國ノ事ヲ自誇スルハ世界中ノ常ニシテ人ニアモ物ニテモ自國ニ生ジタルモノハ善キヤウニ言ヒ嘲スノ習ヒナレト又一方ヨリ視察スレバ手料理ハ美ナラズ自國ニ出來タル半ハ旨カラズノ意味ニテ自國ニ生育シタル學者モ死後ハイザ知ラズ其存生中ハ兎角同國人ニ重シシラレズシテ其國ニ何カ事アルトハ

却テ他國ノ人ヲ用ニルコアリ是亦人ノ私情ナレバ此私情ニ訴ルルハ自他ノ人物ヲ比較シテ仮令ヒ同等ノ價アリモ他國人ヲ先ニシテ自國人ヲ後ニスル方實際ノ都合ニ叶フテ便利ナルコ多シ殊ニ日本ノ文明ハ口尙淺クシテ未タ學問ノ勢力ヲ成サズ世上一般ニ學者ガ事ヲ用ルニ非ズシテ學問ハ唯人事ノ參考ニ供シ學者モ亦其器械トシテ時ニ利用セラレ、ノミ蓋シ後進ノ學者ガ事務ヲ執リテ其平生學ビ得タルモノヲ實際ニ試ミ例ヘバ經濟學士ガ經濟ヲ司トリ工業學士ガ工業ヲ指揮スルナドノ風ヲナシノ社會ヲ學問上ニ調理セントスルガ如キハ逆モ數年ニ望ム可キコニ非ザレハ斯ル望ナキ時勢ヲ見テ徒ニ日月ヲ費シ心身ニ奉ス可キ生計ヲモ得ズシテ却テ他大富貴ヲ羨ミ鬱愛煩悶シテ求ムベカラザルヲ求ルハ一艘ノ渡海船ニ無數ノ乗込ヲ求メテ人ヲモ妨ケ自分ヲモ苦シムルニ異ナラズ智者

下篇

ノ事ニ非ザルナリ眼ヲ轉シテ太平洋ノ彼岸ヲ望メバ廣大ナル新世
 界アリ殊ニ其北米合衆國ハ土地廣クシテ人少シ毎年歐洲人ノ此ニ
 移住スル者四五十万人ニ下ラズト雖此之ヲ容レテ尙足ルヲ覺ヘズ
 既ニ本年ハ八月中獨逸ヨリ移住シタル者二週間ニ一萬二千人ノ數
 アリ盛ナリト云フベシ天然豐饒ノ新地ニ文明ノ熟手段ヲ施シ其富
 ヲ増スコ際限アル可ラズ人民隨テ富メバ事業モ亦隨テ起リ今日ハ
 正ニ事多クシテ人足ヲザルノ有様ニシテ恰モ日本ノ國情ニ反對ス
 ルモノナレバ我後進生ノ身体屈強ニシテ多少ノ藝能アリテ著ク決
 然渡航ヲ企ルコソ男兒ノ舉動ナレ地ニ根ヲ卸シタル草木ニテモ尙
 且處ヲ移ス可シ况ヤ人類ハ動物ニシテ動物ノ易キニ於テテ尙尙
 ヤ瀛洲大洋ノ便ハ此動物ニ翼ヲ附シテ飛揚セシムルニ於テテ雄
 飛平生ノ伎倆ヲ逞ウレテ富貴ヲ海外ニ求ムベシ何ソ生誕テ小乾坤

十

「外國移住及出稼」ト題シ左ノ如ク論ジタリ
 次ニ郵便報知新聞ハ其第三千五百九号及三千五百十号ノ紙上ニ於テ

近時外國移住及出稼ノ氣風盛ニ内國人民ノ間ニ行ハレ男女老幼
 ヲ論セス墳墓ノ地ヲ去リテ異域ニ命運ヲ求ムル者比々現出スルニ
 及ヘリ凡ソ人四方ノ志ヲ有シ險ヲ冒カシ危キヲ忘レ大事大業ヲ企
 ルハ誠ニ嘉スベキコナリ外國移住若クハ出稼ノ目的ニシテ此點ニ
 在ラシメバ余輩ハ之ヲ贊成スルコアラントス然ルヨ今我國人ガ外
 國移住若クハ出稼ニ熱中スル者ヲ觀ルニ必シモ此點ニ出テザルカ
 如シ或ハ困窮ニ堪エ兼子内國ニ在ルモ到底生計ヲ立ルコ能ハザル
 ニ苦シミ他ノ救助法ニ類スル勸奨ニ應シテ止ムヲ得ズ未開ノ孤嶋

下篇

十一

三移住ヲ試ムルモソアリ或ハ兵賦ヲ避ケンガ爲メ僅々ノ資斧ヲ懷
テ勞役ヲ米國ニ索ムルモソアリ是レ皆爲スコアルノ目的ヲ抱キ奮
然興起シテ事業ヲ求ムルニアラズシテ情實己ムヲ得サルニ迫ラレ
涙ヲ揮テ故國ヲ去ルモノナリ余輩ハ此輩ノ爲メニ前途ヲ祝シテ其
好果アルヲ期スルヲ能ハサルナリ(中略)
米國ニ移住シテ勞役ヲ求ムル種族ノ中ニハ或ハ學問研究ノ志願ヲ
抱クモノモ少カラズト其志ハ誠ニ嘉ス可シ果シテ其素志ノ如ク勞
役ノ勞ヲ發雪ノ業ヲ修ムルヲ得ハ誠ニ可ナリ然レトモ何ノ思慮モ
ナク徒ニ兵賦ニ避ントシ若クハ目途ナキ事業ヲ望ミ唯身體ニ資シ
テ漫然異域ニ入り志業ヲ成ラサルノミカ日本貧民ノ群ヲ異境ニ現
出シテ支那人ガ米人ニ厭ル、如ク國ノ品位ニモ關ス可キノ結果ヲ
生スルカ如キアラハ此出稼モ亦余輩ノ贊成スルヲ能ハルサ所ナリ

下篇

十一

米國ニ出稼ノ人員ヲ増加シタルハ近日ニ於テ最モ多シト聞ク彼ノ
書生ノ身ニ志高キ者ハ固ヨリ志業ヲ成サントスル決意ナルカ
故其外國ニ渡リシ後勞役ヲ報ヲ以テ學資トナシ多少學問ヲ修ムル
ヲ得テ或ハ好果ヲ持テ歸ルモノアル可シ此等ハ深ク懸念スルニ足
ラサルナリ唯リ心ニ關スル者ハ近來ノ不景氣ニ遭フテ窮苦ニ逼リ
シ者徒ニ筋骨ニ資シテ生ヲ他邦ニ求ムルカ如キハ多クハ教育ナク
思慮ナク他人ノ甘言ヲ信シテ漫然遠航ヲ思ヒ立ツモノナリ外人ニ
在リテハ固ヨリ日本ノ役夫ノ備質極メテ廉ナルヲ以テ之ヲ其國ニ
伴フテ工事ニ用ニル時ハ利益甚々大ナルヲ以テ或ハ之ヲ誘フコトナ
シト云フ可ラズ此時ニ當リ一ハ開明國ニ遊フノ好奇心ニ動かサレ
一ハ利得ク多キニ迷ヒ又窮苦ノ外ヨリ逼リテ之ヲ刺衝スルアラバ
何ノ思慮モナク出稼ヲ思ヒ立ツコトアラシク渡航ノ後幸ニシテ勞苦ニ

下篇

十三

伴フツ好報ヲ受ケ本國ニ在ルニ優レル幸福ヲ享受スルコトアラハ誠ニ喜ブベキコトナリト雖也從來ノ事跡ニ由リテ考フル時ハ歐米人ガ異人種ヲ遇スルハ共同種類ヲ遇スルカ如クナラズ况ヤ蓋爾等ハ賤民力役ヲ外用ニシテ異人種ニ於テヲ若シ狡猾ナル者アリテ之ヲ欺カカ如クテラハ終生ヲ奴隸ノ苦境ニ送ル如キ不幸ニ陷ルコトナシト云フ可ラス外國出稼ノ事ハ途ニ説キ途ニ聽ク漫然企ツベキコトニアラサルナリト雖也然レニ於テハ出稼ノ事ハ利害ニ關シテ以上述ルカ如キハ唯外國移住若シテ出稼ヲナス者ノ利害ニ關シテ立論セル所ナリ今一歩ヲ進メテ我國ノ體面ヨリ觀察スル時ハ下等ノ賤民群ヲナシテ外國ニ入ルハ國家ノ利益ニ非レナリ從來我國人ガ米國人ニ厚遇セラルト支那人ト區別シテ其品位ヲ評定スルハ往時ニ日本ヨリ米國ニ渡航セル者中等以上ノ種族多ク其品等自ラ

高峻ナルヲ以テ外人ノ之ニ與ミテ亦優渥ヲ蒙ルガリ是ハ大ニ國ノ品等ヲ進ムルハ方便ニシテ我國ニ在リテ頗ル利益ナルヲ知ルナリ而シテ今若シ賤民ノ來集スル事ヲ頭陋厭テ可キヲ醜群等役ニ身ヲ委テテ日ニ外人ノ眼ニ觸ル往來ニ上流紳士等ハ其日本國民ヲ代表シテ引キ替ヘ更ラニ此賤奴ヲ以テ在米日本人ハ多數ヲ占ムルコトヲシメバ之カ爲メ外國人ニ向テ如何ナル感覺ヲ與フ可キヤ此現象ニ就テ外人ノ間ニ發スベキ感覺ハ日本ニ利ヲ與フ可キヤ害ヲ與フ可キヤ論ヲ俟タズシテ知ル可シ餘輩ハ前キ海外人中日本風俗博覽會ナル者ヲ企ル者アルヲ聞キ或ハ其事ヲ我國ノ體面ヲ害スルコトヲ恐レ聞ク所ヲ記シテ論議シテ其體面ヲ余輩カ論議シ果シテ其事ニ適切ナリシヤ否ハ知ラズ所謂風俗博覽會ヲ以テ賤民ノ陋技ヲ賣ラントスルコトハ遂ニ行レザルヲ至

リ開クカ如クシハ賤民ノ官ヲ欺テ外航ヲ企ル者アリシモ皆制止セ
 ラルハニ至リト蓋シ事局ニ當ル者深ク注意ヲ加ヘテ賤民ノ漫ニ
 他邦ニ入ルハヲ戒シムルニ由ナリ苟クモ國ノ品位ヲ重クシ外國ノ
 輕侮ヲ絶チ其間ニ國權ヲ擴張セシコトヲ思ハ、外國ニ移住シ若ク
 ハ出稼ヲナス者ノ如何ニ注意シテ醜ヲ禁シ陋ヲ制シテ之ヲ外邦
 ニ持チ運フノ路ヲ絶スサル可ラス

又時事新報ハ第九百六十號ニ於テ「日本人ノ外國行ハ其利害如何」ト題
 シ特ニ米國渡航ノ事ヲ論ジテ曰ク

近來日本人ニシテ米國桑港ノ地ニ渡ル者少ナカラズ其人員次第ニ
 増スニ從ヒ弊害モ亦漸ク生シテ經世家ノ憂タルモノナキニ非ズ其
 一二ヲ舉レバ日本ノ壯年輩ガ渡米スルハ學問ノ爲ニ非ズ就職ノ
 爲ニ非ズ唯丁年ニ達セントスル者ガ徵兵ヲ免カレシムル爲ニ狡

猾手段タルニ過キヌ又或ハ學問執行ヲ目的トスルモノニテモ寒食
 ノ身ニ一錢ノ貯モナク辛ウシテ太平洋渡航ノ船賃ヲ所持スルカセ
 ザル程ノ出テ立チニテ彼ノ地ニ上陸ノ其時ニ奉公口ヲ求メ之ヲ
 求メテ得サレハ路頭ニ迷フノ外アル可ラス或ハ都合ヨキ手筋ニテ
 人ノ家ニ奉公スルカ又ハ職工場ニ雇ハル、コアルモ固ヨリ下等ノ
 仕事ナレハ其心情マテモ下等ニ爲下リテ宿昔ノ志ヲ變シ唯錢ノ
 多少ヲ是レ問フテ學問ナトノコハ恰モ忘レタルカ如キ氣風ニ移リ
 到底其身ニ益スルコトナシ又或ハ最初ヨリ學問ノ念ナキ下賤ノ者共
 ノ舉動ヲ見ルニ第一英語トテハ一句モ不通ニシテ心ニ改進ノ魂ナ
 ケレハ彼ノ國風ヲ見テ自カラ省ルコトヲ爲サス衣食住共ニ正ニ日本
 下等社會ノ有様ヲ其マ、ニ海外ノ地ニ移レテ之ヲ外人ノ目下ニ披
 露スルモノニシテ其醜ニ堪ヘズ是等ハ何レモ皆日本ノ恥辱ニシテ

自カラ國ノ体面ニ影響スルキニ必然ナレバ外國渡航ニ就テハ大ニ制限ヲ立テ假令ヒ之ヲ禁止スルマテニ至ラザルモ嚴重ニ取締リテ法ヲ設ケサル可ラス云々

以上ハ所謂經世家ノ意見ニシテ我輩モ全ク之ニ反對スルモノナラハ非サレドモ其意見ハ果シテ今ノ人事實際ニ行ハレテ我國民外國行ハ弊害ヲ救フニ足ル可キヤ甚タ覺束ナキモノナリ第一壯年輩カ渡米スルハ徵兵ヲ通ル、カタメナリト云フ成ルホト左ルモノモアラシナレドモ是レハ人ノ心ノ内部ニ存スルコトニシテ法律上ヨリ咎ム可キ事柄ニ非ス徵兵ヲ通レ又コレヲ通レシムルモノハ渡米ニ限ラス近ク内國ノ公立學校ニ入テ之ヲ通ル、モアリ又之ヲ通レシメントテ從來私立ニテアリシ學校ヲ早クニ改メテ公立ノ体裁ニシタルモノアリ是等ヲ計ヘ上ケテ一々本人ノ心得方ヲ咎メクテハ德義上ニ相

下篇

濟マサルモノ甚ク多カル可シト雖モ今日ノ法律ニ於テハ之ヲ如何トモス可ラス左レハ渡米ノ本心カ何ノ邊ニ在ルモ之ヲ以テ特ニ忍ブ可カラサルノ弊害ト爲スハ少ク無理ナルカ如シ又第三第三ニ日本ノ貧賤生カ資金ヲ持タズシテ無勘辨ニ渡航シ進退據ヲ失フテ路頭ニ迷ヒ又純然タル下等賤民カ無智鄙陋ノ醜体ヲ現ハスカ如キハ如何ニモ國辱トモ申ス可キ次第實ハ我國中ノ上流富貴ノ人ノミカ海外ニ出テ美衣美食ヲ彼ノ國人ニ交際ヲ求メ日本ノ財ヲ彼ノ國ニ散スルコトニシテ彼ノ財ヲ日本ニ携テ歸ルコトヲ小思ヒテ寄ラカレコト官費ノ留學生カ又官員ノ如クナラハ彼ノ國人モ大ニ悦ビ日本人ノ肩身^{カマ}世^{カマ}廣キコトヲシテ内外ノ交通斯ク容易ナル時節ト爲リテ外國ノ往來ハ官ノ筋ヲ專有ニ非ス人民ノ中ニテ富貴モ行キ貧賤モ行キ實際限少可ラス而シテ其多人數ノ中ニテ極

下篇

下篇

無智鄙陋ニシテ見ルニ忍ビサル者モ多カラント雖モ又心事ノ高尙ニシテ外人ニ愧チサル者モアル可シ畢竟スルニ人ノ貧富智愚ハ人間世界ニ免ル可ラサルコトニシテ内ニ居テモ智ハ則チ智ニシテ外ニ出テ、モ愚ハ則チ愚ナリ終ニ蔽フ可ラサルコトズレハ其貧愚者ヲ内ニ包ミ置クモ美トスルニ足ラス况ヤ近來ハ日本國中ノ大不景氣力役ノ徒ハ年登ニシテ尙餓死セントスルモノサヘアル世ノ中ニシテ工業起ラス人力餘リアルノ實況ナレハ有餘ヲ外ニ出シテ内ノ切迫ヲ寬ニスルハ經世ノ旨ニ適フコトナラン其醜体ヲ海外ニ披露ス云々ノ問題ニ就テハ我輩コレヲ一個人特別ノ場合ニ糺サスシテ數年ノ後數萬人ヲ日本人ニ平均シテ果シテ醜ナルヤ否ヤヲ問ハント欲スルモノナリ例ヘハ支那人ハ數十年來米國ニ出稼キシテ遂ニ米人ノ嫌惡スル所ト爲リタルハ智徳ノ程度如何ニモ低クシテ其實ヲ見

二十

洞サレタルモノナリ日本人ノ智徳モ正ニ支那人ト同等ナランカ數年ノ後ニ至リテ彼ノ國人ノ輕蔑ヲ受クルコト支那人ニ異ナルナカル可シ是非ナキ次第ナラスヤ然リト雖モ我輩ヲ公平無私ノ視察ヲ下シテ日支二國民ヲ比較スルニ如何ニ我國民カ賤劣ナリト云フモ大數ヲ取テ相互ニ平均比較スレハ我國民ノ心事ノ地歩ハ數等ノ上位スルモノト云ハサルヲ得ス是レハ我輩ガ一私言ニ非ラスシテ日本全國就中經世家ノ評ス所ナラン然ラハ則チ今日我少數ノ人民カ桑港其他諸外國ニ遊學シ出稼キシテ時ニ或ハ不体裁アレハト云フニ以テ憂トスルニ足ラス其眞ニ憂フ可キト憂フ可ラサルトハ蓋シ數年ノ後ニ於テ之ヲ見ル可キノミ但シ今日ニ於テモ人民ノ外出ハ之ヲ留ム可ラスシテ又禁ス可キノ法律モアラサルカ故ニ其自由ニ任ス可キハ無論ナレモ此事タルヤ時勢ヲ考フレハ我國ノタメニ便

下篇

廿一

下篇

廿二

利ナルハ疑ヒモナキモノナレハ有力ノ人カ賛成シテ都合ヨキ方法ヲ設ケ益盛大ナラシムルハ我輩ノ希望スル所ナリ

以上摘要セル諸説ノ中時事新報記者ハ益々渡航ヲ勸誘スルモノニシテ報知新聞記者ハ志業堅固ノ士ガ學問研究ノ目的ヲ以テ之レヲ爲スハ敢テ不可ナリトオサミレ兵役ヲ免レンガ爲メ等ニテ前後ノ思慮モナク僅ニ船費ノ才覺ヲ爲シテ漫然外行ヲ爲スハ國家ノ爲メ又其身ノ爲メ得策ニ非スト説クモノ、如シ然リト雖此等ノ諸説ヲ以テ直チニ渡行ノ利害ヲ決スルハ猶足ラサル所多シ且ツ今外行ノ念アル人ハ皆資力アル人ノミナラザル可ケレバ既ニ彼地ニ在ル人々ハ如何シテ生活シ居ルヤ如何シテ學問ヲ脩業スル乎又白人ノ待遇ハ如何等其他種々之レニ關スル實況ヲ知ラザル可カラズ故ニ今左ニ其實況ヲ記シテ參考ニ供セン

(前略)當地在留の日本人ハ其數殆と三百人程もあるへし此等の人ハ概して無資力者のみにて二種に區別するを得べし第一種ハ日本普通の教育だになき輩第二種ハ高等の教育に薰陶せられたる人あり第一種の輩ハ船業或ハ小商人の失敗を取りし者杯にて多くハ身を立るの目的もなく碌々四千里外の別天地に其日を過し去り時に酒食に頼りて一時の快を達する迄のものなれば従て外人の擯斥を受け我國の体面を損するが如き舉動も折々仕出し實ニ困入る事に候幸に此種の人間ハ其數少なきが故に左程の影響を及ぼさざるも若し多數になられてハ嘗て企てんとせし風俗博覽會も奮ならざる次第に立至り可申願くは今後如斯輩の成丈け渡航せざる様致度ものに候第二種の人ハ世を痛み時を慨き悲憤漏すに所なく不滿を海外の別天地に避け兼て共事情をも探らんと志を懐ける人并に公

下篇

廿三

私の學校等にて普通高等の教育を受たる書生等にて品行も方正志業も堅固雪案螢燈も尙ほ足らずとする輩多數を占むる様相見受申候唯剛氣不屈數年を耐る能はずして歸國の念を起すもの稀に有之候は誠に遺憾なる次第に候第二種の人相集り宗教兼學術會とも稱すべきものを組立居候得共如何なる原由なるや一昨年頃此會二派に分れ今日にて互に枯杭するの有様を呈し共に不便不利を相感し居候姿なりしが海外萬里の地に全棲する我々同胞に斯ることあるは宜しからずとの識起り近頃兩會の人相談の爲め集會せし由多分元の如く合併することになるべしとの話なり此兩會とも何れも夜學を聞きて普通の課目を研修せり又第一種の人も某會を開き寢泊り等の便利に供し居る由なるか固より不學不識の一群なれを智見を研くの器械等は更に無之とのことなり但し以上の三會に依ら

下篇

廿四

すして獨立するものも深山之ある由此第一及び第二種の人々は前にも云ふが如く大概無資力者あるにより各自勞役に従事するものあり其勞役も製造場等よあらずして悉皆臺所に關したる仕事(即日本の下婢の仕事)なり此仕事にも種々の區別ありて日毎の繕立より臺所并に各室房の掃除等家屋總体の事に役せらるゝあり此種は一週間三弗より六七弗の給料又單に繕立(即料理方)或は各室房臺所等の掃除に役せらるゝあり此種類中料理方は三弗より六七弗掃除方は一弗より三弗位迄の給料なり而して大概は其住家に食住するが故に給料は丸で囊中に殘留するの都合に御座候且右の如く役せらるゝも日中の五六時の餘暇を得夜分は全く閑散に歸し隨分學問をするの逸も有之候由又右の勞役に朝二時間位夕方二時間位の勞に従事し日中の辨當持にて學校に登り得るの種類もあり是は大概

下篇

廿五

五十仙乃至一弗半位の給料なる由又稍々上等の勞役に於て料理屋或は旅店又を豪家杯にて料理方に従事する時は十五乃至三十弗の給料を得べし

右の如く日本人の有様は極めて陋劣なるは勿論ながら第一種の人々を除き第二種の人々等は多くは學校に登り競ふて勉強する様見受らる特に驚くべきは久く大學に入り近々卒業するの時期に達せしものも四五名相見へ申候如斯の次第に候故其地位の卑陋なるにも關らず白人の待遇極めて好く遂に白人をして日本人は支那人の如く有形の金錢を貯積するにあらざして無形の學識を得んとて渡航せるなりとの眞評を下さるゝに立至れり隨て書生社會中外行の念を懐かるゝ人にして若し米國に來るの考ならんにハ嘗に資力なきの人のみならず仮令充分大學に入るの資力ある人にてても一旦當

地に止りて上に述る勞役に従事するは彼是の便利を得る事と存候其は白人生計の度を考查し諸道具の使用法を知り居室并に其飾物等の雅俗を窺ひ客を待遇するの有様家内中男女長幼の關係等其他百般の事柄に付白人は如何なる性質にして如何なる風俗なるやを探るには此勞役に優るもの恐くハ鮮かるべく且言詞の不充分なるものには語學校の代用をもなすべく徒に日本の不廉なる貨幣を未だ土地慣れぬ内に費すより半年が一年も給料を取らつゝ其風俗人情の一斑を窺知ること一舉兩得の手段なるべし又日本にて爲すあるの大志を懷き學海の渺茫たる大灘を渡り彼岸に達せんとの目算ある人も資力の乏しき爲め學校の小使となり知人の食客となり思の儘に學問も爲し能はざるの人杯ハ斷然決意渡航する方得策なるべし日本にて學校の小使となりやたらに使役せられ知人の食客と

なりて婦女子の機嫌を取るよりハ寧ろ(米國風の)下婢と化して意の如く勉強する方幾分か宜しかるへし(以上ハ京濱毎日新聞四千二百九十七八号桑港通信欄内ニアリ)

(前略)當地書生社會の一大問題と申すハ日本人にて學問に篤志の輩當地に渡來するの可否に有之先づ今日書生社會の說にてハ一般に當地に來るを否とせるもの、如しそも日本の書生が當地に來り始めたるハ昨年夏頃の事にて其出發前ハ米國へさへ渡行せば手を濡らさずして金儲の出來る事と考へ勇み立ちて當地に來り見れば思ひきや當地は固より無人島ハ非ず金錢が道側に捨て在る譯にもなけれハ相當の骨折を爲さるに於てハ迎も活計を立つる能はず奉公口ハ随分多けれども日本の食客と支關係と違ひ多少の給料を貰ふ以上ハ報酬として夫れ相應の勞働を爲さるべからず即ち奉公

人の通例朝早くより夜八時迄下女同様に立ち働く事なれば逸樂に慣れたる日本の書生にハ随分以て困難事と申さるを得ず斯る勞役を執る事なれば夜中も可なり疲勞し是非共に一と休みを要する次第にて月々食料部屋の外に貰ひたる八九圓乃至十三四圓の給金ハ大半コッフ井一屋(酒店)へ吸ひ取られ申候日本書生が當地に來るを否とするハ右等の事あるに原因し一應ハ尤もの様に聞ゆれ共能くハ相考へ候へば決して感服致すべき說に無之候小生の說にてハ苟くも天下に大業を爲さんと欲する者ハ農なり商なり又ハ書生なり其他凡何人に限らず一日も早く米國に來り當地開明の事情を見習ふ事必要なり扱農に志あるものハ豪農の家に出稼せば一年八九十弗位は相取れ可申且つ一年毎に給金ハ増加する習慣なれば四五年も辛抱して一家に留まれば四百弗以上を得られ候事故七八

年乃至九十年も相立候へば地面を買入れ一家を建つるも六ヶじき事に非ず若し永住の心なきもの錦を着て故郷に歸り去るも可なり又商に志あるもの商家に奉公すべし製造に志あるもの製造所に入込むべし此外何の目的を有するものにては事業の多き當地ゆへ決して差支へあるべからず殊に米國と申す所は土地の廣さ割合しては人口少く隨て賃金の高き場所柄あれば骨折りを恐れれば利を永遠に望まんとする人の早く此地に渡來すること得策なり又唯學問のみを修めんとする人の先つ一二年辛抱して出来得る丈の金を溜め然る上にて學校へ通學すれば其金にてアカデミー(中學校)を卒業するの容易なるべく或は之より上りてユニヴァーシティ(大學校)を卒業するも左迄困難なる事なかるべしと被存候兎に角に當地に來りて一事一物を爲さんとせば耐忍と言へる事が一番大

切に有之候當時當地に滯留する書生中懶怠日を送るもの妙なからず是等の人とても最初日本を出立せし時に必ず骨折を厭はじとの決心なりしならんが當地に來り案外に世渡りの困難なるを見て大に落膽し途方に暮れたるも亦無理ならぬ事を去り乍ら此等の人々として二三年も米國に滯在する間には數千里外に洋行し一業一事をも成し送げずして歸國するも餘りに面伏なりとの考を起す様相成り可申左れば東京にて矢場冷かじより夜櫻見物まで卒業したる懶け書生にても一度び米國に來りて世渡りの六ヶじきを實地經驗する時ハ自づと憤發心を起し二十年の長夢を攪破して大に勉強するに至るならん故に當地仕事の辛苦なるハ却て昔生の身の爲めに相成候事と愚考致候云々(以上ハ時事新報第九百十號米國通信欄内ニアリ)

下篇

卅二

左の一篇は久しく桑港に在留して近時歸國されたる人の直話を文章にしたる者なり行文少しく景容を交ゆと雖とも事實に至ては毫も誣ゆる所あり就て桑港日本人の有様を知る可し

我國人ノ外國行ニ付テハ利モアリ害モアリト雖今試ミニ之レニ伴フノ通弊ヲ言セバ彼ノ文明ニ醉フノ事ナラン、鐵道ヲ見テ線路ノ長キニ驚キ文華ヲ觀テ其勢ノ盛ナルヲ感心シ、形ノ有ル無キヲ問ハズソノ眼界ニ入ルモノハ皆是其心ヲ迷ハサマルナク、遠眼ノ士ノ外ハ其新奇ニ狼狽スルノ餘リ茫然精神ヲ失フテ遂ニ其志ス所ヲ忘ル、ニ至ル其様ハ恰カモ田夫ノ東京ヲ見物シテ銀座街道ノ繁華ニ潰膽スルニ異ナラズ是非モナキコナリト雖昨マターノ弊トシテ之レヲ排セサルヲ得ズ現ニ桑港ニ在ルノ人ハ其書生タリ商人タルニ論ナク謨然定見ヲ失シテ事ノ万端ニ狼狽ヲ喫シ日一日ヲ空過シテ志業共ニ其所ヲ得ズ

遙カニ故國ノ天ヲ眺メテ其郷ヲ出ルノ時ニ抱キ慕ル目途ヲ達セザルヲ嘆スルモノ多シト聞ク(或人曰ク我國人ノ彼地ニ至ルヤ十時間ヲ經スシテ其思想ヲ變ズト少シク過言ノ如クナレトモ)以テ其一班ヲ見ル可キ也)蓋シ我國人ノ彼地ニ至リテ容易ニ其志ヲ達シ得ザルハ數多ノ事情ニ因ルモノナラン、其文明ニ醉フノ事ハマタ其原因ノ一ヲ占ムルモノナリ桑港ノ滿地ニ幸ヲ買フノ機械アルモ日本人ハ之レガ爲メニ之ヲ取ルコト能ハズトセバ自今渡航スルノ人ハ注意ヲ此邊ニ用ヒテ能ク其志願ヲ達スルコトヲ務ム可キナリ云々

在桑港日本人ノ生活ハ先ヅ勞ヲ白人ニ賣ルコトナレ其情態ハ變轉常ナク去就法ナク能ク留テ一所ニ勞業スルモノハ實ニ稀少トナス、Aノ家ニ三日ノ勞ヲ取リBノ社ニ一日ノ業ヲナシCDEE次ヲ追テ轉移シ各其職ニ就クコトナレ、一家ニ固着スルノ間ハ概シテ未週人上ニ

下篇

卅三

出テザルモノ多ク、或ハ稀レニ其二三月間ニ遷ルモノハ、其人ハ非常ノ忍耐家ナリトテ其忍耐ヲ賞スルコナリ蓋シニ在桑港ノ日本人ハ醫生其多分ヲ占ムルノ故ナラン此等ノ人ハ日本ニ在ツテ多ク氣樂ク生活ヲ營ミシ人ナレバ勞事ヲ取ラントシテ先ヅ難澁ヲ感シ職ニ就ケテハ熟練深カラズ時ニ入ラズ掃治シテ手勞誤マリ之ヲ破ルコ等アリテ其過チハ之ヲ主人ニ謝セザルヲ得ズ此輩モシ正則ハ英語學ヲ脩メタルノ人ナランニハ之ヲ言譯スルニモ差支ナシト雖モ其多クハ變則ノ英學生ニシテ主人ノ面前らんぶ破碎ノ次第ヲ述ベントシテ能ク其情ヲ盡クスヲ得ズ主人ハモトヨリ苛酷ヲ以テ之ヲ處スルニ非サレモ去リトテ之ヲ看過スルニ至ラズ且ツ變則生ノ常トシテ常ニ其胸中ニ往來シテツノ意向ヲ支配スルモノハミル、スベシトテ理論ヲ以テ意向高尚ニシテ勞業卑賤主人ノ小言ハ青年壯氣ノ能ク堪ユル所ニ非ス

悉、まゝ此家ヲ辭シテ及他ニ勞ヲ賣ラン其ト考ヘ其所ヲ去レバ幸ニ勞動ノ需要限リナク直チニ其身ヲ入ルノ地ヲ見出スヨリ桑港日本ノ勞業ノ現勢ハ今日此ヲ出テ、明日彼ニ入り、其他勞動ノ區域ヲ廻燈籠ニシテ實ニ變遷極マリナキノ状態ナリ且ツ其相集マルヤ常ニ談柄ニ上ルモノハ甲乙相互ノ賃金談ニシテ汝ノ家ハヨク高キ賃金ヲ與ヘ、ヨリ少ナキ勞務ナリト聞ヒテ之ニ移ラントスル其様ハ浮雲ノ所ヲ定メザルニ等シ其利害如何ハ我輩ノ知ラザル所ナレモ蓋シマカニ奇觀ト謂フ可シ知ラズ桑港ノ人々ハ心ニ其事ヲ快視シテ之ヲ爲ス乎將來ノ米國渡行者ハマタ預メ此邊ノ事ヲ思フテ可ナラン云々「G. E.」

次ニ掲ク問答ハ本年五月桑港ヨリ歸朝セシ某氏ト談話ノ際在桑港日本人ノ實狀ヲ質問セシニ答ヘラレタルモノナリ

問 在桑港日本人如何ある事を爲し居るや

答 此質問ニ答ふるや先づ予ハ歎息す可きの情なき能はず何んとも
れば目今桑港に在る日本人は其數三百余人の多きあれども皆無
資力者にして商人書生の別なく獨立以て事業を經營するもの一
人もあければあり而して其生活の有様を言ハ、何れも白人の家
に奉公し居る事にて其奉公も誠に卑賤ある事のみ多く全數の八
分ハ下女下僕も均しき仕事即ちコック(料理人)ハウスウオーク(小使)ウ
エールク(給事)等なり併し其外スクールボーイを稱して食事の手傳
其他少々宛の勞働を取りて其余暇は學校へ通學するものもあり
問 無資力者が渡行せば勢ひ奉公口を求めざる可からず其奉公を爲
すの傍ら随分學問を脩め得可き見込ありや又ボリ不其他の勞役
一日中何時間程の余暇ありや

答 學問を修め得可きや否やと專ら其人の如何にあれ共元來米國の

勞働ハ日本風の仕事と違ひ申す事よして日本よて言は、
下女下僕の爲す可き勝手向きの仕事なれを皆三度の食事前後
働らく事あり先づ其時間を述べれば大概午前六時頃より午後八時
頃迄は朝ハ室房の掃治より食事の仕度跡片付け等よて十時
頃迄を掛る可し其れ此れの中又晝食の仕度跡片付け等を終れば
二時頃に至らん其れより四時頃迄ハ少し暇あらんが夜食前後に
ハ種々なる用事ありて七時半ハ八時頃迄ハ、らん此八時以後
ハ先づ翌期迄休む事を得可し故よ此時間ハ夜學校へなり通ハ、
随分學文を爲し得可しと雖現今の所よてハ徵兵通れの書生多く
是等の書生の日本よ在り七時は學資なき人と雖曾て下女同様な
る仕事杯ハ爲せし事あり甚だ氣樂よ暮せし人々なれば米國に來

下篇

りて仕積ぬ仕事を爲し其仕事の中を烈じき事あれば夜中に至りて疲勞甚しく學校へ行く可き程の勇氣を失ふに至る中より剛氣の人ありて勉強し居るものもあれ共概じて言へばがっかりして少しく散歩の後まづ寐房に入るもの多かる可し右の如くあれば米國よ於ての勞働を日本の學僕と同様よ心得輕薄なる考へ以て渡航せし中々困難なることならん併し前に述べたる「スガ」にホロイ」に住み込めを給金甚た少なければ共勉強時間ハ此れより多く大概午前十時頃より午後三時頃迄ハ學校へ通ふ事を得ん(學校へ行くと前より仕事をあし又歸りて仕事を爲す)然れ共給金誠よ僅少なれば小遣等不自由なる可し(勞働時間の雇主によつて多少の差異あり共大体七時間以上十時間以内あり)又製造所等へ入問學問研究にのみ限らず金儲け主義にて働らくか又製造所等へ入

下篇

下篇

りて何か藝術を習ふ事を得らる可きや
答々全体桑港ハ商業事務の土地にして恰も日本横濱の如き所あり去れば總て學問に關する事ハ不完全なる事多し唯學問研究の目的あれば進んでホストン、ニユーヨーク等へ行つ可し只桑港ハ新開の地にして人口多からず事業極めて繁雜ある所あれば人間の需要中々盛んあり故に何事にてても勞働を賣て金儲け金ためを心掛くれば随分得らる可けれ共是れ容易き事にあらず第一忍耐力が肝要あり、一口に忍耐と言へば苟しくも米國へ行かんとする程の人ハ多少奮發心を起したるものあれば素より覺悟のある可けれど米國に於ての忍耐ハ實に非常の忍耐にして百折不撓の鉄石心と事を永遠に期するの觀念あかる可からず未だ實況を知らざる人ハ左程困難とも想はず三四年も彼地に渡りて何か一事業を仕遂げ歸

卅九

らんあぞと思ふ可けれど中々斯る考へにては何事も仕遂げ得ざる可し先づ彼地に渡らば殆んど移住の心組にて万端を考察す可し桑港にある人の中に書生共多數に居れり又將來渡航せんとする人々も書生に多しと聞く此等の人々の思想中々高尚あれ共如何せん取り纏りたる藝術無ければ初めより多くの給料を取り又体裁好き事業に有り付く事ハ以ての外の事にして体裁好き事業又ハ多くの給料を與へんに不慣れの日本人を雇はんより歐州人の供給澤山あれば其歐州人を雇ひ入る、方雇主の身に取ら萬事好都合ある可し畢竟不慣れの日本人を雇ふハ唯賃銀の安きか爲さらんのみ右の如くされば初め如何に思想高尚あるも卑賤の労働を取り安き賃銀に居らざるを得ず此の如くよして三四年も辛抱せを其中土地の様子も知れ物事も慣練を得又賃銀も追

問

々多きに至らん即ち金儲けを爲すは是れより併し物價の割合日本より比すれば非常の高尚なれば其れ相應は遣はす中々金を残す事は容易ならず唯節儉を守りて倦心事なく忍耐しければ先づ相當の金は得らる可し次は製造場等に入りて手は藝術を覺ゆる事は爲し能はざるよあらざれば共其處に入るの手續が甚だ困難なり現に桑港には巻煙草製造所又は造船所等も居るもの少きあれ共是れは何れも余程よき手藝等ありて入りたるものよして前よ答へたる如く万事西洋風よ不慣れなる日本人が早速製造所へ入るは甚だ容易よあらざ此とても彼地よ在りて長く心掛けたる上の事なり總て何事も氣を長く持たざれば面白き事よ有り付くは中々六ツヶ敷うる可し

下篇

足下は今日青年輩が米國へ行くよは如何なる目的を以てせば宜

答 此事は就ては前の答へ中にも少々申述し先づ予の見る所よては金儲けを第一の目的とし學問を第二に置く方宜也からん其金儲けも余程の熱心家よして忍耐久しきよ至り Millionaire (金儲家) 成らざれば歸らずとの決心よて十年二十年殆んど移住と言ふ可き程氣を長く持ち行かざれば能く其目的を達し得ざる可也又學問研究を以て第一の目的とする人も先づ其手段として金儲けを取掛ざる可からず語を替へて言は「働いて學資を造り學問す可し」と申す可一併し日本の書生杯よ此の如きことを言は「甚だモドカンク思ふ可けれど米國人が物事を成そよは獨り學問上の事のみならず凡て皆斯様よて事を永遠に期するは誠よ吾々の感銘する所なり日本人は之よ反して目下の事よ心を奪はるゝもの多

く忍耐力よ乏しきは誠よ慨歎の至りなり現よ桑港よ在る日本人の如きは初め日本を出る時よは或は學問研究の人も有る可く又金儲け主義の人も有りしならんが何れも彼地よ到りて實地よ當れば中々日本よて想像せむ如き事ならず學問研究も案外よて又金儲けも中々なり去れば万事不平よ堪へず日々快々として樂しまばと言ふ有様あれ共是れ皆日本風の思想よて西洋人の如く事を永遠に期するの忍耐力なきが爲めなり試よ一例を舉れば大体の人が米國とさへ言へば極樂の如き思ひを爲し四五年も在留せば立派よ何事も仕遂げ得可き考へあり之れ第一の誤りよ此て日本の如き半開國人の一文なしよて突然彼地よ到り四五年も居らばとて何の面白き事あらん又容易く事業を仕遂げ得んや何國よ在りて何事を爲すも資力あれば忍耐と勉強をよ由らざる可か

らず向後米國に航行せんとする人は能く此に注意ありたき事なり

問 足下は到底米國行を以て好しき事よあらずとせらるゝや

答 否予は敢て好しき事よあらずとせず唯日本流の思想即ち物事は倦きる精神無くして能く初志を守るの忍耐家なれば随分行くも可あらんと思ふ併し前屢々申し述たる如く事を永遠に期する譯なれば自然身体の強弱よも關す可し故に志業堅固にして身体強壯なる人は行て随分面白からんと信ずる也
問 英語は充分に通ぜざれば不都合なるや
答 然し英語は充分知らざるも左程不都合はあらずされ共奉公口杯を承むるは日本よて充分會話を脩めたる上ならでは不都合多かる可し去れど少々位あれば知るも知らざるも奉公初めを格別

給料の差異なし

問 日本より何の目當も無く僅に賃船位の才覺して突然航行するも

答 前にも申す如く桑港を極めて事業の繁雜なる土地をれを事業の何たるを問はざれば奉公口杯何程よても有る可し今日の甲の家を去るも明日乙の家よ住み込む事を得て糊口よ差支ゆる事杯は先づ無かる可し

問 在桑港日本人の給料は何程位なるや

答 最初日本人の桑港よ着るや略英語よ通じ英語の出来るものよても第一西洋の風俗よ慣れざれば大体初めは「スクールの米」に住み込むもの多し其「スクールの米」よも種々あれ共大概登週間米金壹弗より貳弗半位なり(小部屋及食料等一切雇主より給與を)

又此れより給料を多く與ふる家もあれ共脩學時間甚だ少し併て
 時間を多く望ますして給料の多き家を決むれを「コック(料理人)の
 ウスウオーク(日本の下女に似たる働き)等を兼務して壹週間五六
 弗なり去れと充分英語を通じて「コック」「ウエネス」(給事)等を爲す
 ものは壹ヶ月三四十弗の給料を得可しと雖現今の所よては大體
 壹週間五六弗位なる半熟の人多し又單に「コック」を長くする者は
 三十弗位の月給なり桑港には商店に雇はれて賣子を爲す日本人
 三四名あれ共其給料は食料等自費よて一ヶ月三十五弗より四十
 弗位なり此等の事を余程彼地の事情を通じてたる人ありて中々
 容易よあらず併し田舎の百姓家よ行きて荒働きを厭はざれば無
 藝よても長き給料を得ると云へり

問 物價ハ如何

答 物價も其品物よれど先づ日本横濱杯の五割増位あり

註横濱は概して先づ平均東京の二割高位なり



又在桑港友人某氏ヨリノ來狀ニ曰ク

(前略) 男心ト秋ノ空ト謂フハ婦女ガ男心ヲ變易キヲ歎シテ申シタ
 ルコナランガ實ニ當地在留日本書生ガ其思想ヲ一定セザル甚クシ
 キニハ歎息致シ候其譯ハ最初學問研究ノ目的ニテ來リタルヲ入居製
 造事業ノ盛ナルヲ見テハ己レ製造家アラント思ヒ又忽チニシテ商
 家ニ入りテ金儲ケヲ營マント欲スルガ如キ能ク一事一業ハ利害ヲモ
 見ザル中屢其思想ヲ變シ彼レ是レソノ間三五年ヲ費スニ至リ終ニ何事
 ヲモ成サズ又少シク土地ノ狀態ニ慣レバ様々シニモ文明ヲ粧ヒ揚

々々ルガ如キハ實ニ千里ノ波濤ヲ渡リテ此地ニ來リタマ程ノ面目無
 キ次第ト存シ候併シ乍ラ此等ノ人々モ日本ニ在リシ頃ハ米國ニ到ラ
 バ一大勉強ヲ以テ是非共立身出世ノ資本ヲ仕入レシト心組オリシ
 ナランガ當地ニ來リテ見レバ千件萬事日本ニテ想像セシコト如クオ
 ラズ其レガ爲メ故國ニテ朝夕心頭ニ掛ケ居タル精神一何事不成等
 ノ古語ハ殆ンド忘レタル如キ有様ニ御座候素ヨリ無資力ノ者ガ日本
 ヲリ一定ノ目的ヲ立テ、來リ飽ク迄其事ヲ仕達ラントスルモ所謂向
 ふ見ズ「フコナレバ余リ好マシキコトハ無之候ガ先ツ此地ニ來リ何事
 ニカ有付カバ容易ニ變セザルコト却テ得策ト存候又此地ハ日本ヨリ
 來レニハ甚ダ容易キ所ナレバ足掛ニ居ルハ宜シケレド既ニ三百余ノ
 日本人モ在ルコトナレバ永ク此處ニ居ルハ望シカラズ最初日本人ノ少
 ナキ頃ハ隨分評判モ宜シキ方ニ候ラセシ方實數以増加スルニ隨ヒ中

ニハ不体裁ノコトヲ働ク輩モ有之追々不評判ニ立至レヤモ斗リ難シ故
 ニ未ダ日本人ノ立入ラザル地方ニ行クハ隨分面白キコト存シ候小生
 ノ如キハ學費モ無ケレバ旅費モ無キコトナレバ此地ニテ一働キ働キテ
 旅費學費等ヲ用意シ追々内地ニ操込ム考ヘニ御座候此地ニ居ルモ「す
 く」るぼ「す」ト稱シ學校へ通フ可キ少クノ時間アル奉公口有之隨分
 學問ヲ爲シ得可ク候ヲ得共此奉公ハ大概無給ニテ小生ノ如キ貧生ハ
 小遣ニモ差支エ甚ダ難澁ニ御座候中ニハ永ク此地ニ居テ英語モ能ク
 通ズル人ハ少々宛ノ手當(一週間五十仙若クハ一弗)ヲ受ケルモ「アレ
 是ハ誠ニ少數ニテ容易ノ事ニアラズ故ニ働キハ働キ一方トシ金ヲ
 得ルコトニ取リ掛リ金ヲ得テ學資ト爲スニ至ラバ則チ學問ニ移リ候考
 ヘナリ併シ此金ヲ得テ學資ト爲スニ至ルハ甚ダ困難ニ御座候何シト
 ナレバ此地ハ御承知ノ如ク頗シ繁華ナル所ナレバ物價ハ一般高直ニ

下篇

五十五

シテ費用甚多故ニ學費旅費等ヲ蓄フニ至ルハ非常ノ節儉家
 アラザレバ能ハザル所ナリ去レバ此地ノ物事ニ慣レタル人々常ニ
 奮發シテ田舎働キヲ試ント申シ居レリ此田舎働キトハ桑港府近郊
 百姓家ニ奉公スル事ニシテ中々骨ヲ折レル仕事ナリ故ニ余程身体強
 壯ナル人ナラデハ堪ヘ難キ趣ナリ併シ給料ハ桑港ヨリ多ク且田舎ノ
 事ナレバ近傍ニ飲食店等ノ設ケナク金ヲ得ルモ費スニ所ナキガ爲メ
 蓄金ニハ至極好都合ナル由ニ聞ケリ此地ニテ學費旅費ヲ得ルニハ前
 申ス如ク屢々其思想ヲ變メル様ニテハ中々覺束ナキコトヲ他人ノ
 評ハ倍々置キ自分ノ志業ヲ堅固ニ致ス事ガ第一ニ有之候云々
 千八百八十五年

七月十日

横濱 Y.O.G.F. 君

下篇

五十二

以上掲ケル所ハ米國渡航ノ利害ニ關スルコトナリ其中間彼地勞働學業
 ノ有様ヲ記スルガ如キハ則チ其利害ヲ斷定スルノ參考ニ供セン爲メ
 ナリ蓋シ學業勞働ノ實況ヲ知ラザレバ利害ノ斷定ヲ確實ナラシム
 ル能ハサレバ也讀者ハ以右掲記シタル諸説ヲ讀ミ以テ如何ナル感情
 ヲ起セシヤ米國渡航ノ事素ト容易ニアラス(資力アル者ハ閱キ)深ク此
 書ヲ記ス所ヲ考フ可シ今夫レ其目的ハ兎モアル米國ニ渡航シテ一勉
 強セント言ハハ男子ノ心事隨分愉快ナリニシテ可ハ則チ可ナリト雖
 其事果シテ己レヲ利スルヤ否ヤハ最モ注意ヲ要スル所ナリ其間
 今吾輩ヲシテ其利害ヲ論セシメバ則チ一個ノ意見アリ然レト雖此
 事ナル素ト一身ノ仕立ヲ論スルモ又一國經世ノ上ヨリ論スルモ其
 航者其人ノ如何ニアリ故ニ吾輩ノ利未ダ必スシモ利ナラズ害モ又然
 リ故ニ吾輩ハ此ニ其利害ヲ論セズニテ唯讀者ノ判斷ニ任セン

○渡航前後の心得

凡て外國へ渡航するよは海外旅券の下付を地方廳へ出願を待て其旅券を所持せざる可らず尤も乗船の際火急にして右出願の手續を經るよ暇なき時ハ無届よて渡航し着後其地の領事館へ出頭して右の旅券を請ふも可あり去れど日本よて下付を願ふ時ハ手数料金五十錢されども着後領事より下付される時ハ金貳圓あり

右旅券出願の書式及區戶長へ宛差出す可き旅行届書ハ左の如し

旅行御届
府縣下 國區郡 町村 番地
身分 何
私儀何ハ爲メ何月何日發ノ渡船何号ニ乗込何國何府ニ何年間旅行仕候尤留主中何般ノ事務ハ何町何番地何某ヲ以テ代理爲致候間

御用人節ハ同人ニ御通知被下度此段御届申上候也

何 誰印

留主居人

區戶長宛

旅券願下

私儀何々ハ爲メ何月何日發ノ渡船何号ニ乗込何國何府ニ何年間旅行仕度候間旅券御下渡被下度此段相願候也

住所何

原籍何

府知事縣令宛

右の旅券を乞ふよハ金五十錢の手数料を納む可一其書式

納目錄

下篇

五十四

一金五十錢

右ハ海外旅券御手數料上納仕候也

住所何 原籍何 誰

○船賃の事 日本より桑港へ行くハ唯横濱と桑港との間を往復する東西及太平洋郵船會社の汽船あるのみ而して其賃銀ハ横濱より桑港迄 上等二百五十弗 下等八十五弗 支那人下等五十弗 右の如く下等ハ二種ありて一を歐州人下等と云ひ一を支那人下等と稱す歐州人下等ハ殆度日本汽船の下等ハ似て寢所の棚あり又支那人下等ハ多くカルフオルニヤの鐵山へ出稼する支那人の乗込む所にして荷物の上げ下しを爲す片隅等あり寢所ハ布を以て製したる棚にして其棚の有様を我國の蚕棚ハ彷彿たり日本人よりて此處ハ乗込む人随分あり別段堪へ難きよりされど食物好むらされを中よハボト

イ等ハ六七弗の手當を與つて肉を貰ふものありと云ふ

又手荷物ハ上等あれを無賃下等よても手提カバン三個程迄無賃なり近時米國行の人を増加せしより便船毎ハ十人内外の日本人必ず乗込む由あれば航海ハ慣れざる人の連れ人の無さを心配するよ及び因よ云ふ横濱より桑港迄の里數ハ海上四千八百英里あり

○乗込手續 桑港汽船會社の代理店ハ横濱海岸通四番館ハ在りて乗船切符も同所よて賣出せり故よ切符購求の上ハ直ちよ本船ハ乗込むも自由なれ共手荷物等あれば上げ下し等不便の事あり故よ横濱よ來れば先つ周旋屋(旅店の事)よ到り万事乗込む迄の事を周旋さする方大よ便利ある可し右周旋屋則ち旅店の宿泊料ハ上等一圓中等五十錢下等三十錢あり又桑港行の便船ハ大概二週間毎よ出帆あり其出帆時刻ハ常よ午前八九時頃あれば出帆の前日横濱よ來る方宜しとす

下篇

五十五

○貨幣携帶の注意 米國ハ金貨本位の制度にして諸物貨皆金貨を以て標準とす故に我國より貨幣を携へ行く者を若し澤山ある時は銀行よて爲替を取組む可きあれど左程多あらざる時を横濱よて悉皆米金と交換し行く可し左ふくして銀貨を携へ行ふを着後大に損耗ある可し

○衣服の事 同じ洋服よても其地流行の形よ合とされを品質の如何よ係らず甚だ見苦しきものあり去きを衣類を調度する時を能く注意して此等の事情よ明らある人よ聞合せたる上よて調度を可し又桑港を氣候温良よして四時一定我國の春秋と同様あれを衣服も多くの種類を要せず薄き袷せたるもの二三組もあきを足れり其他を着後彼地よて買求むる方前の流行外れの恐れあくして却て得策なる可し直段も日本より高けれど他品の割合よと高あらざると云ふ

○携帶物の事 携帶物も人々の思ひくニテ一様あらざれ共先づ紙類ハンケルチーフ類文具類化粧道具(香水鏡櫛等洋人と交るよは其身を清潔よとするを肝要とす)藥(病氣杯の時よ船中等よて甚だ便利ある可し)其他着用の諸物ハ何人よても持ち行きて可あるべく其詳細ハ人の意向よするのみ又通例蝙蝠傘を持ち行けとも桑港杯よてと雨天ても用ひざる由あれを携へざる方宜しからん又米國ハ保護税國かれを裁削とを澤山持ち行けを海關税を取らる可し

○渡米用意の一として彼の禮式を心得置く可き事 人異あり國同じからざれを禮式も亦一様あらざり日本よて禮よ合ふ事も彼地よてと不禮ある事少あらざり多きもあき渡行者の中よハ彼の禮式をも辨へざる者ありて桑港よ到着ホテルよ知人と會し「何分御願申ます」杯といつゝ、丁寧よも屈腰頭を垂れて其助力を頼む有様を洋人の傍見して大笑

その事杯あり又甚だしきハ洋食の喰方を知らざるものあり匙の持様を誤り音高く汁を吸ひ皿をあらして肉を切る等其不体裁は其知入る日本人が傍觀者の西洋人ニ對して實ニ冷汗ニ堪へざることありと聞く此の如き事ハ渡行後自然ニ慣熟可しと雖後來の渡米者ハ何かの用意を爲そ序ノ人ヨも聞き書ムも見て彼の禮式の一班をも心得置キ右様の不体裁亦キ様注意ありたきものあり

○英語を學び置くの肝要ある事 米國ニ渡れば何事を経するヨも皆西洋人を對手とする事あれを充分英語を修めたる上あらで不都合、あからざれど渡米者の中ニ「英語ハ彼地へ到着の後ハ自然知り得、一寸マゴックも面白からん」杯と手輕の考よて習へ、習へる境ハ居、りあがら少々の面倒を思ふて之を脩めず漫々渡行する人もある由あれど之れ大ある不所存あり前ニ記ス如く西も東も洋人のみよて英語

のみあり去れを Good Mornings. を初めとして普通一般の會話を脩めたる上あらでハ初め一年ハ半年程ありと雖一寸買物するヨも仕事はるヨもつらきもつらし損も損あり將來の渡米者ハ能く茲ニ注意して語學を研修せらまん事を望む

○桑港上陸より投宿迄の手續 横濱より桑港迄の航海時間ハ瀛船の如何ニよりにて大ニ等差あれ共大概ハ十七八日より二十日以内あり船横濱を去りて二十日程を過くれ桑港ニ入津し乗客ハ茲ニ船中の生活を畢りて桑港府繁昌の街ニ踐入ることなり上陸それを第一ニ各「ホテル」の宿引きハ皆客を誘いに出で來れり去れを格別之と云ふ名指所もあき人を先づ其誘ひを受けて「ホテル」ニ投宿するを通例とぞ「ホテル」モ種々ある其中よて日本人の取扱ニ慣れたるものハ「ニュー、コンチネンタル、ホテル」ありと云ふ其番地町名を左の如し

下篇

六十一

New Continental Hotel, 547 Mission Street.

因ニ曰ふ此宿屋の宿泊料を上等下等の別なく食事宿泊共一日壹弗一週間五弗ありと云ふ但し此旅店を下等のホテルあり

此「ホテル」ノ取扱は慣れたるを従来日本人の多く投宿せしよ由れり故に此ホテルに投宿せんとせよ各宿引の中よ付き「ニューコンチネンタル」の者を誰あるやと問ひ之れは万事を命ず可しきれば同ホテルの馬車來りて客及荷物を其家よ輸び去る可し(但馬車代無賃あり)格段の事情もあければ決して他の馬車よ乗る可くらず其故を少しカサバル手荷物等を携へ居れば一寸二三丁許の距りへ運ぶよも其賃金壹弗を取らる可ければあり又桑港よも日本人の設立せる福音會あるものあり其場所ハ二個よ別れ一をゴールデンゲートアブニユ百十八番在り此ハ日本人のみの集まざる所よもて又一をワシントン町九百十六番

よ在り此を友那人と共に集まれるものありと云ふ此等の福音會ハ皆渡米日本人を世話する由りて其中よ皆止宿所あり故よ上陸後直ちよ此等の福音會よ宛行くも妨げあり然れ共一時宿屋よ着きて上陸の翌日領事館よ出頭し名簿へ其姓名を留めるを常と候と云ふ夫れより福音會よ行くも又宿屋よ居るも都合好き方を撰ぶ可し今左よ参考の爲め二三宿屋の宿泊料を記す可し

インターナショナルホテル
アメリカン・エクスチェンジ
ルツスホテル
セントラル・パレンフィックホテル
ブルックリーンホテル
以上のホテルを各一日壹弗五十錢より
二弗二弗五十錢
一日七十五仙より壹弗一週間五弗食事
壹品廿五錢一夜貸室料廿五仙ハ五十仙
一日一弗五十仙より二弗二弗半

(以下略ス)右ハ本年五月刊行鐵道新誌より摘譯を

又福音會止宿所規則ハ左ノ如シ(此をゴールデンゲートの福音會也)

下篇

六十一

福音會止宿所規則

- 第一條 當福音會中ニ設置シタル止宿所ハ第壹會員第二都テ日本人ノ便利ヲ保護スルモノニシテ素ヨリ一般營業ノ宿屋ト同一ノモノニアラズ故ニ當所ニ止宿スル者ハ堅ク此規則ヲ遵守ス可シ
- 第二條 會員ハ何時ニテモ自由ニ止宿スルコトヲ得可シ
- 第三條 總テ止宿ヲ望ム者ハ先ツ當會取締ノ許可ヲ受ク可シ
- 第四條 止宿ヲ止メタルモノハ必ズ其趣ヲ取締ニ告ケ置ク可シ
- 第五條 何事ニテモ止宿中取締ヨリ請求スル事ハ決シテ違背ス可カラズ
- 第六條 當止宿所ニ止宿スルモノハ左ノ規定ニ從ヒ止宿代金前金ニテ嚴重ニ取締ニ拂フ可シ 一夜 十錢 一ヶ月 貳弗
- 第七條 會員外ノモノ止宿ヲ望ム時ハ左ノ定價ニ從フ可シ 一夜 十五錢 壹週間 壹弗 一ヶ月 三弗
- 但シ地理不案内ノモノニシテ一時困却スルモノハ此限ニアラズ
- 第八條 止宿スルモノハ各日交代シテ室内ヲ清潔ニ掃除ス可シ
- 第九條 當止宿所ニ於テ朝夕起臥ス可キ時限左ノ如シ 一午前七時以後臥床スル事ヲ許サズ

二午後十時以後十二時前必ズ臥床ス

ニ若シ病氣ニテ臥床スル者ハ此限ニアラズ

第十條 當會ノ門戸ハ午後十一時限リ閉鎖且室内ノ燈火ヲ消ス可シ

第十一條 誰ニテモ午後十二時以後ニ來ルモノハ取締ノ許可ヲ得タルモノカ又ハ不
得止事故アル者ヲ除クノ外室ニ入ルコト又止宿スルコトヲ禁ズ

此福音會ハ桑港ゴールデンゲートアヅニニ百十八番ニ在リ即チ原文ニア記セバ
JAPANESE GOSPEL SOCIETY No. 118 GOLDEN GATE AVENUE.

○生活の費用 右福音會の食事賄料ハ一日金三十錢なり故ニ福音會
ニ止宿それを一ヶ月十二弗よて暮ト事を得可シ福音會の外よても下
等の生計なれを一ヶ月二十弗位よて出来る可シ其内譯ハルーム(室料)
六弗ホールド(食事)十四弗なり併し節儉して一室ニ二人住めニ室料を
半分宛即ち三弗よて濟む譯なり其上自分よて食事を爲せを十弗近所
よて足らん都合十三四弗よて住食の事足る可シ併し此外小遣錢等も
入用なり故ニ桑港よてハ極儉約の暮し方よて一ヶ月三十弗即ち一日

一弗の覺悟なかる可らず

○奉公口を求め手續 日本より學費もなく渡航するものを彼地へ到る後何れへ幸公よ住み込む譯なるが其奉公口を求むるよ桂庵即ち口入所へ依頼する事又新聞紙に廣告する事等なり桂庵よ支那人の桂庵と西洋人の桂庵とあり此支那人の桂庵ハ奉公口を周旋して其周旋料ハ給料を取つた後よ出す事よ且西洋人の周旋料より安き故よマキ(金)の無き時ハ便利として此支那人桂庵よ周旋を爲さしむる由なるが米國人の氣風として支那人を輕蔑する事甚たしく其甚だしき支那人の周旋なれを自然好き所も少なく且つ輕蔑の度も深くなる由なきをコミッション(口錢)と先拂なるも上等口を得るの益あるを西洋人の桂庵よ其周旋を托する方却て得策なりと云ふ而して其桂庵ハ兩方共四ヶ所程ありと其中よランブラといふ人と日本よ六年程

も居た人の由よ日本語も能く通する趣なり次よ新聞廣告を爲とも随分奉公口を得らる可し新聞紙ハ大概一枚五錢一ヶ月一弗なるが廣告料ハ五行一日間十五錢位なり又福音會よ止宿をれを同宿者中よても随分奉公口を得るの道なきよあらばと云ふ

○學校の有様及費用 學問研究の目的よて渡航する人學資よ差支なき時ハ桑港よて入學すべきよあらば桑港を商業煩雜の地よして學事ハ不完全なる事あるを免れざる旨ハ既よ前よも記せし事なるが今實地見分せし人の話よ由れを桑港の學校中書籍器械もよく備はれるものハベルクリー(Berkeley)の學校ありと云ふ此學校の學費ハ壹ヶ年二百弗位なりと又商業學校ハパンフック^{ビッチス、スクール}、ロビンチス、コルレッジと稱して随分大なるものありと云ふ卒業期限ハ六ヶ月よして授業料ハ最初より卒業迄七十五弗(若し卒業し能はざれば一年よても二年よても此七十

五弗よて教授となり……時間の通例の學校と同じく又夜學もあり之れを三年よて卒業の規則なり又ヘールズ、ピシチス、コルレッジも同様なりと云ふ此外公立小學校を澤山あり(上篇を見る可し)何れも無月謝よして一文も入らぬ事なり本年五月歸朝せし人の話よて日本人よて學校へ通ふもの丁度三十人ありしと其中商業學校五人大學校三人中學校二人小學校二十人なり此外晝間の奉公先よ働ひて夜學へ行くものありと云ふ

左よ掲ぐるものハ桑港より各地よ達する南部太平洋鑛道會社の鑛道賃金なり上等客なれを乗車中小使よ少々宛の手當を與ふるを常とぞと云ふ其手當を大概三四弗よて宜しとぞ又上等客手荷物重量英百五十斤迄ハ無賃なり

○從桑港至米國各都府鑛道賃金表 (南部太平洋鑛道會社)

	上等	中等	下等
○組育州紐育府迄	一二六、七五	一〇〇、五〇	七〇、五〇
同上あるをよ一迄	一二三、六五	九九、五〇	六九、五〇
同上ばっふるろ一迄	一一七、五〇	九四、五〇	六四、五〇
○邊西洼尼州費拉特費迄	一二六、七五	九九、〇〇	六九、〇〇
同上ひつそぶるぐ迄	一一七、五〇	九四、〇〇	六四、〇〇
○みしびん州らんまんぐ迄	一〇九、六五	八九、六五	五九、六五
同上でつとろいと	一一一、五〇	八九、五〇	五九、五〇
○いりのいそ州ちかど迄	一〇三、五〇	八三、五〇	五三、五〇
○をばいを州まんまんち一迄	一一〇、〇〇	九〇、五〇	六〇、五〇
同上こるんぶす迄	一一二、七〇	九一、五〇	六一、五〇
○いんであま州いんであまぼりす迄	一〇七、五〇	八七、〇五	五七、〇五

○あいをわ州あいをわ迄	一〇二、九〇	八二、九〇	五三、五〇
○ういすこん老ん州までそん迄	一〇八、一〇	八八、一〇	五八、一〇
○みつそり州せいんとるいす迄	一〇〇、〇〇	八二、五〇	五二、五〇
○まりしらんど州をるてもあ迄	一二六、〇〇	九八、五〇	六八、五〇
○いすたらんびるるよや州りちもんど迄	一二六、〇〇	九八、五〇	六八、五〇
○あらばま州もんとごめり一迄	一〇二、一五	八八、四〇	五八、四〇
○みすあつび一州ぢやつくそん迄	一一五、九〇	………	………
○るい志あ州に……るれやんす迄	一二一、四〇	九一、五〇	六一、五〇
○ますさちゆせつつ州波斯頓	一二八、一五	一〇二、五〇	七二、五〇
○あるばよ一ヲ經テ迄	一三三、〇五	一〇六、八〇	七三、五〇
同上(紐育ヲ經テ迄)			

右賃金額ハ本年五月制定せる者なりサンジョース、ストツクトン、又ハサクラメントより右各地へ至るも同一なりとぞ(但し何れもヲ

下篇

六十八

グデン、モシ、チ、イ、ブ、ア、ミ、シ、グ、又ハエルパツ一ヲ經るなり)十二年以下の小兒ハ賃金半額五歳以下ハ無賃一人荷物百五十封度迄ハ無賃なり

自桑港	をぐでん迄	八百三十三英里
同上	もろる一ぶ迄	三百八十三英里
同上	でみんぐ迄	千百九十七英里
同上	ゑるばそ一迄	千二百八十六英里

左に記するものハ桑港よりニューヨークに行く瀛車賃の事ハ付交詢雜誌第百六十七号に載せるた甲斐織衛氏の答書なり
一桑港より紐育迄瀛車賃ハ上等客よて寐車食事代を込凡米金百五十弗手荷物ハ重量百五十斤(英斤)迄ハ無代價中等ハなし但し上等よして食事代を拂ふのみよて寐車を省けを少しく不自由なりと雖百二十五六弗よて足るべし下等よハ植民瀛車あり桑港より紐育迄米

下篇

六十九

金六十弗なり之に乗れを食物の自ら携帶せざる可らば上等の瀛車
ハ兩港間を七晝夜よて通行され植民瀛車ハ凡そ十二日位を費す
べし但し獨身よて植民瀛車よ乗るハ随分不用心なり云云

○電信料及郵便税 (從日本至米國電信料)

- さん、ふらん、ちよこ迄 壹語ニ付 三弗十八仙
- ぼそとん迄 同 二弗九十五仙
- よゆーよーく迄 同 二弗八十四仙
- ちよこ迄 同 三弗〇一仙六
- わまんとん迄 同 二弗九十九仙四
- ふいれでるふいや迄 同 二弗九十九仙四
- もんつりをる迄 同 二弗九十五仙

又郵便税ハ合衆國內信書十五グラム毎よ五錢書留手数料ハ十錢新聞

紙雜誌の類ハ五十グラム若くは其分數毎よ一錢葉書一枚二錢商品見
本の類ハ百「グラム」迄二錢其以上の五十「グラム」毎よ二錢なり又商
用上の書類を二百五十「グラム」迄五錢其以上五十「グラム」毎よ一錢
なり(「グラム」を二分六厘六毛二)

○紐育府日本人概況

「左ノ記事ハ紐育府ニ十年間モ滞在シ近時歸朝サレシ某氏ノ直話ヲ
筆セシ者ナリ」

紐育よ在る日本の會社は其數五箇ありて銀行又一箇あり在留日本人
と幾んど三十名内外ありと其會社等は如左

- 同仲會社支店……………支配人 新井領一郎 書記 大竹庄司
- 貿易商會支店……………支配人 上野照道 副支 佐藤永孝

日本商會支店……………支配人 戶谷理一 副支 橋野虎雄

書記 中山辰太郎

起立工商會社支店……………支配人 執行弘道 副支 高柳陶造

書記 秘積太郎

森村組支店……………支配人 森村 豊 副支 村井 保

書記 小野 某

正金銀行支店……………支配人 高木直作 副支 鍋倉 直

書記 西卷豊作

右商會中日本商會起立工商會社森村組を雜貨物を業とす領事館ハ正金銀行と同所なり

此紐育府ハ在留日本人互ニ親睦せん爲め明治十三年一月協同會を

るものを設立し同十六年よ至て一家を借り職業の余暇互ニ相會べる所としたり日本人よして此府よ來り地理不案内よて甚た困却する人々を随分深切ニ世話するよし現今の會長ハ奥井清風氏なり

「上篇桑港領事を宇田川準一氏と記せしむ右ハ誤りよて該領事ハ立田

革氏又紐育の領事ハ高橋新吉氏なり

○生活の費用 ハ通例賃素よ暮して一ケ年米金千弗位なる可し宿泊

料ハ種々あれども先づ上等一日五弗以上中等よて三弗五十仙下等一

弗以上なり食料右の外よて通例一日壹弗位なり此外下等なるもの

を水夫宿なるが其費用ハ壹週間四弗より六弗迄位よして中等の壹週

間十弗以上なり但し食事ハ毎日二度宛なりとぞ

○勞働の需要 ハ無きよあらざれ共藝能の無き人ハ生活の道を得る

事難し殊ニ英語不熟練の人ハ最も糊口の道を得難しとぞ從來何の成

貧兒も亦た良教育を得らるゝを以てなり大學校の費所謂束脩も當る者各部とも二十五弗年々謝料として納るゝもの文學部三十弗(此州の人は二十弗)醫學部法學部藥科學部齒醫學部は各三十五弗(此州の人は廿五弗)にて卒業證書のためは各部十弗を出す此他化學實驗室の課業を執る者の器物藥料のためは一弗より二十弗までの間を以て納む大學校は寄宿舎無し帯入の家の部屋を借りて居ることなり食事も亦然り室料は一週間十七五錢より二弗に至り食料は同く一圓五十錢より二圓五十錢に至る右を以て其費用の廉なるを知る可し學校の工學法律及び政治學等一名高く文學の餘程の高度にして醫學ハ「ハーバード」の同より齒醫學部ハ此校の最も名高き所と聞く云云

米國行獨案内一名桑港事情下結終

米國行獨案内附錄

明治十九年九月

纂譯者補述

左の一篇ハ中央學術雜誌ハ文學士高田早苗氏の記るされしものなるか頗る有用の文字と考ふるふより茲に拔萃して渡米者の參覽に資せんと云爾

纂譯者記

洋行論

洋行とは何ぞや海に航して外國に行くの謂歟曰く否洋行の字義を即ち然りと雖とも世間之を用ゆる所の義ハ隨ハ解釋を爲さんか洋行とわ未開國の人文の學と文明の術とを學べんが爲ハ開明國ハ趁くの謂なり惟ふに洋行の義ハ果して斯の如くなりとせば其名は明治社會の新造ハ係るが如きも其實に至りては敢て新奇の事といふを得ざるが如し夫れ往時希臘の人布イコシヤハ學び猶太の人埃及に學び

以上を以て、大學校の費所謂東條に當る
 の文學部三十冊(此州の人は
 各三十五冊)此州の人は
 其他化學實験室の課業
 の間を以て、納む大
 事なることなり、其事亦然
 然るが如く、一國の工業
 可て、學校の工業
 所と聞か云云

米國行獨案內附錄

明治十九年九月

纂譯者補述

左の一篇ハ中央學術雜誌ハ文學士高田早苗氏の記るされしもの
 なるか頗る有用の文字と考ふるより茲に拔萃して渡米者の參
 覽に資せんと云爾

纂譯者記

洋行論

洋行とは何ぞや海に航して外國に行くの謂歟曰く否洋行の字義と即
 ち然りと雖とも世間之を用ゆる所の義ハ隨ハ解釋を爲さんか洋行と
 わ未開國の人文の學と文明の術とを學べんが爲ハ開明國ハ趁くの
 謂なり惟ふに洋行の義ハ果して斯の如くなりとせば其名ハ明治
 社會の新造ハ係るが如きも其實に至りては敢て新奇の事といふを得
 ざるが如し夫れ往時希臘の人布イニシヤハ學び猶太の人埃及に學び

羅馬の人希臘に學び英佛日西の人羅馬に學び支那の人印度に學び日本の人支那に學びたるが如きは今日我日本の洋行生が英米普佛に渡航して學を脩め術を學ぶと毫も異なる所あらざるあり夫往古と現今とを問はせ東洋と西洋とに限らば未開半開の國恒に人を開明諸國に遣して其學と術とを研究せしむるは抑も何の爲なるや開明國の制度文物則りて以て自國を利せば死もの一にして足らざるが爲めなると固より論ずるを俟たざるなり然而して今余れ熟ら考るるは古代の洋行は近代の洋行に比して利益多く古代の未開國は近代の未開國と比すれば開明國の人を遣として利する所遙る多かりしが如しこれ他なし古代の人は座ながらよして學ぶこと能とざるも近代の人は座ながらよして學ぶを得るが爲に外ならば惟ふは昔時羅馬に諸生笈を負ふて希臘に遊學したる時の如き郵便電信漁船の便なきと勿論不

して新聞雜誌は暫らく措て問はせ出版の術尙且世に識られざるが故に遠く開明の國に行は其國の學士と識者とに就て口づから授業を受たり其國の制度文物と就て親しく研究探討するの外他は方便の存するあらざ故に當時海外に留學したるもの一たび本國に歸るに及んで其言ふ所爲す所一として國人を驚かし其朦昧を闢て文明に誘掖するの事ならざると無のりなり又我國支那に遣唐使を派遣したる時代の如き今日火船浪を衝て香港上海に渡航するもの、殆んど夢想し能とざる困難辛苦を経歴し鯨鯢の餌食となり海底の木屑となるの危険を犯して遊學する時代なれば當時使臣を派遣し學生を留學せしむるの外他は海外の事情を探討するの方便なありしや識る可なり故に當時支那に留學したるもの、如き其海外に在るの問と東天を瞻望して徒らふ呻吟し三笠の山に出で一月もと斷腸の情詩賦を現とるゝ不

至ると雖とも一たび本國に歸航すれば其言其行苟くも天下の則とならざるのなく隨つて國家を裨益したると鮮少にあらざり一なり斯の如く昔時交通の便毫末も開けざりし時代にありても特に開明の國に諸生を派遣して親しく其國の制度文物を學ばしむるの外文化を國中に輸入するの方便なしと雖も開明の德澤宇内に波及したる十九世紀の天地にありては大お然らざるものあり看よ大平洋廣しと雖も二旬を出でずして汗牛充棟の書横濱に舶載せらるゝおあらずや英魯普佛遠しと雖も二月を出でずして器械貨物百科の著作我國に到達するおあらずや嗚呼電信の迅速なる鴻雁の姑息なるに似ざるなり郵便の駿急なると驛傳の遅々なるに似ざるなり夫れ交通の便斯の如く開々運輸の便亦斯の如く開々するを以て之を觀れば座あがらふして學ぶの便利日々に増し洋行の利益隨て日々お減づるは敢て嗷々を俟たづ

て明らなるが如く然り

以上の如く論ずるを聽か讀者或は余の議論を誤解きて洋行を以て無益なりと爲すお如く思惟し給ふとあらば余の冤罪も亦極れり惟ふお我國の學士秀才遠く海外に渡航して學術を研磨するとの如き實は國家の美事として利益を斯の民に及ぼすまじと尠少おあらず其海外おあるや苦學精練敢て漢儒迂遠の發明お係る螢雪の「ランプ」を用ひ給ふおるも歲月猶貨幣といへる西洋粹儒の言を服膺して怠らそ一旦歸朝し給ふお及んで或は深濤嘉ントン如く或は博學須メンサルの如く或は雄辨馬ルクの如く或は宏辭麻コナレエの如く徒らお倫敦の花に迷ひ巴黎斯の月お耽りて髣髴だ美なるれ口實だ巧なるのこといふおが如き惡評を受々たるもれ一人としてあると無し又我國老練の政事家俊秀の諸公子頻りに海外に渡航して或は普英お米佛お政治の實際

と交際の實況とを探究せらるゝ如きと又これ國家の美事として斯の民に利益を及ぼすと尠少なはらざるなり斯の如き人士の海外に在るや勉て英雄豪傑と交通し金門公子と往來して政道の蘊奧を叩き交際は秘訣を研究するが故に一且歸朝し給ふに當りてや雄略眉スマルツ自スレリーの如く圓滑迷トルニツチ智ニスタアフヒールドの如くもて一品行態度政略學識毫末の間然す可きもは無きが如し夫れ學士秀才といひ政事家公子といひ苟も足を擧げて海外に渡航せらるゝ諸君子と其歸朝の時に及んで國民に齎るゝ好土産と以てし給はざるもは無きと因て之を觀れば今れ時に當り洋行は國家を利益するや照々として明らかかなり且夫れ海外に洋行して智識見聞を擴むるは是は敢て我邦人これに限りて開明國の人相互に之を爲すが如し余之を聞く英國上流は士君子と弱冠にして必らず一度歐洲大陸に遊歴せど英

人よれを号して「コンチネンタル、トウア」といふ余又之を聞く米國は學者士君子多く歐洲に遊學して學ぶ所ありと斯れ如く文化を以て世界に雄飛する英米二國の人尙且外國に遊歴して得る所あり然らば則ち我邦人は洋行せざる可らざる蓋し明らかならずや然りと雖も利益に多少あり而て尠く得るゝ多く得るゝ若かき且況んや我國洋行者流は消費する所憔悴枯稿したる三千七百万同胞は膏血なるをや故に余今洋行者流に勸告する所あらんとす曰く自今以後洋行を企ゆる者ハ須く觀察を主とす一研磨を主とすべし講學を主とす可らざるなりと請ふ其理由を詳述せん

自今以後洋行を企つる者は須らく觀察を主とすべし研磨を主とすべし講學を主とす可らすこれ將た何か故に然るを考ふるに西洋は上國にして東洋は下國あり西洋と開明より東洋は野蠻あり今も下國より

り上國より行つた野蠻國より開明國に趨く者其眼を鷲の如くし其耳を鬼の如くし觀察研磨を専らにす可きは固より論を俟たず當夫れ何が故に講學を主とす可らざるかに就ては大に辨明を要するが如し何が故に西洋諸國は講學の場所に居らざる歟蓋し其學制不完全なるが爲なり其社會不適當なるが爲なり

西洋の學制と不完全のものなり否我か東洋人に不適當なるものと疑を容れざるなり余嘗て之を人に聞く英國に「カンブリッジ」「オックスフォード」と稱する二大學ありて大古邇孫の時代其基を開き爾來千有餘年の星霜を経て其間王統倒れてまた起り天下亂れてまた治り新陳代謝更らば恒なく興廢存亡毫も時なきに拘らざる能く其制度を保守して變せず終つて宇内を冠たるの盛名を博せるに至りたりと然而して西洋有名之學校の固よりこれのみに限らざるを「イエール」「ハーバード」

あり獨り「ハイデルベルヒ」「ウヰヰエナ」あり其他「グラスゴー」に如き「シオン」「ホアキンス」の如き倫敦の大學「バリの」「アカデミー」皆あれ盛名天下に轟ける學校ありて此等諸學校の教則高尙ありて完美なるものと其教師の博學にして洽聞なるものと固より論を要せず夫れ學問の西洋諸國に盛みして學制の完全無欠なるものと果して斯の如くならば此を稱して不完全なりといふは頗る失當の言の如し此を稱して我東洋人小適當せざると爲すと牽強附會の言の如くなるを免れざる然れども物如何に高尙なるも如何に完全なるも之を利用する者に特別の事情ありば不完全を免がれざる不適當なるを免がれざると或之無きと居らざるなり案するに西洋諸學校の教則は固より一定不變ならず學校異なきに教則亦自ら異ありざるを得ずと雖も我東洋人の學ぶる要なき學科の其中に含るゝと蓋し明らかならん試みお思へ西洋諸國に居つ

ては彼の耶蘇宗の神學ヘナロシーと希臘羅馬の古典クラシツクとを教育の課目中緊要なる地位を占むるにあらざや夫を耶蘇教の固とより貴重なる宗教として所謂聖書なるもの亦も聖賢の遺言なり然りと雖も吾人専門の宗教家ならざる者特之を研究して何の得る所あらんや夫れ蒲マル鳥アアルの詩妙と即ち妙なり布ルタク多シタスの文巧は即ち巧ある可しと雖も吾人東洋未開は民實益實利を鞠躬する者何の暇ありて之を省るを得ん而しては神學と古典とを或は本科と或は豫科に教則の一部ならざるは學校と殆んどあるまじき故に講學を主眼として西洋各國に遊學する學生と其脩學の途次はれ二者の一に遮へざらざるに其目的を達するの道を遅ふするまじき勢ひ免がるゝを得可らざる蓋し西洋の學校と悉く神學と古典とを講脩せしむるの定規あるが故に彼の土に遊學するものと必らず之を脩めざる可らざるとは余の主張と

る所よりあらざや夫を既に講學の業を終り外國に赴きて特に其專脩する學科を研磨する我大學の卒業生の如き者を除き先づ小中學に入學して普通學を脩め終に大學に入つて専門の學を脩むるもの、如き勢ひはれ防碍に遭遇せざる可らざると余の信じて疑はざる所あり而して西洋諸國の貴重なる學科にして我東洋の人々に左まで効能あるものと決して以上の二科より止まらざる可く之を爲す時日と資金とを徒費するまじき亦尠少あるべし之を要するに西洋の社會の概して改進あるも其學は概ね守舊なり西洋の學者は日々は進歩するも其學校の進歩は之と必しも伴ふ能はず故に業卒り學成するの后西洋文明の社會に赴き其大學に入り其學者に就き更に各自専門の學科を研磨するは無量の効能固より之あるべしと雖も彼の金門の公子素封家の子弟が未だ毫末の學識を備へざるは徒らに彼土に赴き學術研究